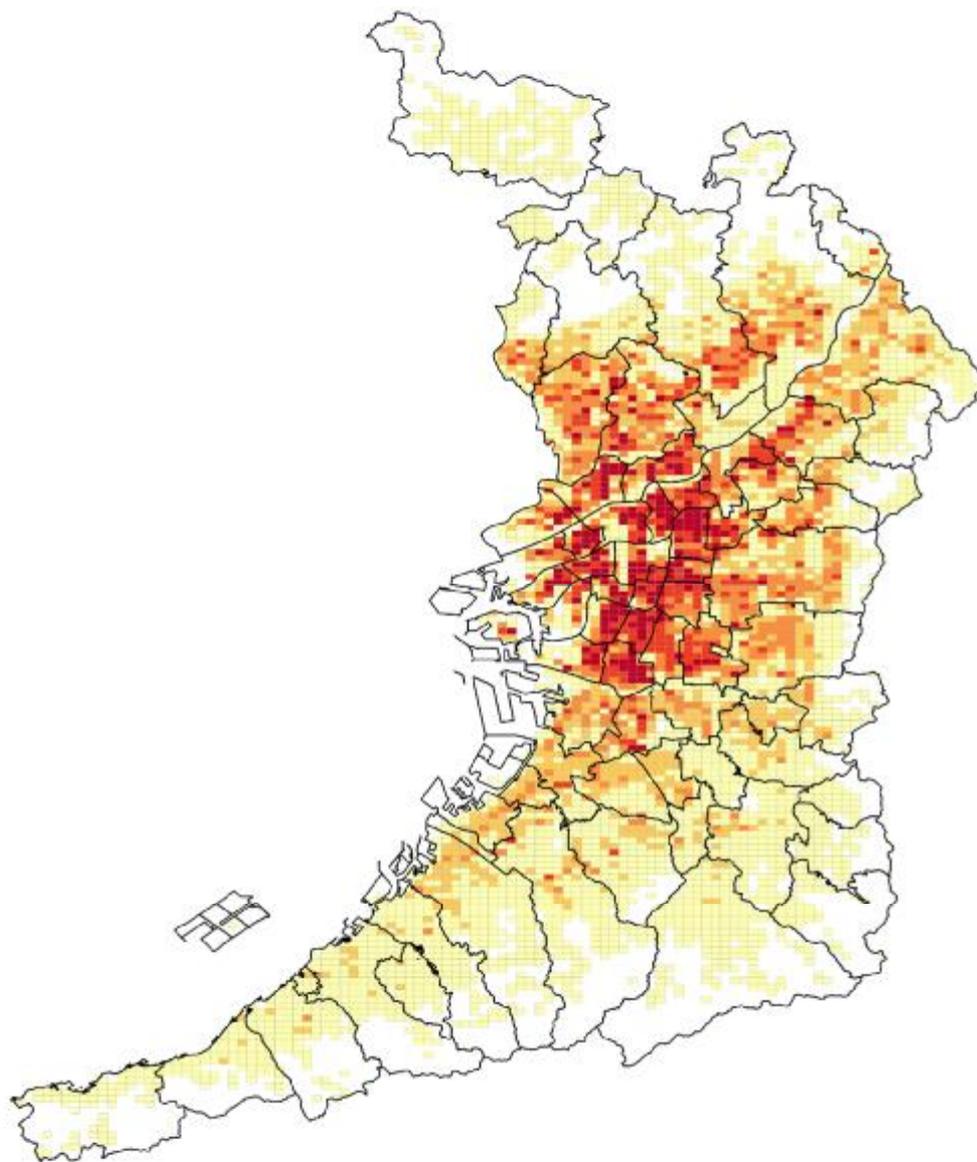


平成 27 年国勢調査に関する

大阪府地域メッシュ統計報告書

～平成 22 年から平成 27 年までの変化～



平成 31 年 (2019 年) 3 月

大阪府総務部統計課

ま え が き

地域メッシュ統計は、緯度・経度に基づき地域を隙間なく網の目（メッシュ）の区域に分けて、それぞれの区域に関する統計データを編成したものです。また、地域メッシュ統計を地図上で表現することで、地域の状況を視覚的に把握することができるようになります。

従来、地域メッシュ統計を利用した地図の作成や加工には、高性能なコンピュータと高価なソフトウェアが必要でしたが、近年の技術進歩により、一般的に普及しているパソコンと無料ソフトでも手軽にデータ処理や地図の作図ができるようになりました。

これにより、防災や公衆衛生等といった行政分野のみならず、学術や商圏分析等、地域分析を必要とする幅広い分野で地域メッシュ統計の活用が広がりつつあります。

本書では、「平成 27 年国勢調査」の結果を中心に、大阪府内における人口、世帯の分布及び増減の状況を地図で表しました。

本書を参考に大阪府内の人口の分布状況を俯瞰していただくとともに、地域メッシュ統計を活用した地域分析手法が、様々な意思決定過程におけるエビデンスとして活用されることを期待しています。

平成 31 年 3 月

大阪府総務部統計課長

利 用 上 の 注 意

- 1 本書は、総務省統計局が作成した「平成 27 国勢調査に関する地域メッシュ統計」編成データを基に、大阪府地域メッシュ統計地図を作成し、まとめたものです。
- 2 本書に掲載した地域メッシュ統計地図は、特に注釈が無い限り「統計に用いる標準地域メッシュおよび標準地域メッシュ・コード（昭和 48 年 7 月 12 日行政管理庁告示第 143 号）」に定める「2 分の 1 地域メッシュ（約 500m 四方の区域、以下『地域メッシュ』という。）」を用いて作成しています。
詳細は「Ⅲ 地域メッシュ統計の仕組み（97 頁～）」をご参照ください。
- 3 本書に掲載した地域メッシュ統計地図は、特に注釈が無い限り、世界測地系に基づき作成しています。
- 4 本書に掲載した地域メッシュ統計地図の凡例は、下記のとおりです。

凡例 人数(人)		
1 - 2000 [3993]	「人数」、もしくは「世帯数」（単位）	
2001 - 3000 [1120]		
3001 - 4000 [706]		「階級区分[当該階級区分に該当する地域メッシュ数]」
4001 - 5000 [427]		
5001以上 [299]		

- 5 本書に掲載した統計表は、特に注釈が無い限り、「平成 27 年」もしくは「H27 年」は「平成 27 年国勢調査」から、「平成 22 年」もしくは「H22 年」は「平成 22 年国勢調査」から引用しています。
- 6 「国勢調査」は、大正 9 年から実施されている統計です。

本書にて用いた「平成 27 年国勢調査」は、「国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ること」を目的に、平成 27 年 10 月 1 日午前零時現在にて調査が実施されました。

なお、本書にて比較のため用いた「平成 22 年国勢調査」は、平成 22 年 10 月 1 日午前零時現在にて調査が実施されました。

- 7 「国勢調査」では、本邦内に常住している者は外国人を含めて全て調査の対象としていますが、以下の者については調査から除外しています。
 - (1) 外国政府の外交使節団・領事機関の構成員（随員を含む。）及びその家族
 - (2) 外国軍隊の軍人・軍属及びその家族

- 8 「増減」及び「増減率」については、次式により算出しました。

増減 平成 27 年計数 - 平成 22 年計数

増減率 $\frac{\text{平成 27 年計数} - \text{平成 22 年計数}}{\text{平成 22 年計数}} \times 100$

ただし、「平成 27 年計数：平成 27 年国勢調査の計数、平成 22 年計数：平成 22 年国勢調査の計数」とします。

- 9 本書に掲載した地域メッシュ統計地図は、以下のソフトウェアを用いて作成しました。

QGIS 2.18.19 (QGIS公式サイト(日本語版) <http://www.qgis.org/ja/site/>)

詳細は「QGISについて (109 頁)」をご参照ください。

10 本書に掲載した地域メッシュ統計地図は、以下のデータを用いて作成しました。

- ・「平成 27 年国勢調査に関する地域メッシュ統計」編成データ及び「平成 22 年国勢調査に関する地域メッシュ統計」編成データ

- ・行政区域（地理情報データ）

国土交通省⇒国土数値情報ダウンロードサービス <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

- ・地域メッシュ区画（地理情報データ）

e-stat 政府統計の総合窓口⇒地図で見る統計⇒境界ダウンロード
⇒4次メッシュ（500mメッシュ）⇒世界測地系緯度経度・Shape形式
<http://www.e-stat.go.jp/SGL/estat/toukeiChiri.do?method=init>

11 本書に用いた「平成 27 年国勢調査に関する地域メッシュ統計」編成データについて、ある地域メッシュに所在する人口や世帯数が極端に少ない場合、個別の情報が推測される恐れのあるものについては、他の地域メッシュに数値を足し上げて秘匿する処理を施しています。

12 「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平 30 情使、第 682 号)」

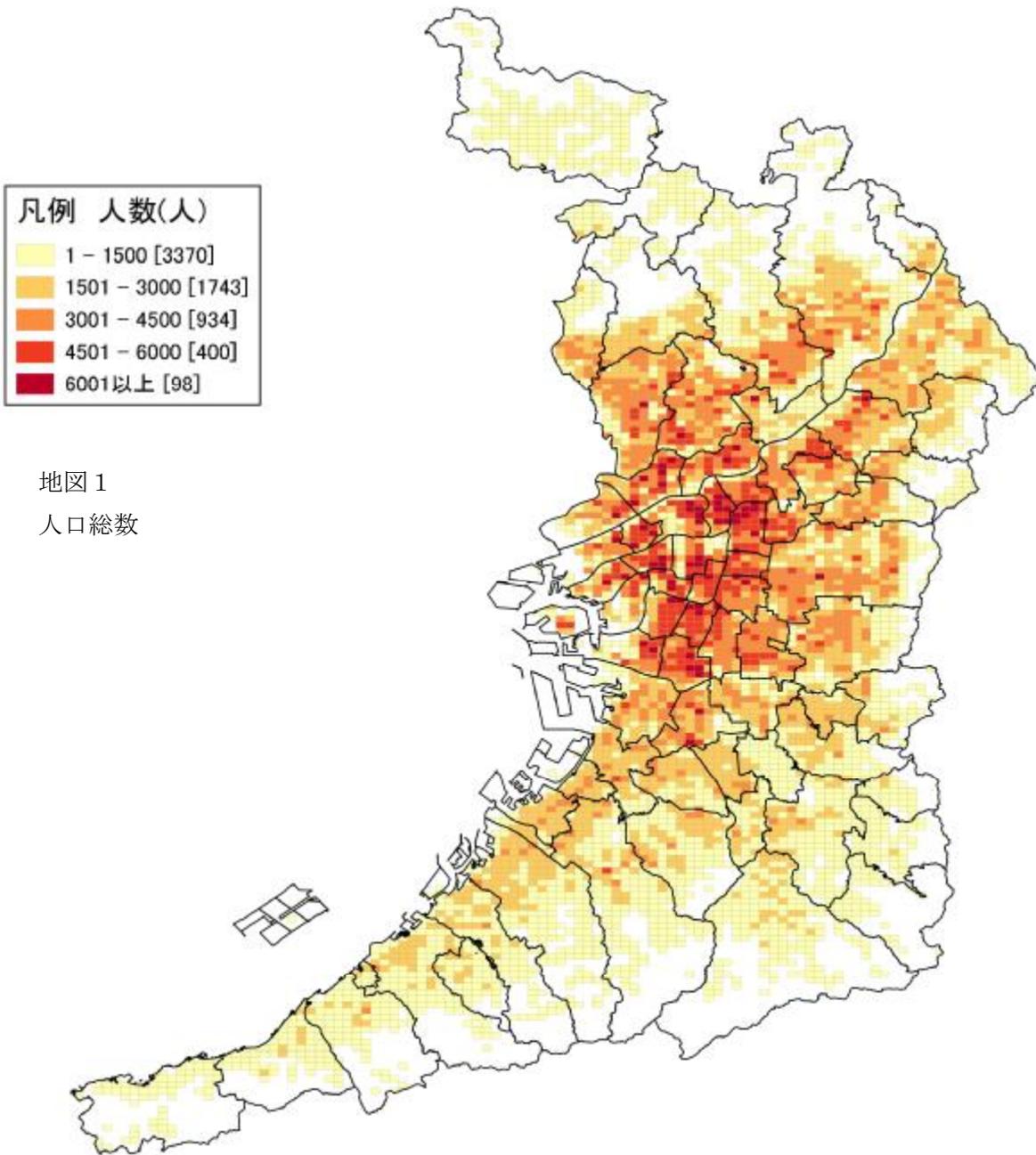
目 次

I	大阪府地域メッシュ統計からみた大阪府の人口・世帯数	1
	1. 人口総数	2
	2. 一般世帯数	4
	3. 0～14歳人口	6
	4. 65歳以上人口	7
	5. 居住期間別人口	8
	6. 外国人人口	9
	7. 6歳未満世帯員のいる世帯	10
	8. 65歳以上世帯員のいる世帯	11
	9. 高齢単身世帯	12
II	地域メッシュ統計地図	13
	大阪府内市町村区域図	15
	人口総数・性別人口地域メッシュ統計地図（第1地図～第3地図）	16
	年齢別人口・外国人人口地域メッシュ統計地図（第4地図～第10地図）	19
	世帯総数・一般世帯数地域メッシュ統計地図（第11地図～第12地図）	26
	世帯人員数別世帯数地域メッシュ統計地図（第13地図～第19地図）	28
	構成員別世帯数地域メッシュ統計地図（第20地図～第27地図）	35
	労働力状態別人口地域メッシュ統計地図（第28地図～第33地図）	43
	居住期間別人口地域メッシュ統計地図（第34地図～第39地図）	49
	就業者及び通学者別人口地域メッシュ統計地図（第40地図～第42地図）	55
	人口総数・性別人口増減地域メッシュ統計地図（第43地図～第45地図）	58
	年齢別人口・外国人人口増減地域メッシュ統計地図（第46地図～第52地図）	61
	世帯総数・一般世帯数増減地域メッシュ統計地図（第53地図～第54地図）	68
	世帯人員数別世帯数増減地域メッシュ統計地図（第55地図～第61地図）	70
	構成員別世帯数増減地域メッシュ統計地図（第62地図～第69地図）	77
	労働力状態別人口増減地域メッシュ統計地図（第70地図～第75地図）	85
	居住期間別人口増減地域メッシュ統計地図（第76地図～第81地図）	91

Ⅲ 地域メッシュ統計の仕組み	97
1. 地域メッシュの区分方法	98
(1) 標準地域メッシュ及び標準地域メッシュ・コードの体系	98
(2) 地域メッシュ・コードの付け方	100
2. 測地基準系について	106
TIPS 住所データに緯度・経度を付与するには?	108
QGIS について	109

I 大阪府地域メッシュ統計からみた
大阪府の人口・世帯数

1. 人口総数



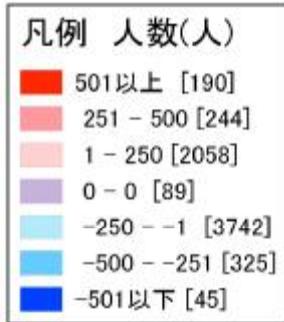
地図 1
人口総数

地図 1 は、平成 27 年における「人口総数」の分布を示しています。

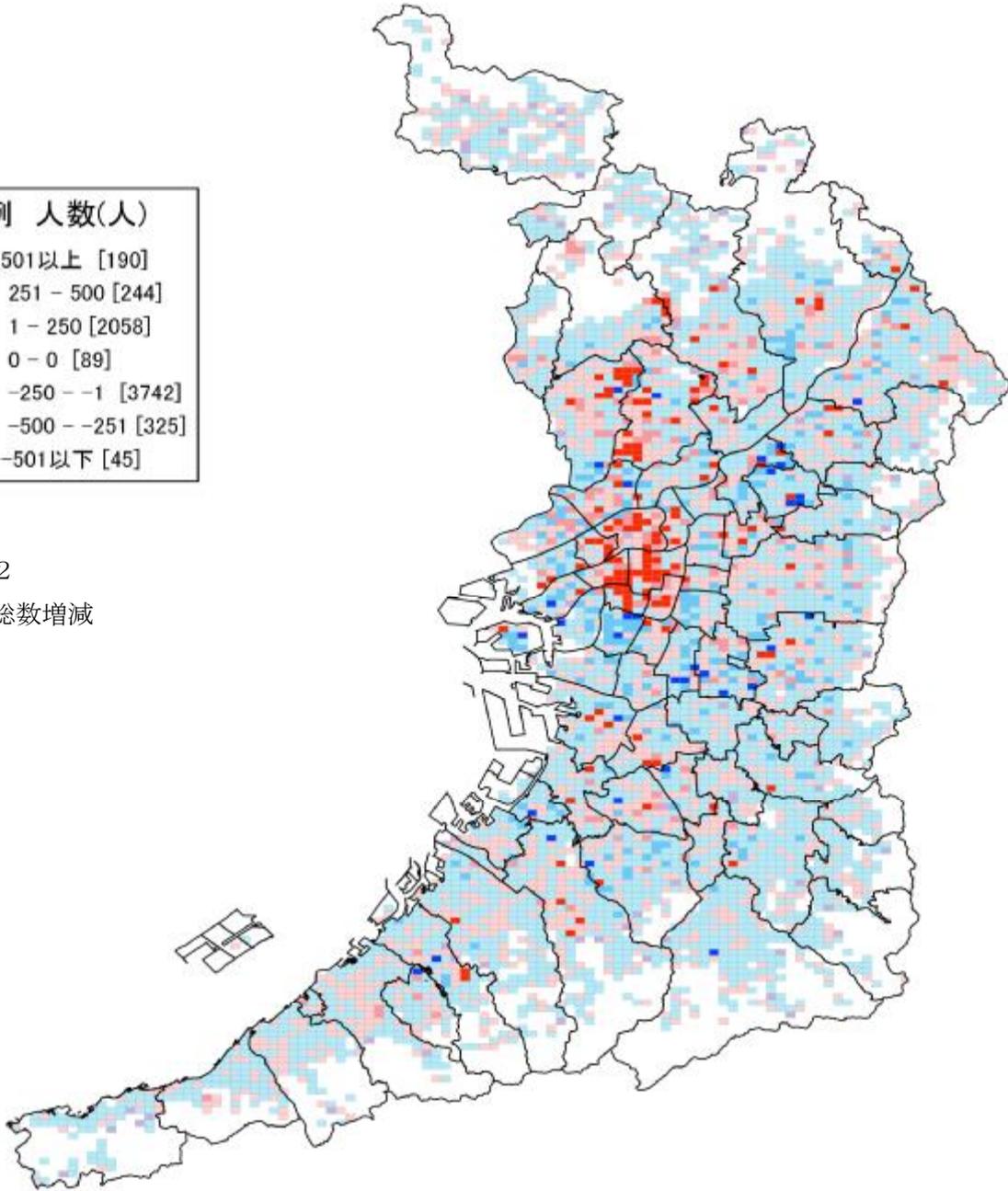
凡例は、居住している人口の規模によって 5 つの階級に分けています。最大の階級である「6001 以上」のメッシュは 98 ありますが、その内の約 90% は大阪市内に分布しています。

1 つのメッシュは約 500m 四方を表しており、その範囲に居住している人口が最も多い地点は、JR 新今宮駅及び OsakaMetro 動物園前駅周辺となります。

大阪市北区及び大阪府中央区の一部において、最小の階級である「1 - 1500」のメッシュが連なっている地域があります。これは、百貨店や飲食店、宿泊施設等が多く立地しており、居住者が少ないことによるものと思われます。なお、大阪府中央区東部にも「1 - 1500」のメッシュが数個ありますが、ここは大阪城公園です。



地図2
人口総数増減



地図2は、平成22年から平成27年にかけての「人口総数」の増減分布を示しています。

減少を示す青色のメッシュが、増加を示す赤色のメッシュよりも多く分布しています。

そのような中で、大阪市北区、大阪市中央区、大阪市福島区、大阪市天王寺区、大阪市浪速区及び大阪市西区では、著しく人口が減少した地域が少ないことに加え「501以上」のメッシュが占める割合が高くなっています。

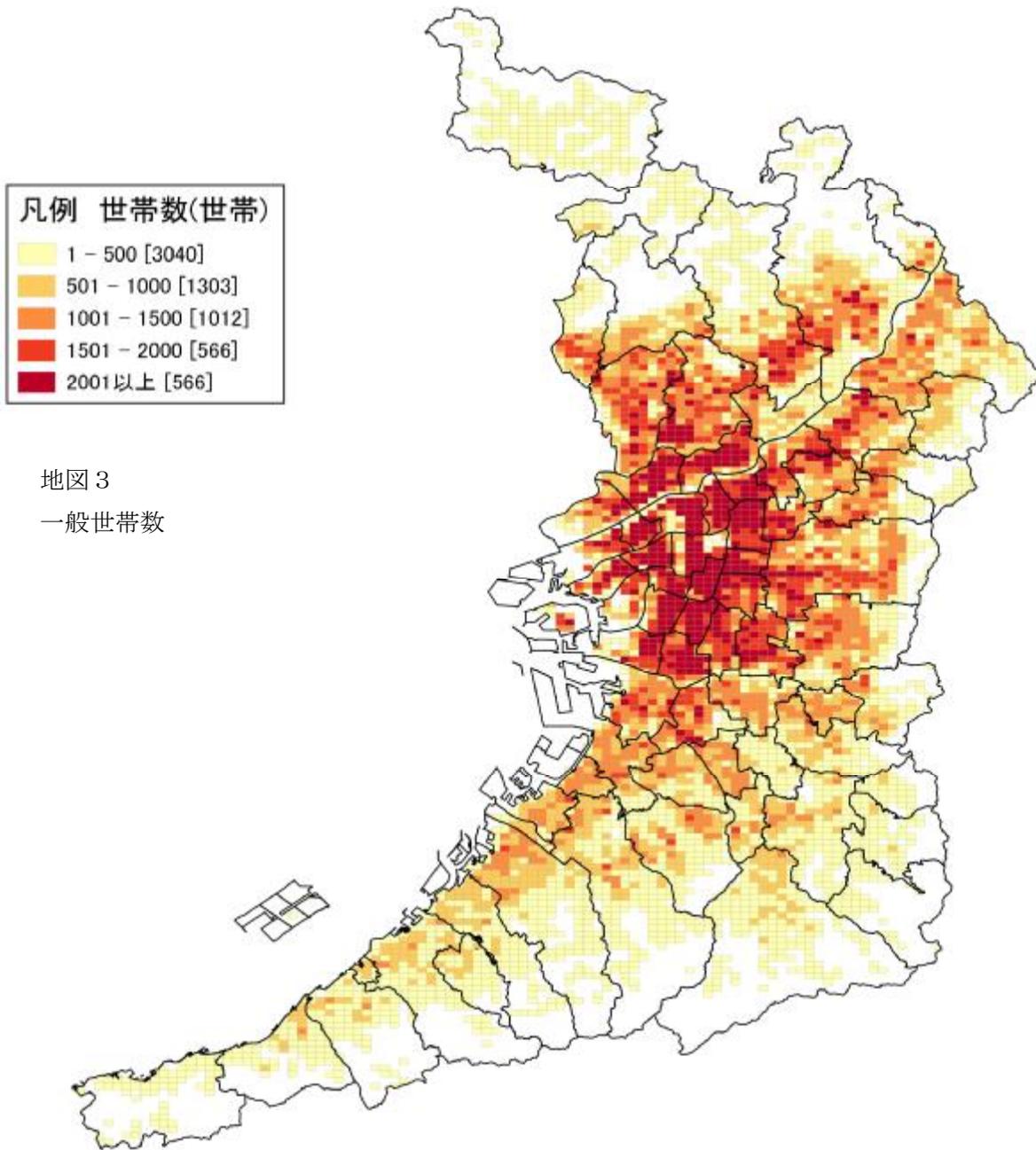
1メッシュ以内(約500m四方。以下同様)で人口総数が特に増加した地点は、JR久宝寺駅、阪急摂津市駅及び阪急南千里駅周辺となっています。

表1 人口総数の推移

	大阪府	全国
H22年(人)	8,865,245	128,057,352
H27年(人)	8,839,469	127,094,745
増減数(人)	▲25,776	▲962,607
増減率(%)	▲0.3	▲0.8

上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報(行政区域データ)」及び総務省統計局「平成27年国勢調査-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

2. 一般世帯数



地図 3

一般世帯数

地図 3は、平成 27 年における「一般世帯数」の分布を示しています。

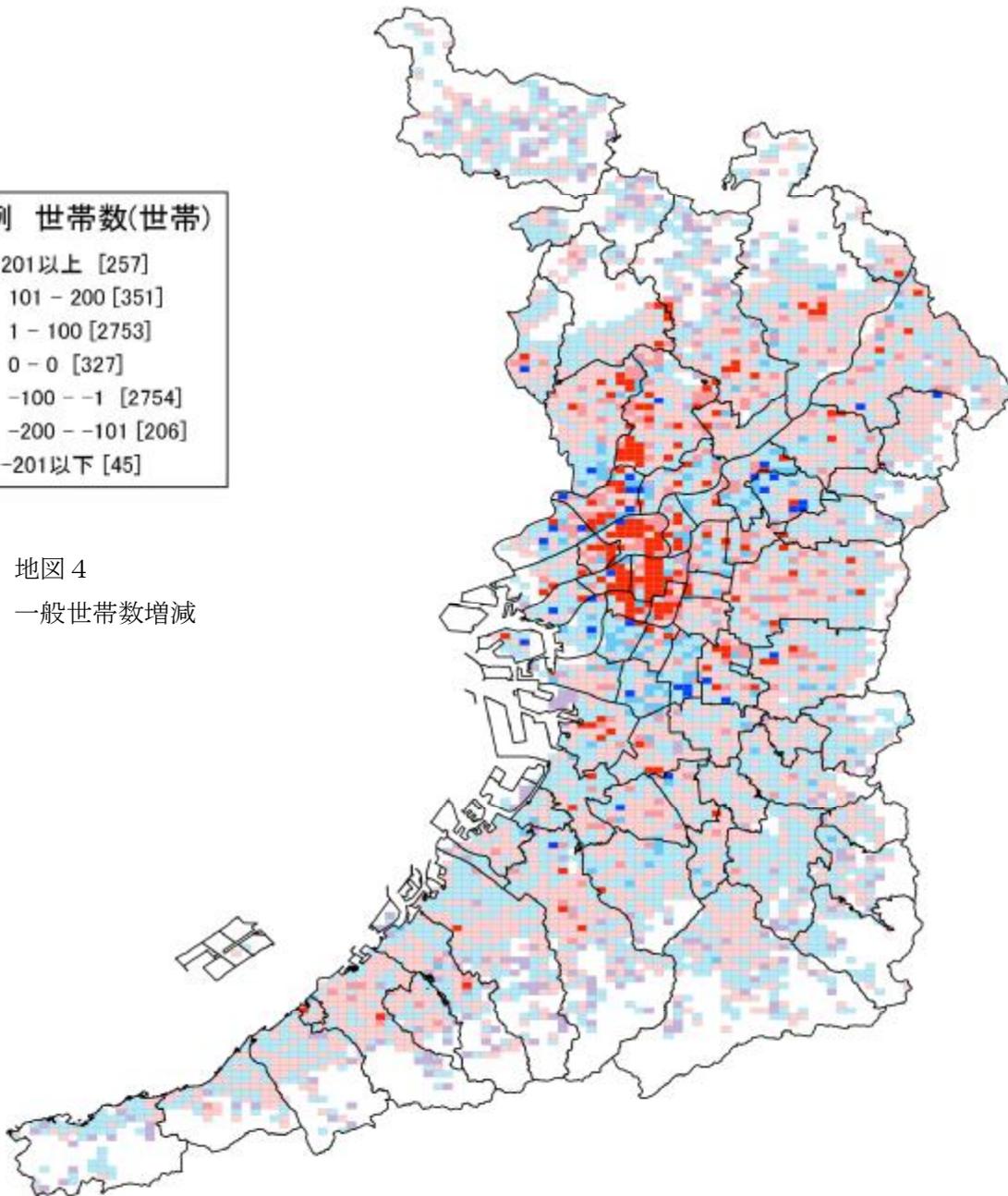
「一般世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯（施設等の世帯）以外の世帯を意味します。

大阪府内では、人口総数と同様、大阪市内に一般世帯が集中しています。

1 メッシュ以内に居住している一般世帯数が多い地点は、JR 新今宮駅及び OsakaMetro 動物園前駅、OsakaMetro 大国町駅並びに OsakaMetro 谷町六丁目駅周辺となっています。



地図4
一般世帯数増減



地図4は、平成22年から平成27年にかけての「一般世帯数」の増減分布を示しています。

人口とは異なり、増加を示すメッシュが多く分布しています。

大阪市北区や大阪市中心部、大阪市西区等の大阪市の中心に位置する地域や、吹田市の南部に「201以上」のメッシュが集中しています。

人口が減少しているにも関わらず、一般世帯数は増加しており、一世帯あたり人員は、平成22年は2.28人だったのに対し、平成27年は2.22人に減少しています。

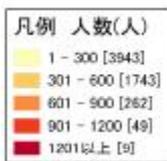
1メッシュ以内で一般世帯が特に増加した地点は、人口の増加と同様、八尾市、摂津市及び吹田市となっています。

表2 一般世帯の推移

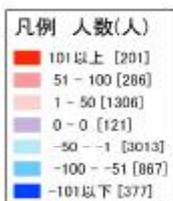
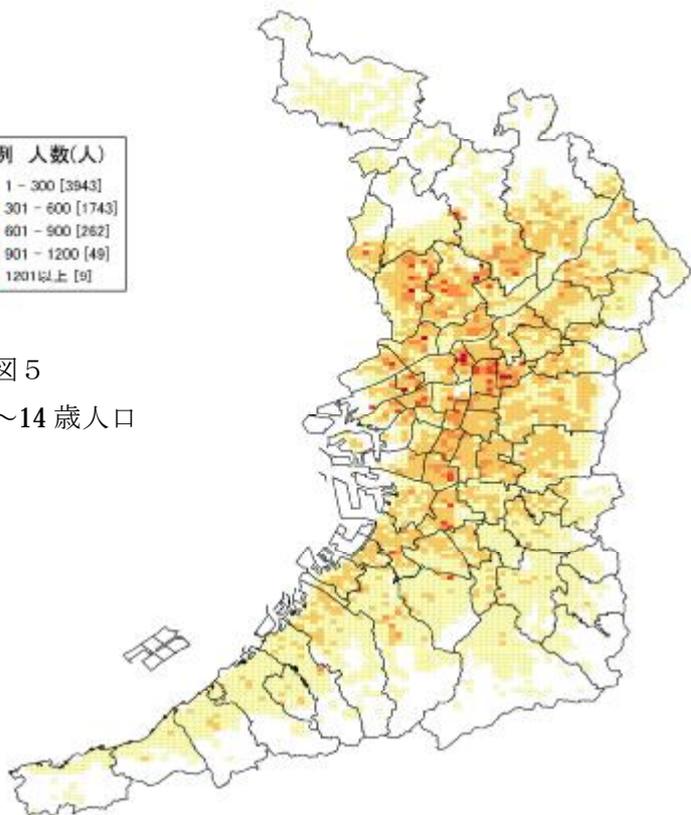
	大阪府	全国
H22年(世帯)	3,823,279	51,842,307
H27年(世帯)	3,918,441	53,331,797
増減数(世帯)	95,162	1,489,490
増減率(%)	2.5	2.9

上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報(行政区域データ)」及び総務省統計局「平成27年国勢調査-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

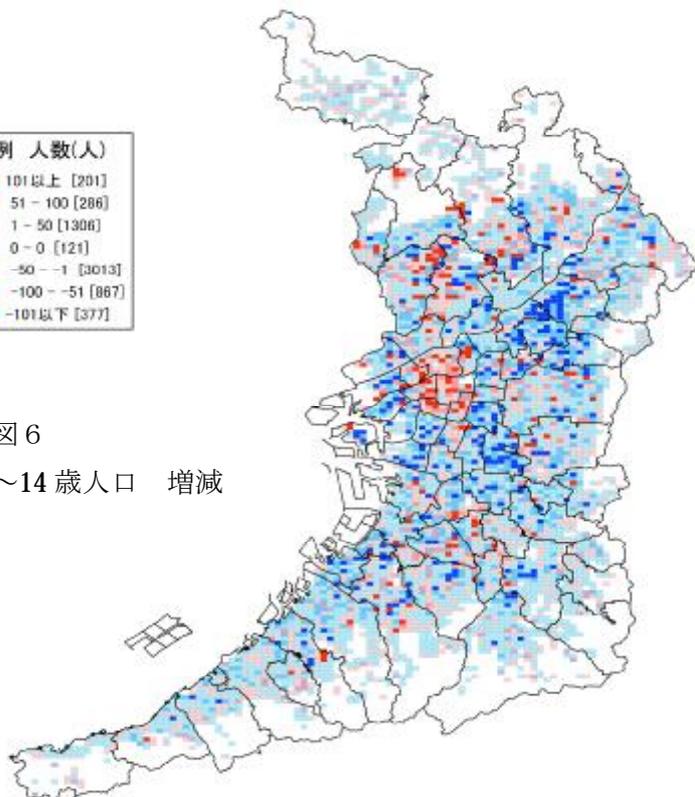
3. 0～14 歳人口



地図5
0～14 歳人口



地図6
0～14 歳人口 増減



地図5は、平成27年における「0～14歳人口」の分布を示しています。

大阪府内では、主に「1 - 300」のメッシュが広がっています。

そのような中で、大阪市鶴見区や大阪市淀川区、大阪市都島区、吹田市等で「1201以上」のメッシュが分布しています。

なお、平成27年における大阪府の「0～14歳人口」の割合は約12%となり、平成22年時から約1ポイント低下しました。

地図6は、平成22年から平成27年にかけての「0～14歳人口」の増減分布を示しています。

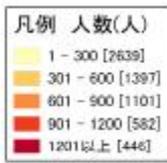
大阪府内では、主に減少を示すメッシュが分布していますが、大阪市北区、大阪府中央区、大阪府浪速区、大阪府天王寺区等の地域では、増加を示す赤色のメッシュが広がっています。

1メッシュ以内で0～14歳人口が特に増加した地点は、八尾市、摂津市、吹田市及び箕面市にあります。

表3 0～14歳人口の推移

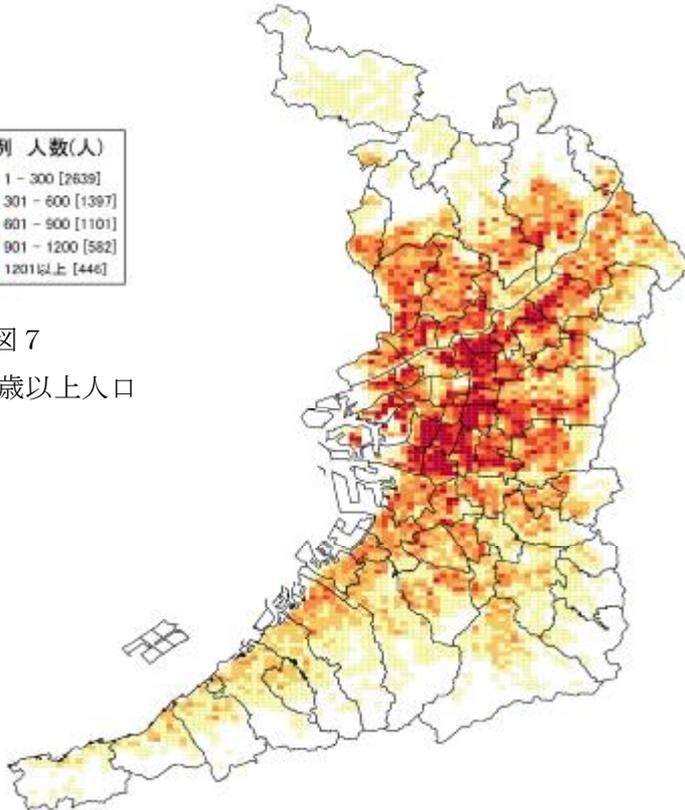
	大阪府	全国
H22年(人)	1,165,200	16,803,444
H27年(人)	1,093,111	15,886,810
増減数(人)	▲72,089	▲916,634
増減率(%)	▲6.2	▲5.5

4. 65 歳以上人口



地図 7

65 歳以上人口

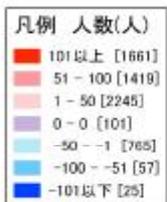


地図 7 は、平成 27 年における「65 歳以上人口」の分布を示しています。

前ページの「0～14 歳人口」と比較すると、大阪府内に広がっているメッシュの色が全体的に濃くなっており、65 歳以上人口が多いことが伺えます。

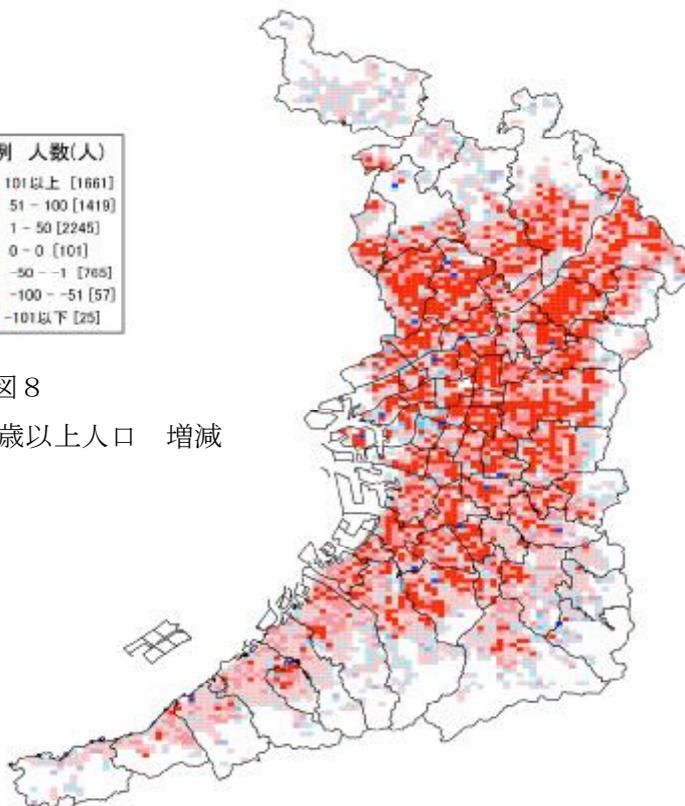
1 メッシュ以内で 65 歳以上人口が特に多い地点は、主に大阪市西成区に分布しています。

なお、平成 27 年における大阪府の「65 歳以上人口」の割合(高齢化率)は約 26% となり、平成 22 年時と比べ約 4 ポイント上昇しました。



地図 8

65 歳以上人口 増減



地図 8 は、平成 22 年から平成 27 年にかけての「65 歳以上人口」の増減分布を示しています。

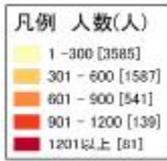
大阪府内全域で増加を示す赤いメッシュが広がっており、その数は減少を示す青いメッシュの約 6 倍になります。

1 メッシュ以内で 65 歳以上人口が特に増加した地点は、大阪市都島区、大阪市住之江区及び東大阪市となっています。

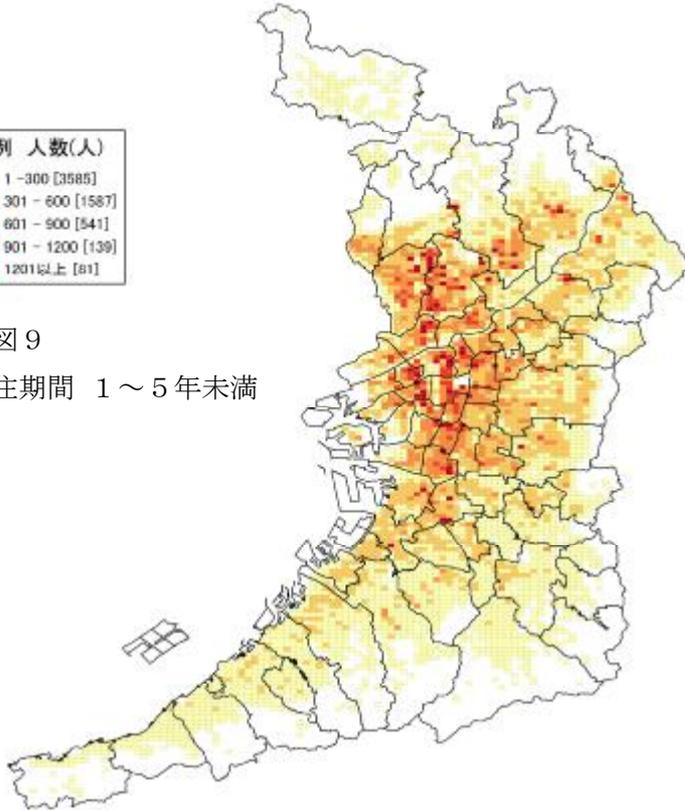
表 4 65 歳以上人口の推移

	大阪府	全国
H22 年(人)	1,962,748	29,245,685
H27 年(人)	2,278,324	33,465,441
増減数(人)	315,576	4,219,756
増減率(%)	16.1	14.4

5. 居住期間別人口



地図9
居住期間 1～5年未満



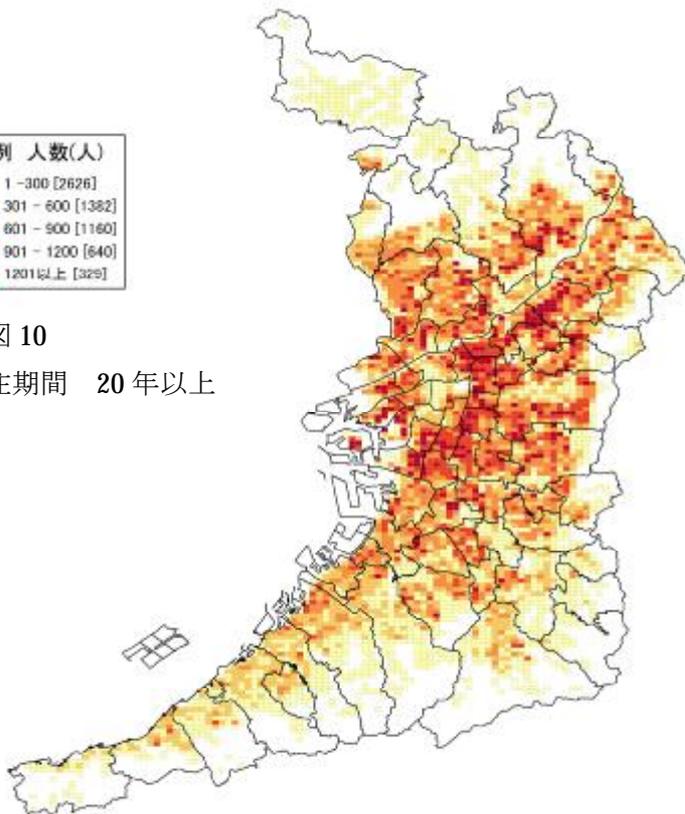
地図9は、平成27年において、当該地域に「1～5年未満」居住している人口の分布を示しています。

「1～5年未満」居住している人口は、大阪市北区や大阪府中央区をはじめとする大阪市内や、豊中市や吹田市等により多く分布しています。

1メッシュ以内で「1～5年未満」居住している人口が特に多い地点は、摂津市、吹田市及び八尾市となっています。これらの地点には、平成22年以降に大型マンションが竣工しています。



地図10
居住期間 20年以上



地図10は、平成27年において当該地域に「20年以上」居住している人口の分布を示しています。

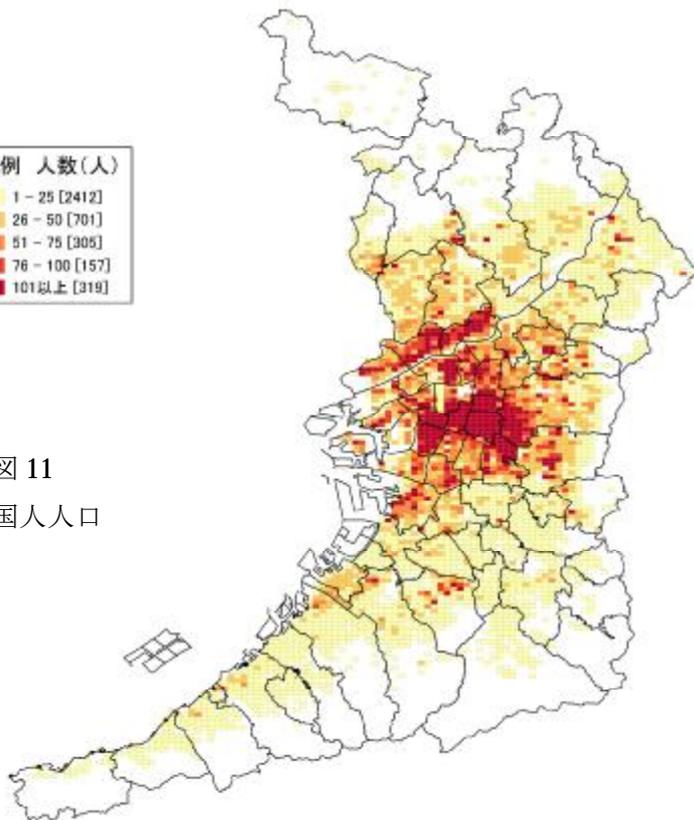
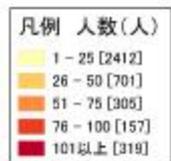
地図9と比較してみると、5年以内に住居を変えた人に比べ、20年以上居住している人の方が多いことが分かります。

1メッシュ以内で「20年以上」居住している人口が特に多い地点は、大阪市都島区及び大阪市城東区となっています。

表5 居住期間別人口

	大阪府	全国
1～5年未満(人)	1,314,514	19,702,701
20年以上(人)	2,232,523	36,545,269

6. 外国人人口

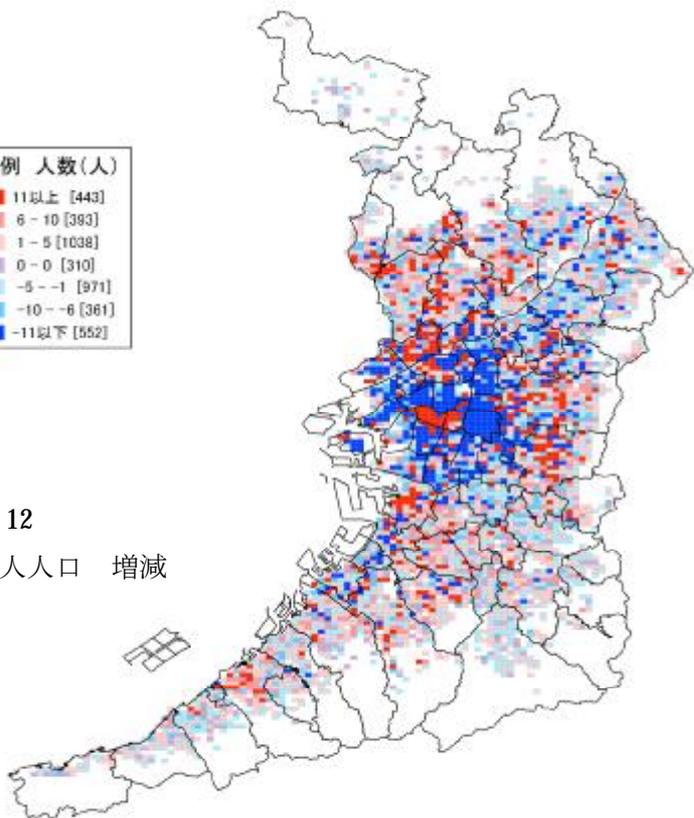
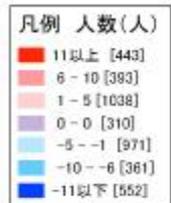


地図 11
外国人人口

地図 11 は、平成 27 年における「外国人人口」の分布を示しています。

大阪府内では主に、「1 - 25」のメッシュが広がっています。

そのような中で、大阪市内には、より多く人口が所在していることを示す「101 以上」のメッシュが分布しています。特に、コリアタウンが存在する大阪市生野区には、多くの外国人居住者が集中しています。



地図 12
外国人人口 増減

地図 12 は、平成 22 年から平成 27 年にかけての「外国人人口」の増減分布を示しています。

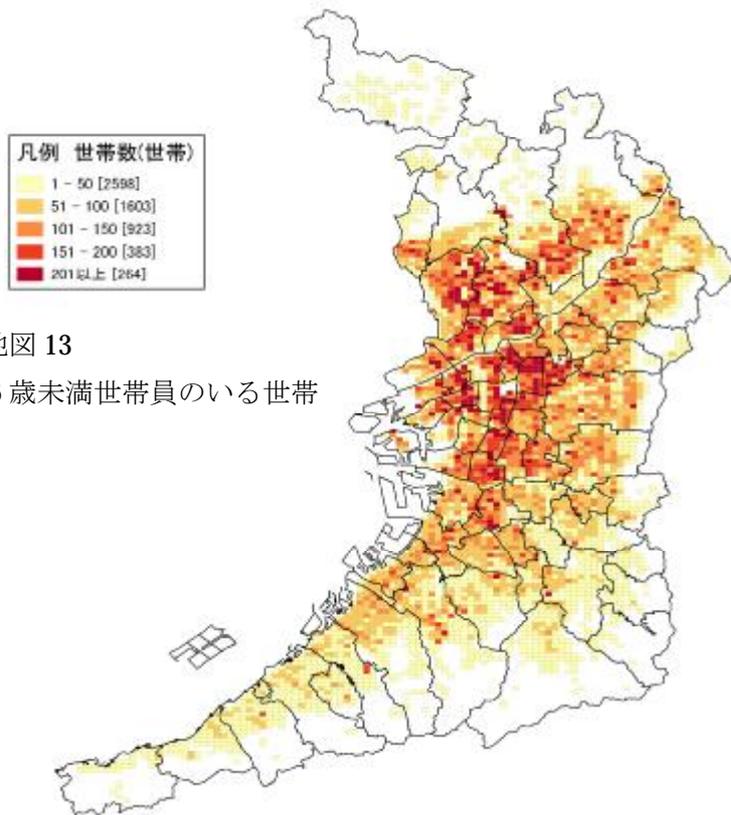
大阪府内では主に、減少を示す青色のメッシュが広がっています。

そのような中で、大阪市浪速区や吹田市、箕面市、枚方市等で「11 以上」増加のメッシュが分布しています。

表 6 外国人人口の推移

	大阪府	全国
H22 年(人)	164,704	1,648,037
H27 年(人)	150,890	1,752,368
増減数(人)	▲13,814	104,331
増減率(%)	▲8.4	6.3

7. 6歳未満世帯員のいる世帯数



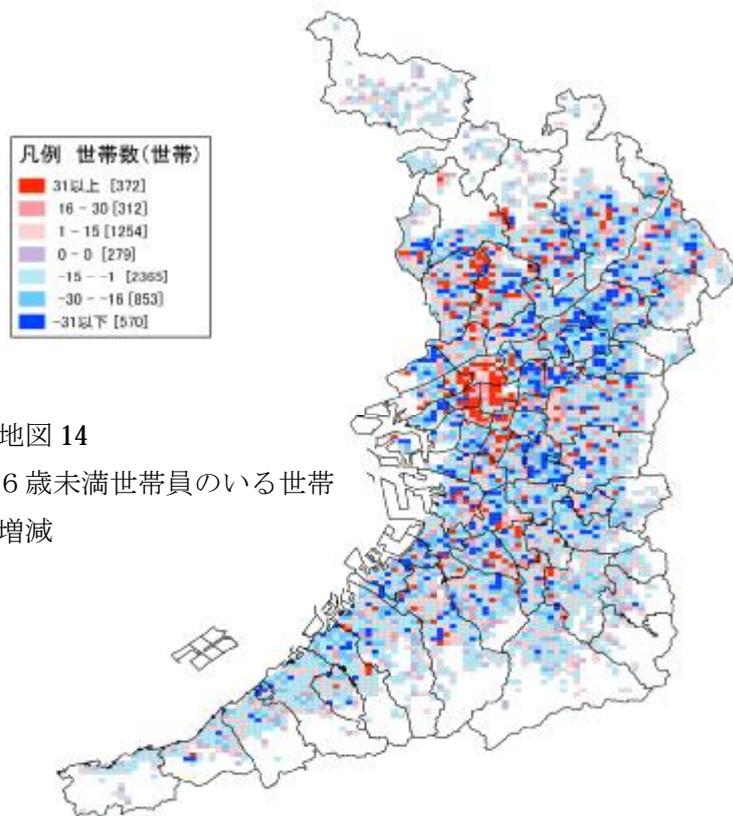
地図 13

6歳未満世帯員のいる世帯

地図 13 は、平成 27 年における「6歳未満世帯員のいる世帯」の分布を示しています。

大阪府内では主に、「1 - 50」のメッシュが分布しています。

「6歳未満世帯員のいる世帯」がより多く所在していることを示す「201以上」のメッシュは、大阪市淀川区や阪急摂津市駅、JR ユニバーサルシティ駅、JR 久宝寺駅及び OsakaMetro 谷町 6 丁目駅、周辺などに分布しています。



地図 14

6歳未満世帯員のいる世帯
増減

地図 14 は、平成 22 年から平成 27 年にかけての「6歳未満世帯員のいる世帯」の増減分布を示しています。

大阪府内では、主に減少を示す青色のメッシュが多く広がっています。

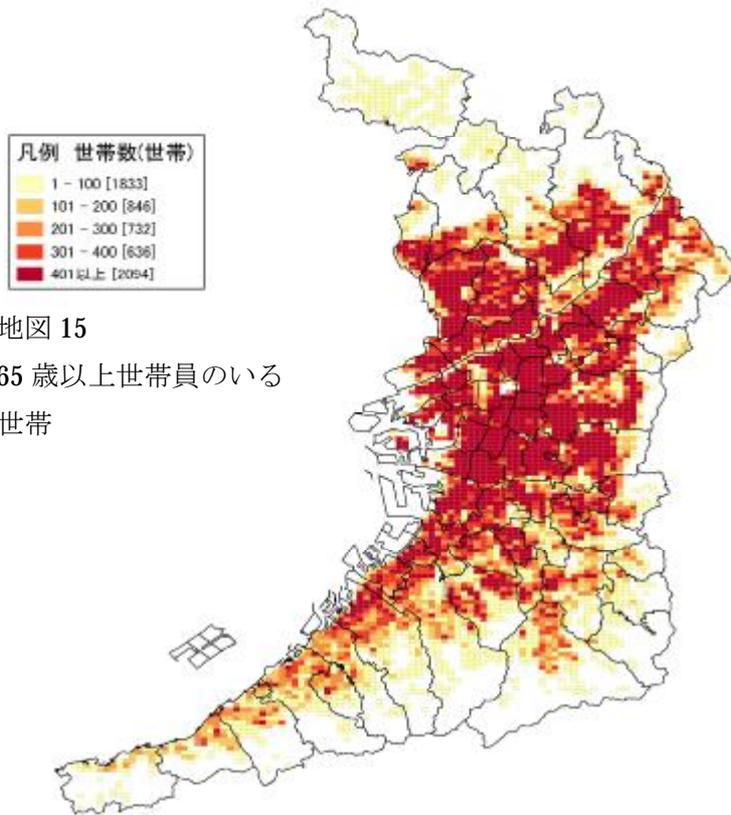
そのような中で、大阪市北区や大阪市中央区、吹田市西部などに「31以上」のメッシュが集中して分布しています。

1メッシュ以内で6歳未満世帯員のいる世帯が特に増加した地点は、摂津市、吹田市、八尾市及び島本町となっています。

表 7 6歳未満世帯員のいる世帯の推移

	大阪府	全国
H22年(世帯)	336,831	4,877,321
H27年(世帯)	318,386	4,617,373
増減数(世帯)	▲18,445	▲259,948
増減率(%)	▲5.5	▲5.3

8. 65歳以上世帯員のいる世帯数

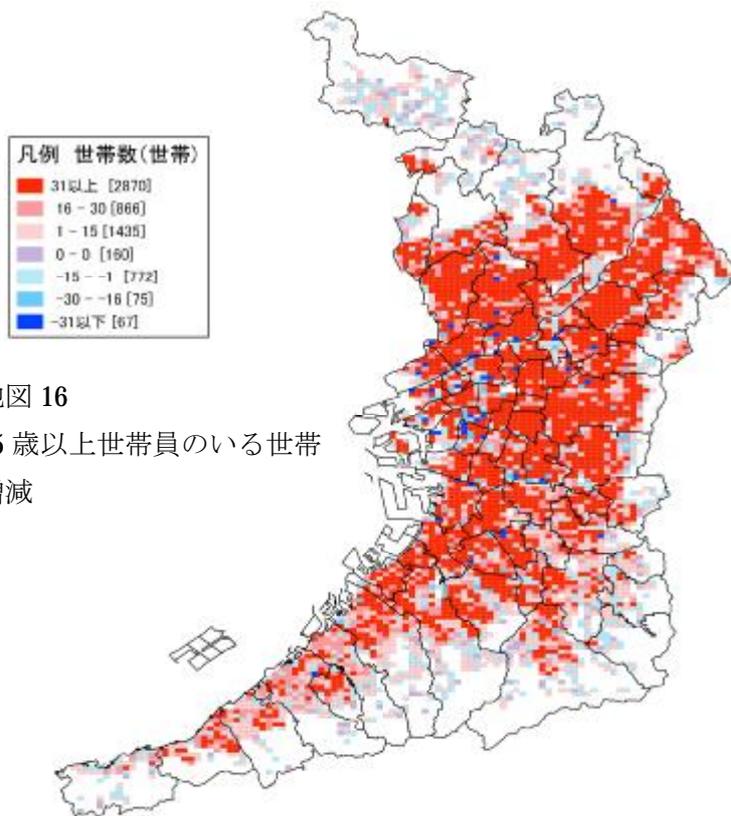


地図 15
65歳以上世帯員のいる世帯

地図 15 は、平成 27 年における「65歳以上世帯員のいる世帯」の分布を示しています。

大阪府内では、最大の階級である「401以上」のメッシュが主に広がっています。

そのような中で、1メッシュ以内で最も世帯数が多い地点は、主に大阪市西成区に分布しています。



地図 16
65歳以上世帯員のいる世帯増減

地図 16 は、平成 22 年から平成 27 年にかけての「65歳以上世帯員のいる世帯」の増減分布を示しています。

大阪府内では、最大の階級である「31以上」のメッシュが主に広がっています。

そのような中で、1メッシュ以内で特に世帯数が増加した地点は大阪市淀川区、大阪市都島区及び堺市北区に分布しています。

表 8 65歳以上世帯員のいる世帯の推移

	大阪府	全国
H22年(世帯)	1,345,444	19,337,687
H27年(世帯)	1,531,940	21,713,308
増減数(世帯)	186,496	2,375,621
増減率(%)	13.9	12.3

上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報(行政区域データ)」及び総務省統計局「平成 27 年国勢調査-世界測地系 500m メッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

9. 高齢単身世帯

地図 17 は、平成 27 年における「高齢単身世帯」の分布を示しています。

高齢単身世帯とは、65 歳以上の一人のみの一般世帯をいいます。

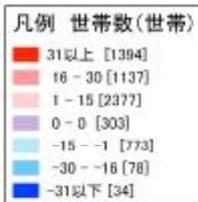
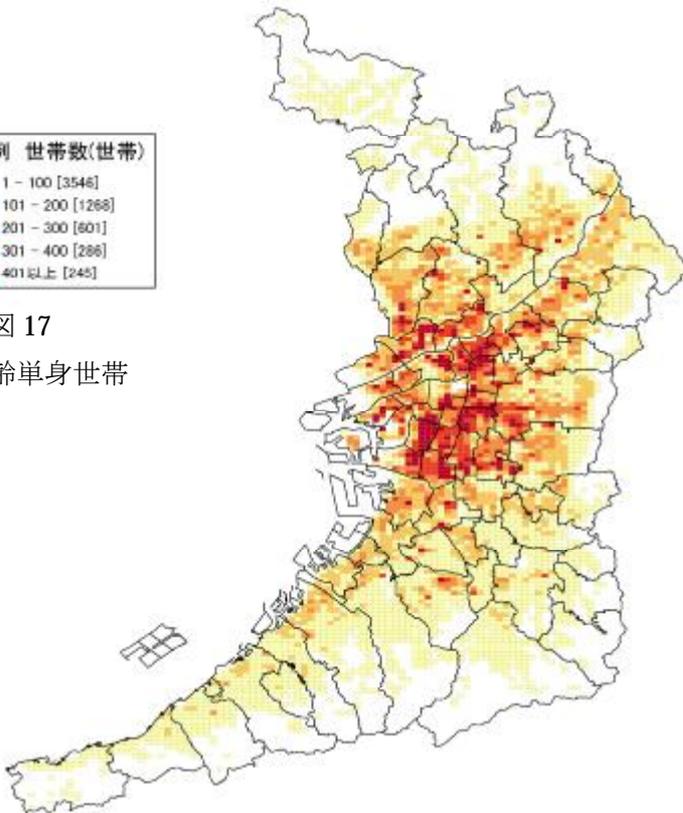
大阪府内では、主に「1 - 100」のメッシュが分布しています。

前ページの地図 15 では、大阪府の広範囲に「401 以上」のメッシュが分布していましたが、地図 17 では、主に大阪市西成区をはじめとする大阪市内に分布しています。



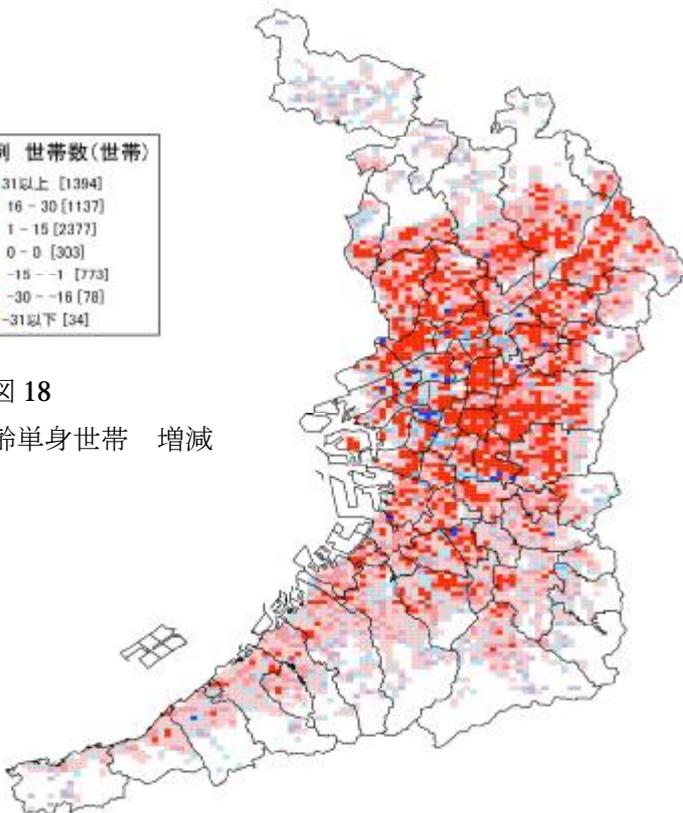
地図 17

高齢単身世帯



地図 18

高齢単身世帯 増減



地図 18 は、平成 22 年から平成 27 年にかけての「高齢単身世帯」の増減分布を示しています。

大阪府内では主に、増加を示す赤色のメッシュが広がっています。

大阪市西成区、大阪市生野区及び堺市北区では、特に高齢者の単身世帯が増加しています。

表 9 高齢単身世帯の推移

	大阪府	全国
H22 年(世帯)	432, 816	4, 790, 768
H27 年(世帯)	520, 292	5, 927, 686
増減数(世帯)	87, 476	1, 136, 918
増減率(%)	20. 2	23. 7

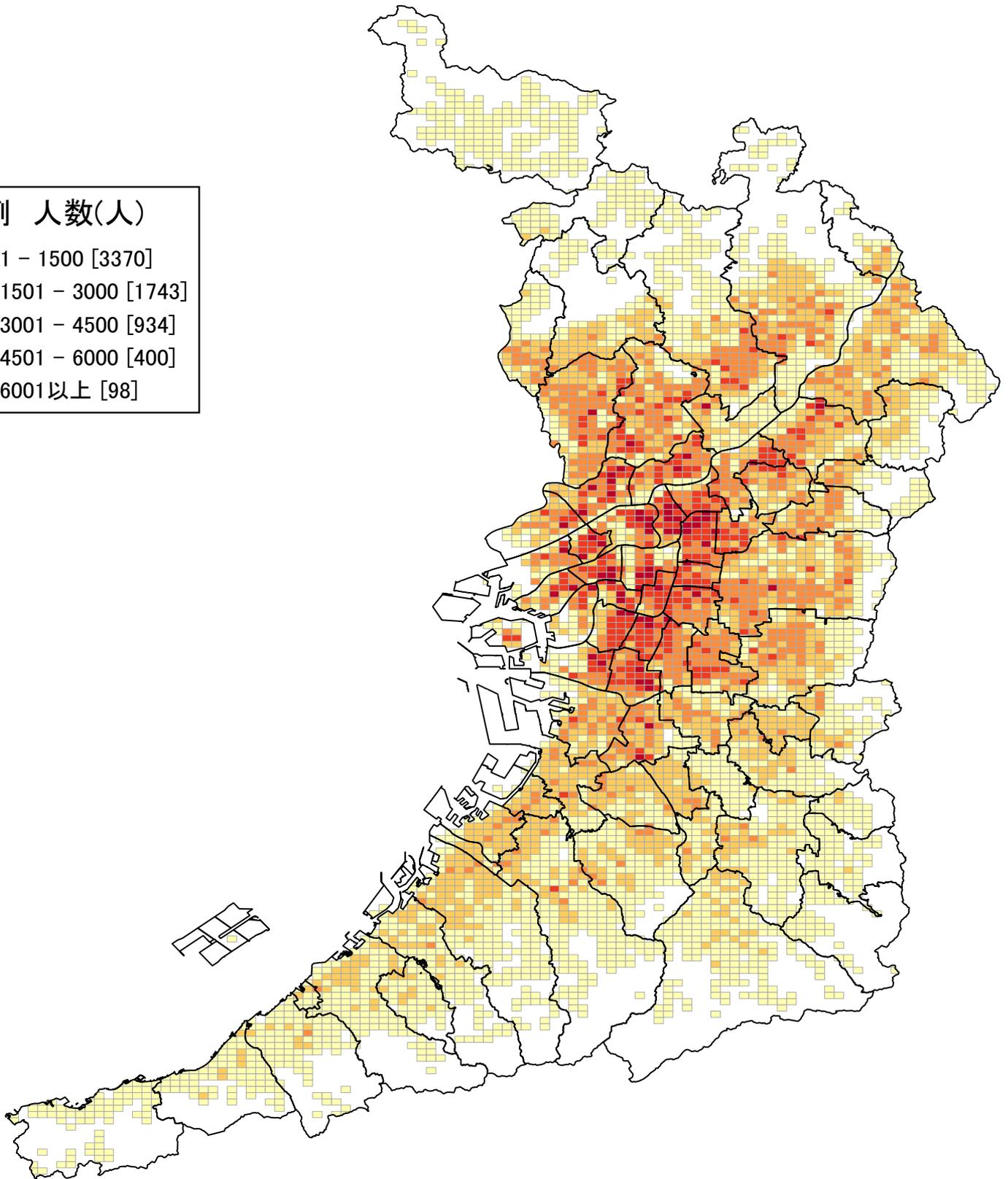
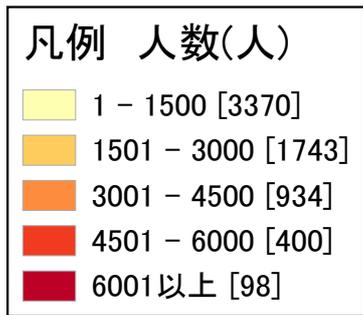
Ⅱ 地域メッシュ統計地図

大阪府内市町村区域図

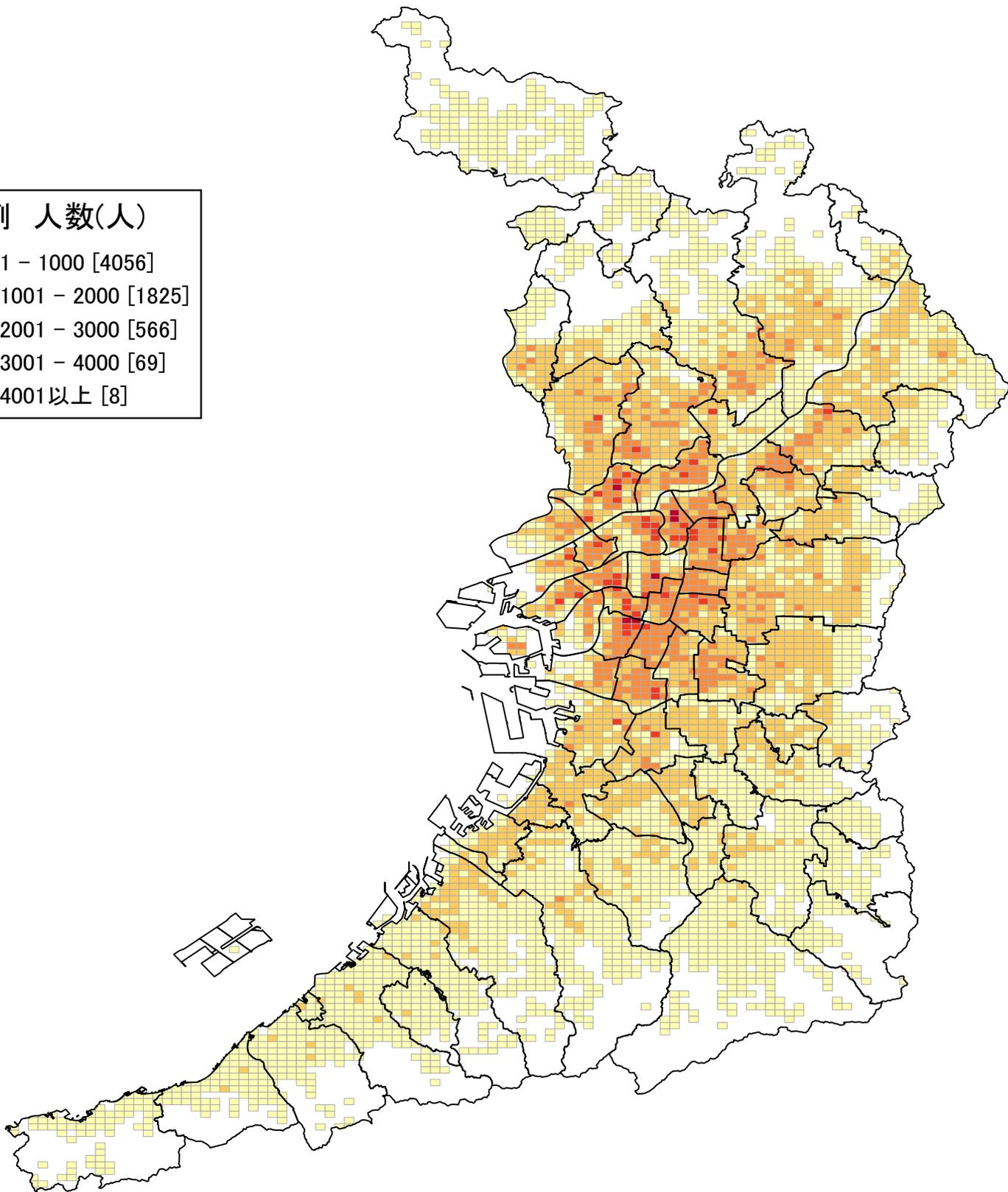
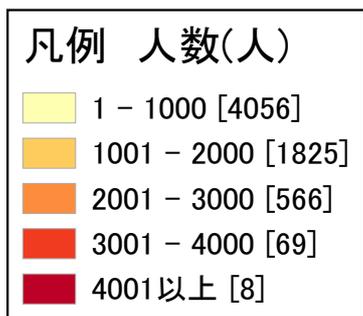


上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」をもとに、大阪府が編集・加工。

第1地図 人口総数(年齢「不詳」を含む):男女計



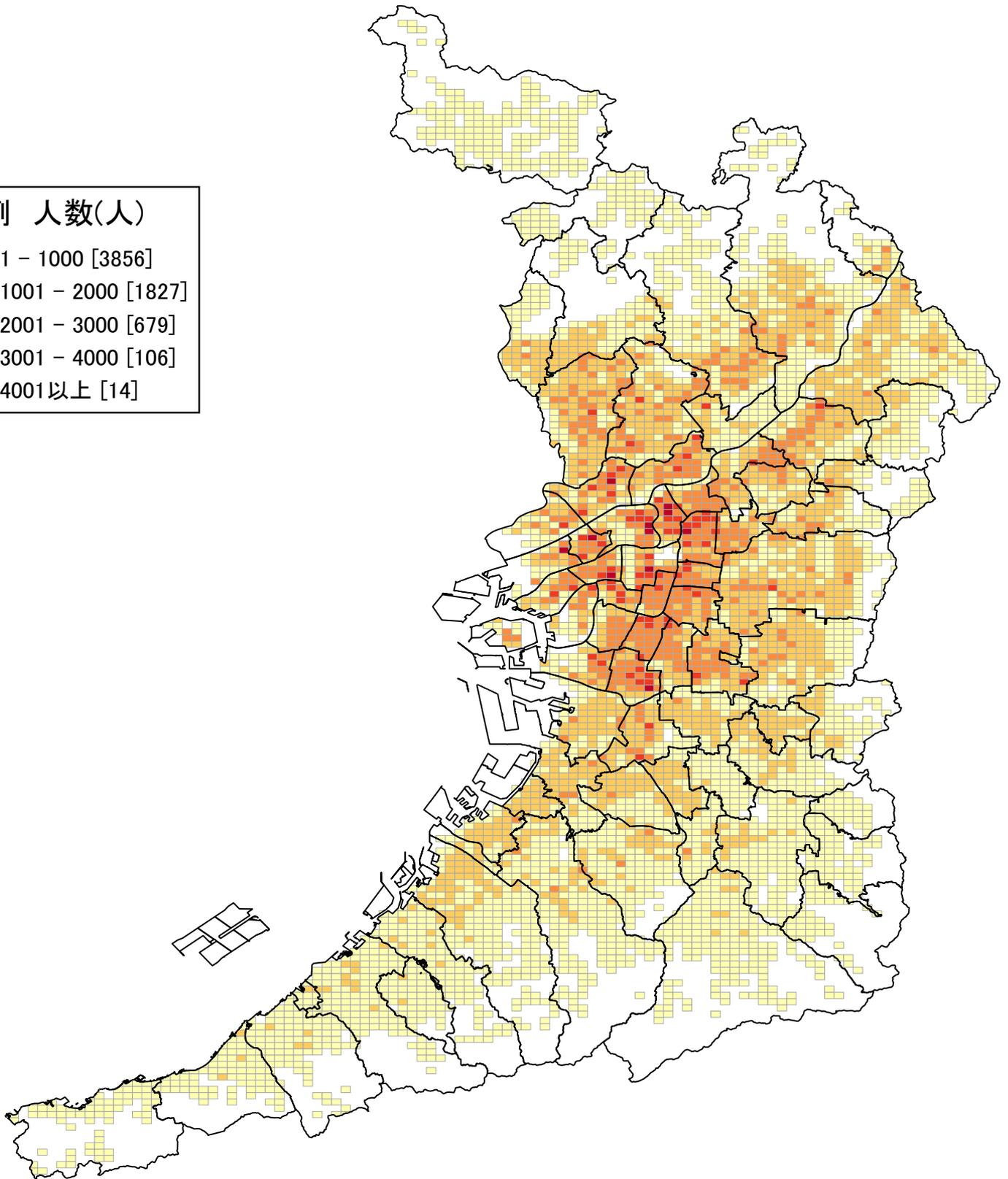
第2地図 人口総数(年齢「不詳」を含む): 男



第3地図 人口総数(年齢「不詳」を含む):女

凡例 人数(人)

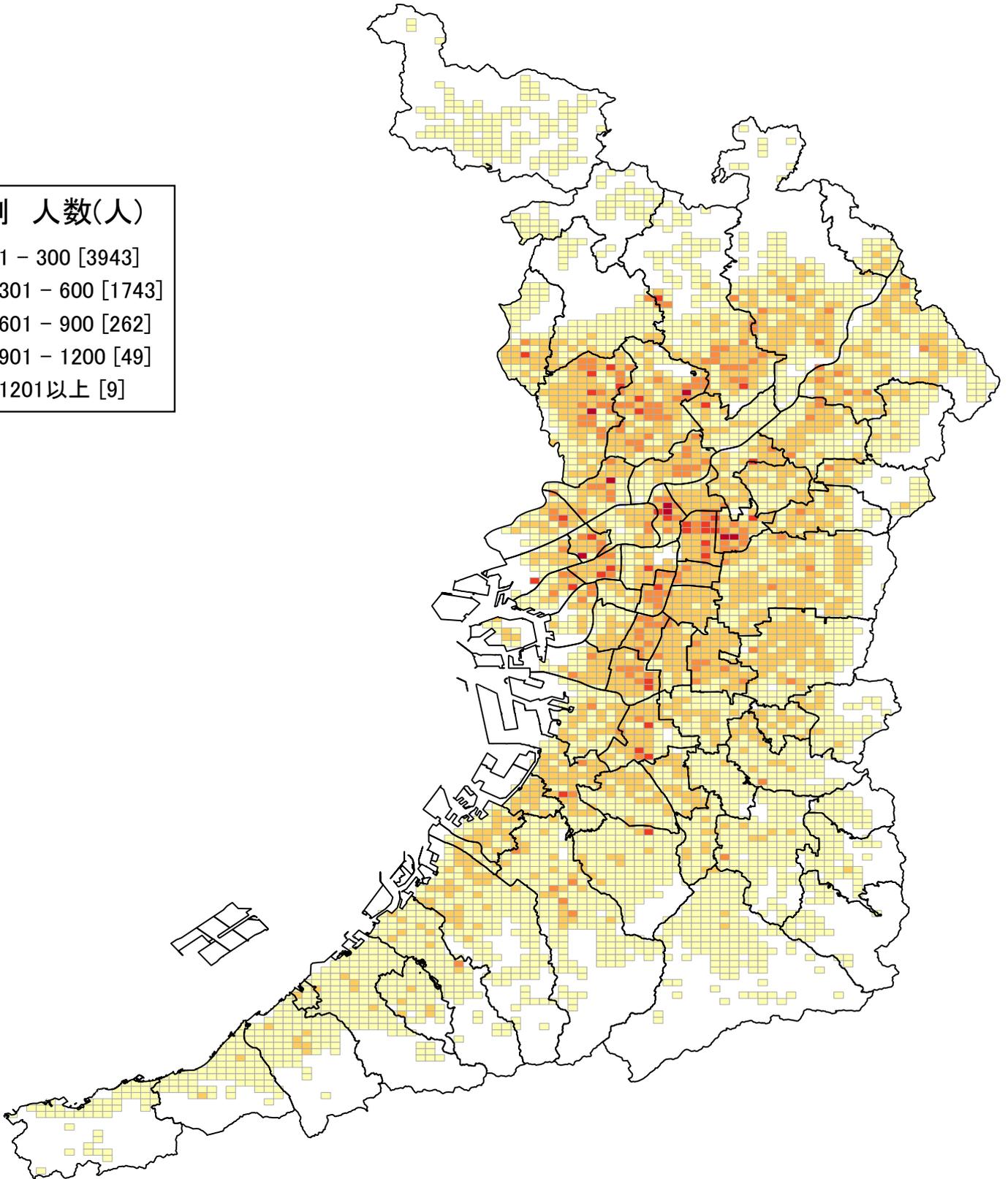
1 - 1000	[3856]
1001 - 2000	[1827]
2001 - 3000	[679]
3001 - 4000	[106]
4001以上	[14]



第4地図 0～14歳人口

凡例 人数(人)

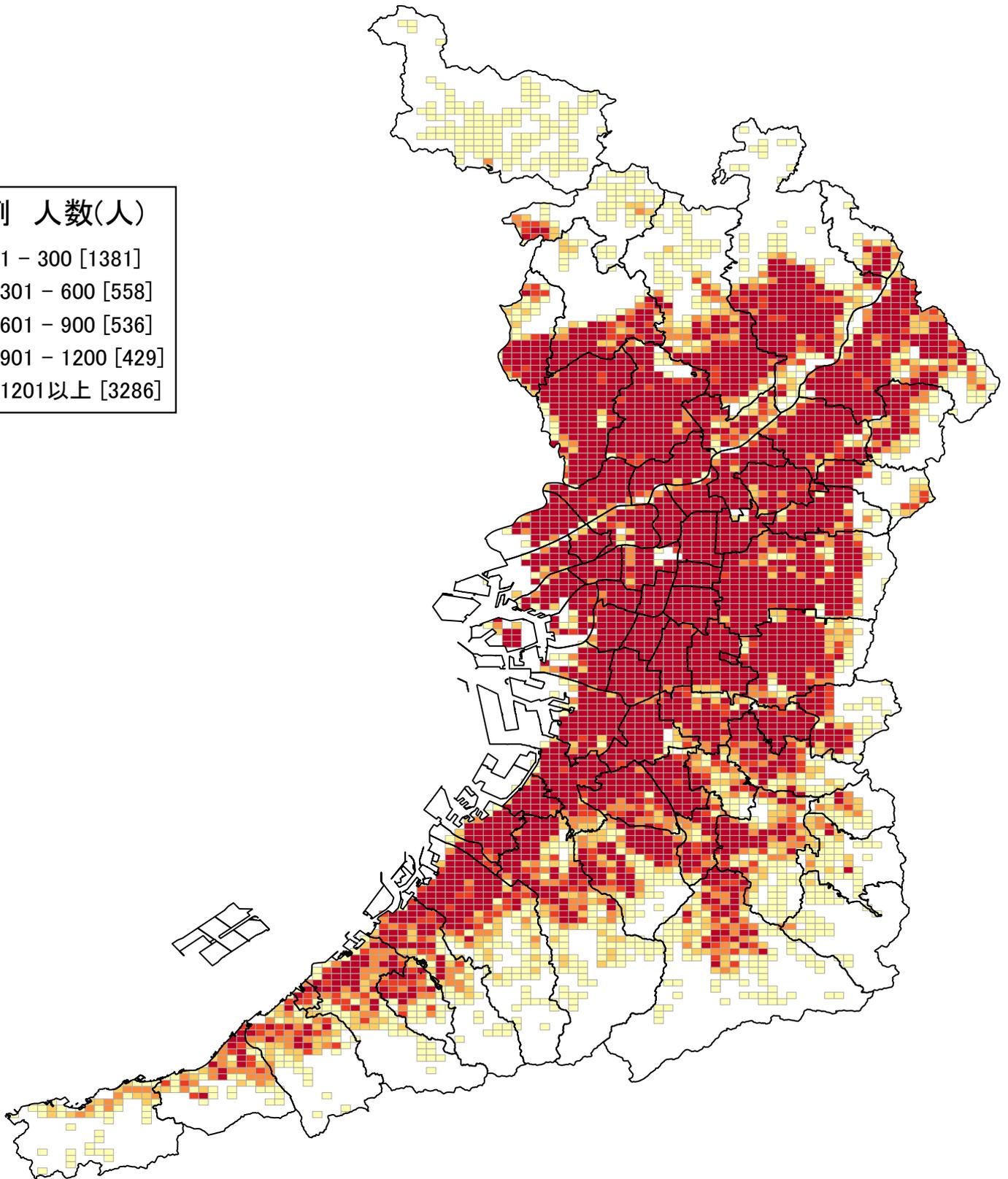
1 - 300 [3943]
301 - 600 [1743]
601 - 900 [262]
901 - 1200 [49]
1201以上 [9]



第5地図 15歳以上人口

凡例 人数(人)

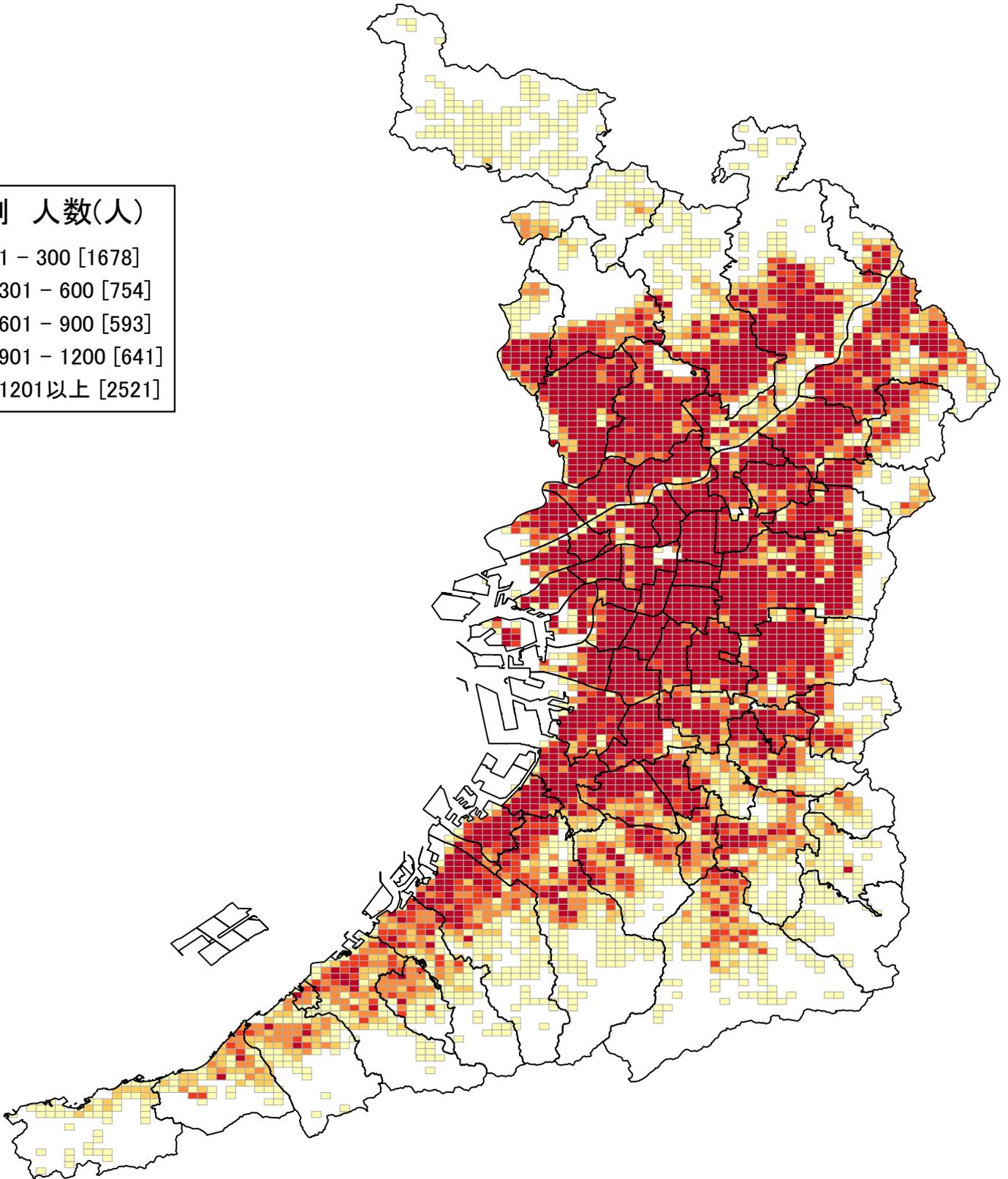
1 - 300	[1381]
301 - 600	[558]
601 - 900	[536]
901 - 1200	[429]
1201以上	[3286]



第6地図 15～64歳人口

凡例 人数(人)

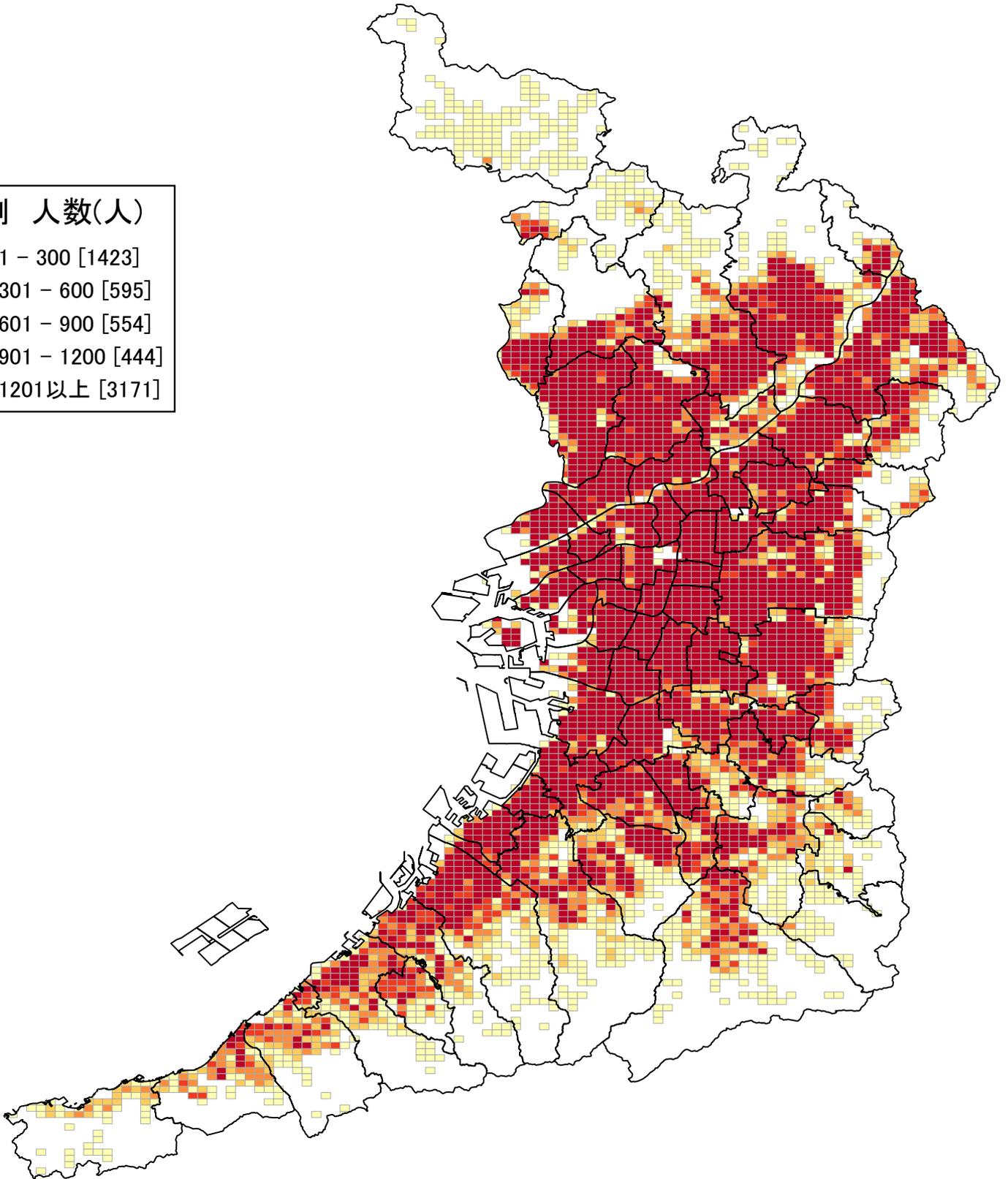
- 1 - 300 [1678]
- 301 - 600 [754]
- 601 - 900 [593]
- 901 - 1200 [641]
- 1201以上 [2521]



第7地図 20歳以上人口

凡例 人数(人)

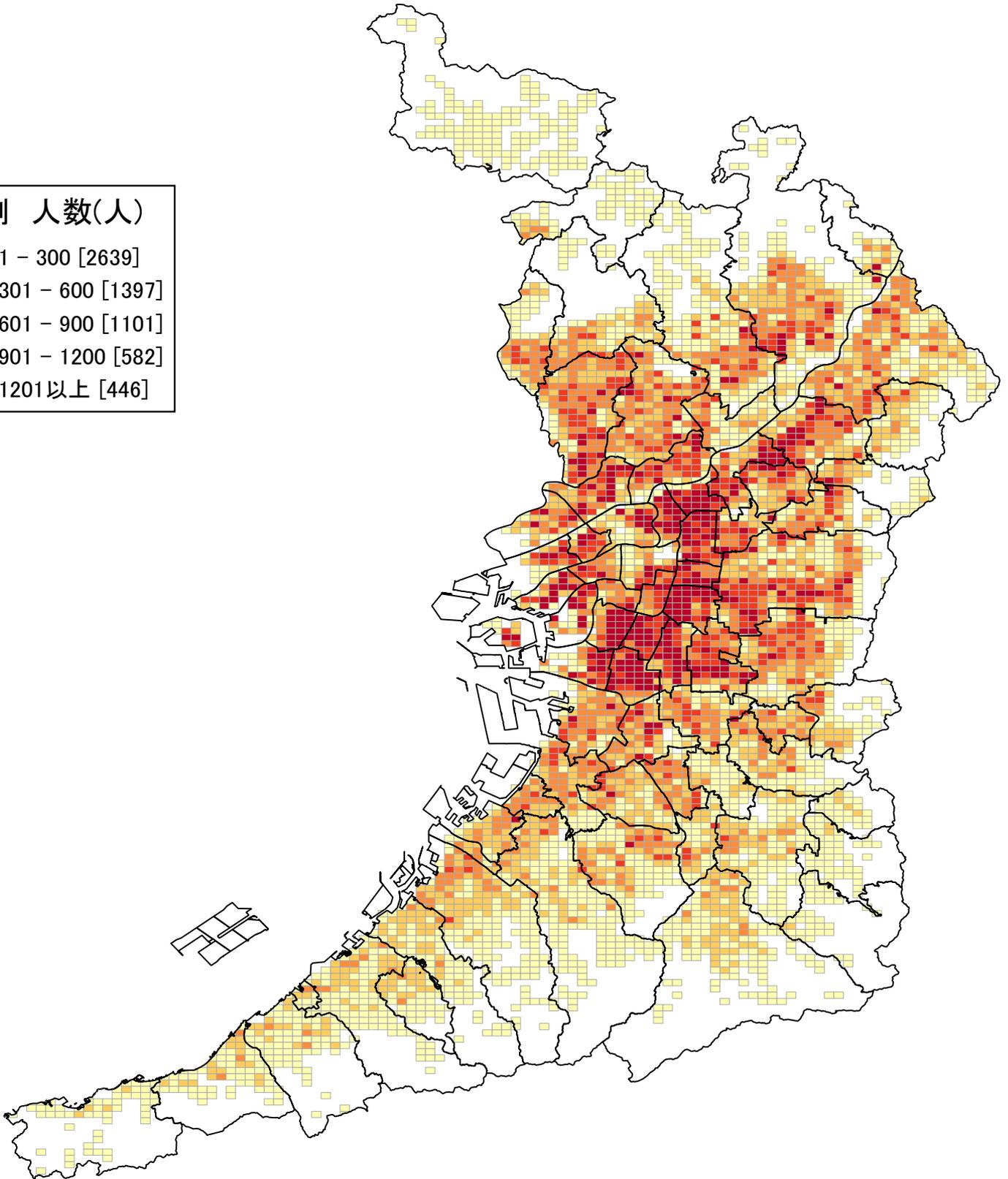
1 - 300 [1423]
301 - 600 [595]
601 - 900 [554]
901 - 1200 [444]
1201以上 [3171]



第8地図 65歳以上人口

凡例 人数(人)

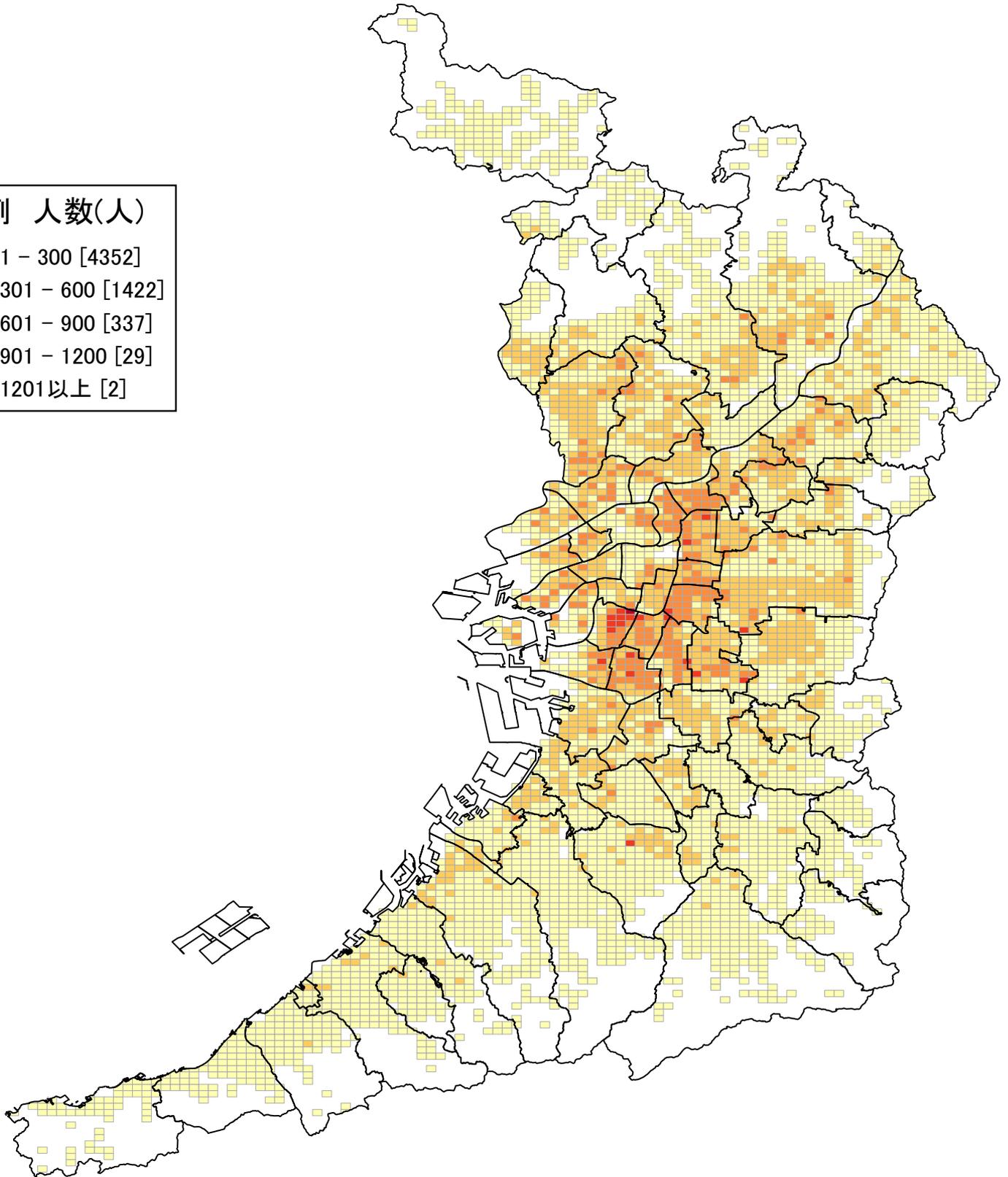
1 - 300 [2639]
301 - 600 [1397]
601 - 900 [1101]
901 - 1200 [582]
1201以上 [446]



第9地図 75歳以上人口

凡例 人数(人)

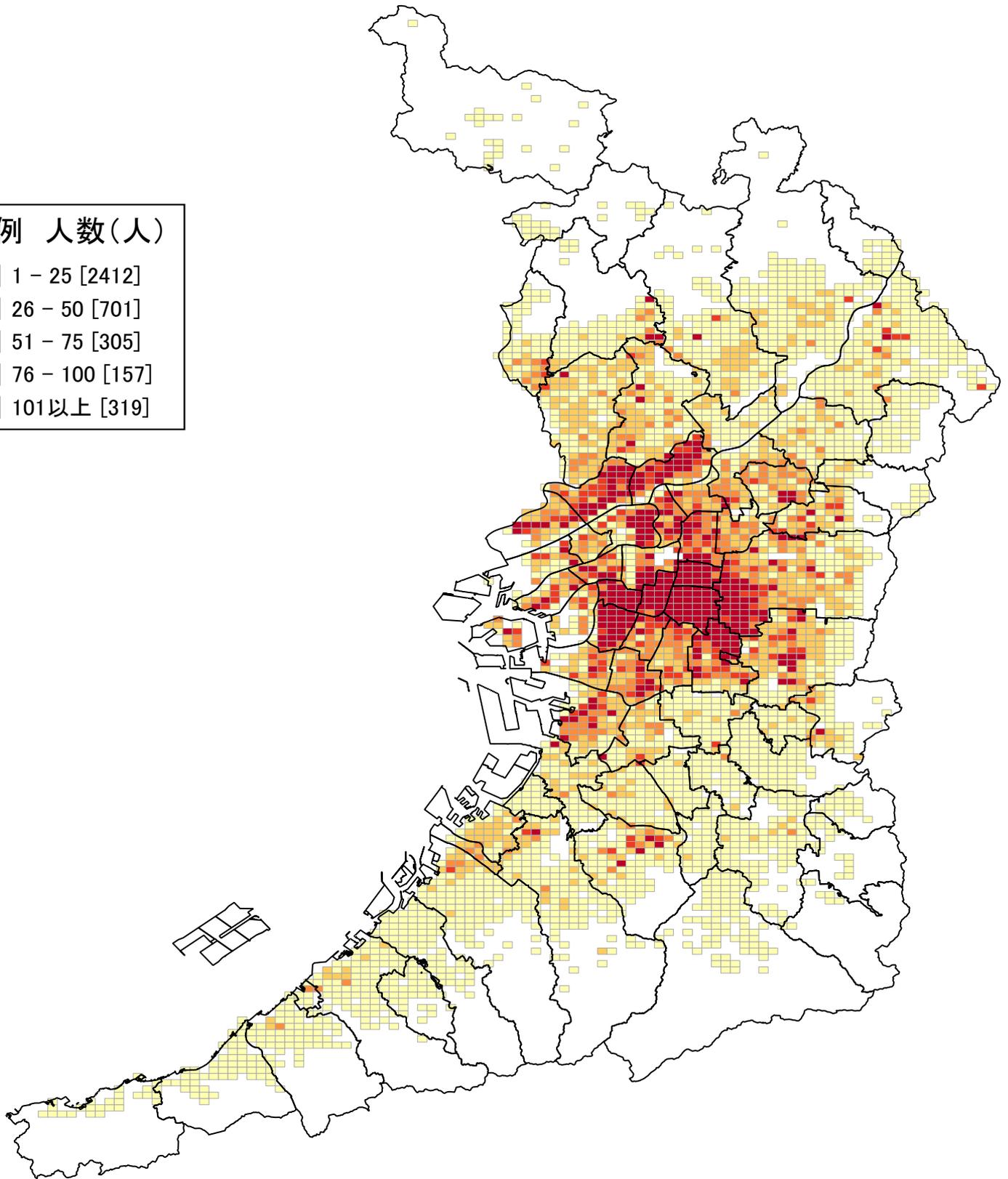
1 - 300	[4352]
301 - 600	[1422]
601 - 900	[337]
901 - 1200	[29]
1201以上	[2]



第10地図 外国人人口

凡例 人数(人)

1 - 25	[2412]
26 - 50	[701]
51 - 75	[305]
76 - 100	[157]
101以上	[319]

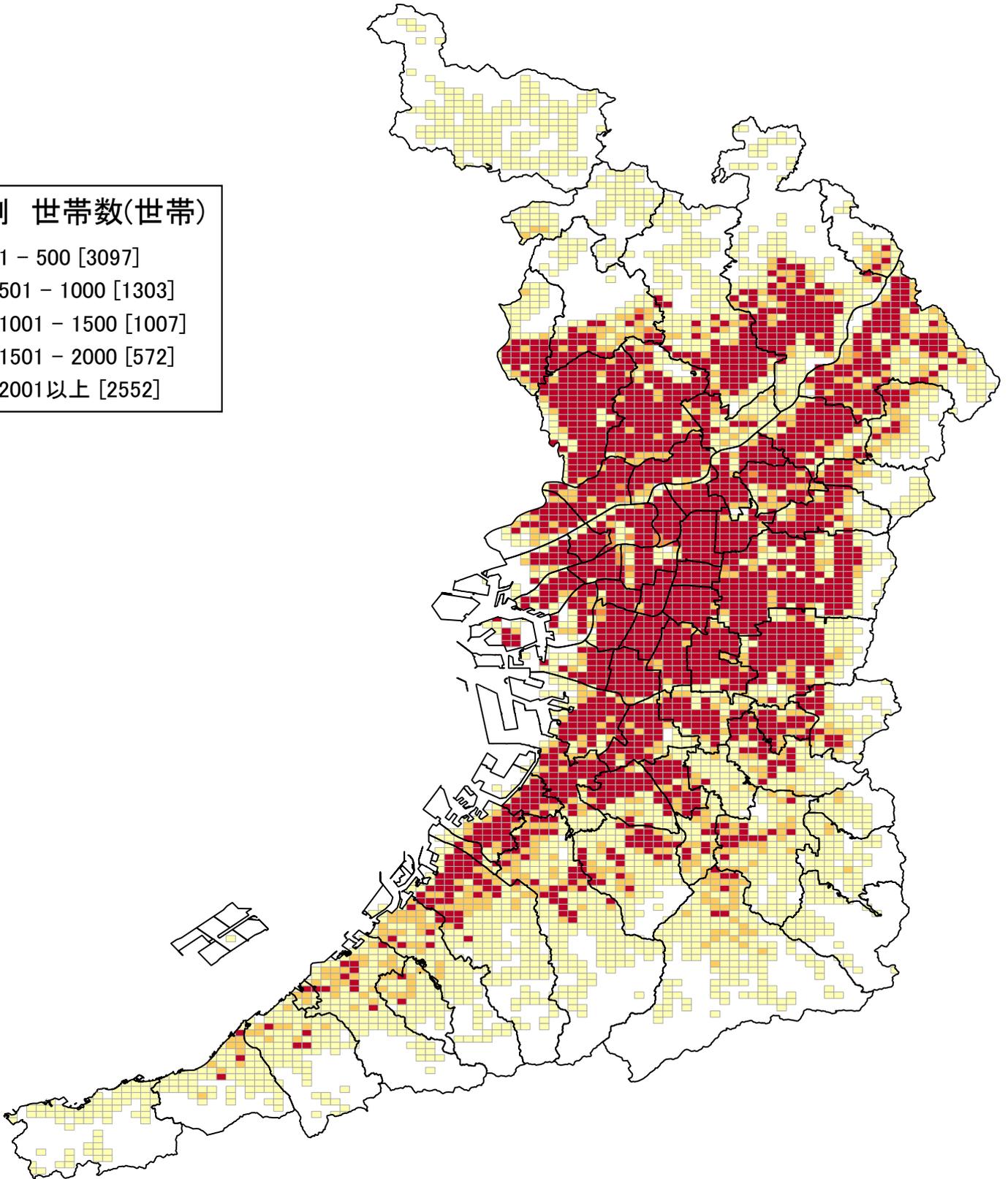


上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

第11地図 世帯総数：世帯数

凡例 世帯数(世帯)

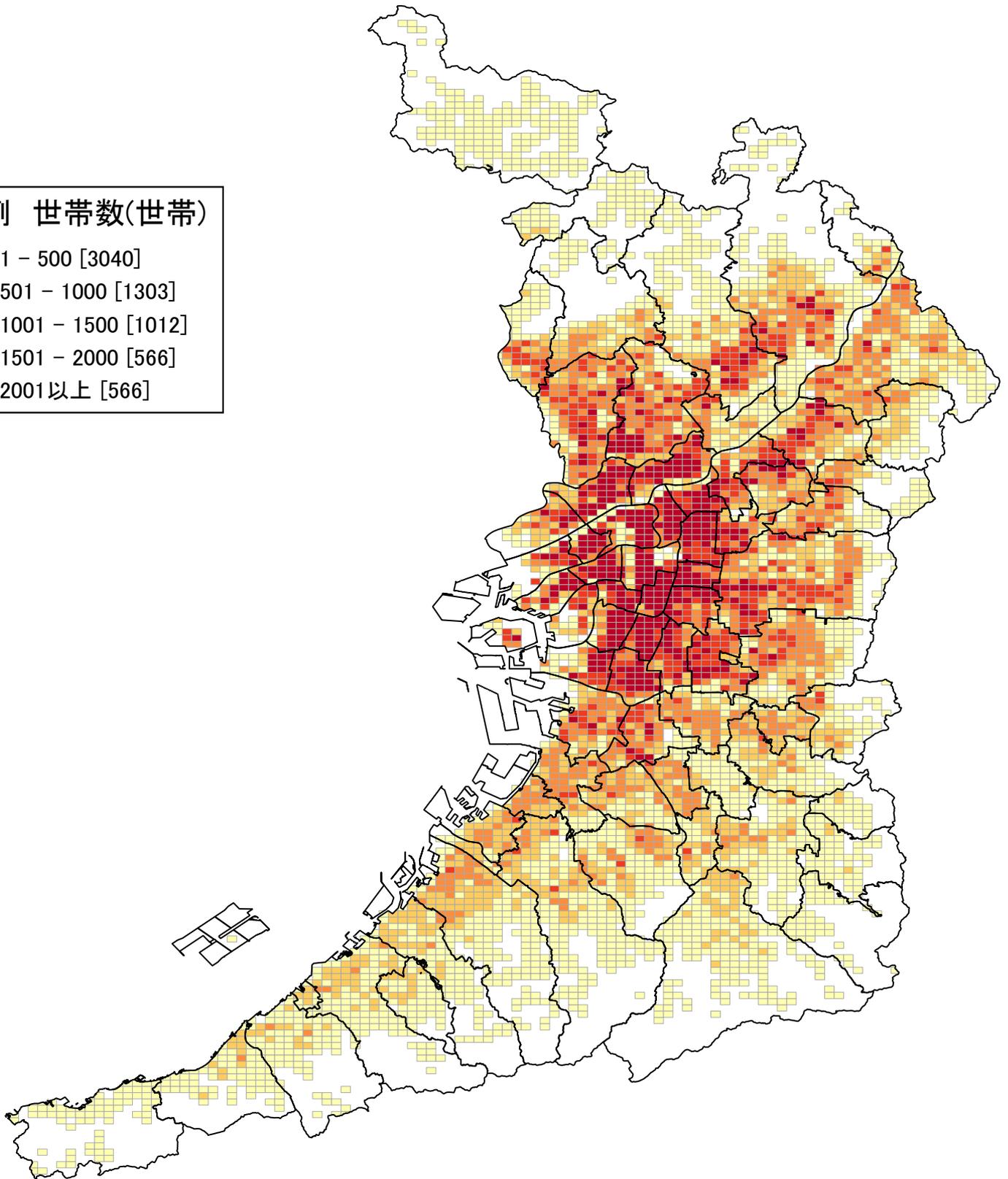
- 1 - 500 [3097]
- 501 - 1000 [1303]
- 1001 - 1500 [1007]
- 1501 - 2000 [572]
- 2001以上 [2552]



第12地図 一般世帯：世帯数

凡例 世帯数(世帯)

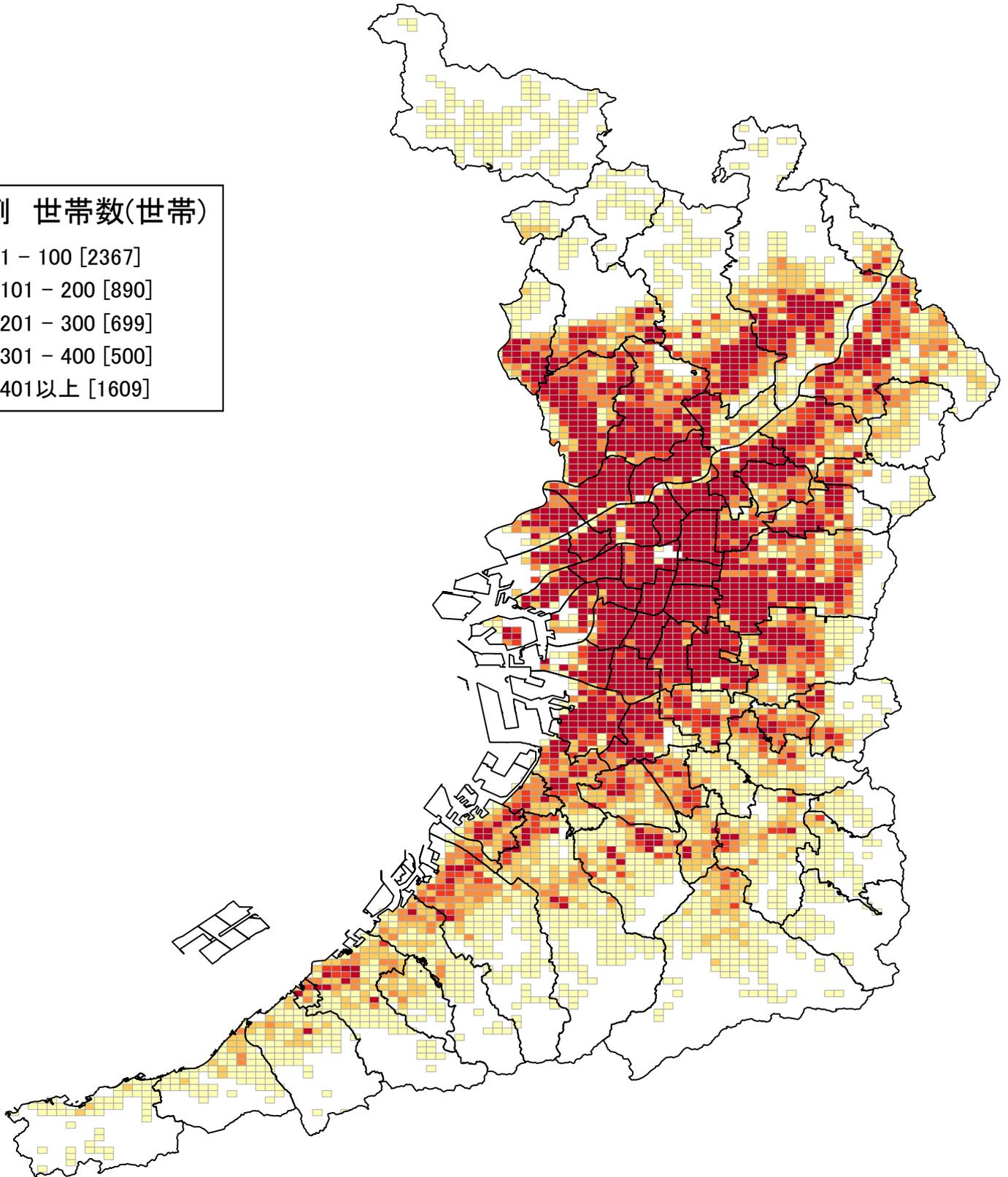
- 1 - 500 [3040]
- 501 - 1000 [1303]
- 1001 - 1500 [1012]
- 1501 - 2000 [566]
- 2001以上 [566]



第13地図 1人世帯数：一般世帯数

凡例 世帯数(世帯)

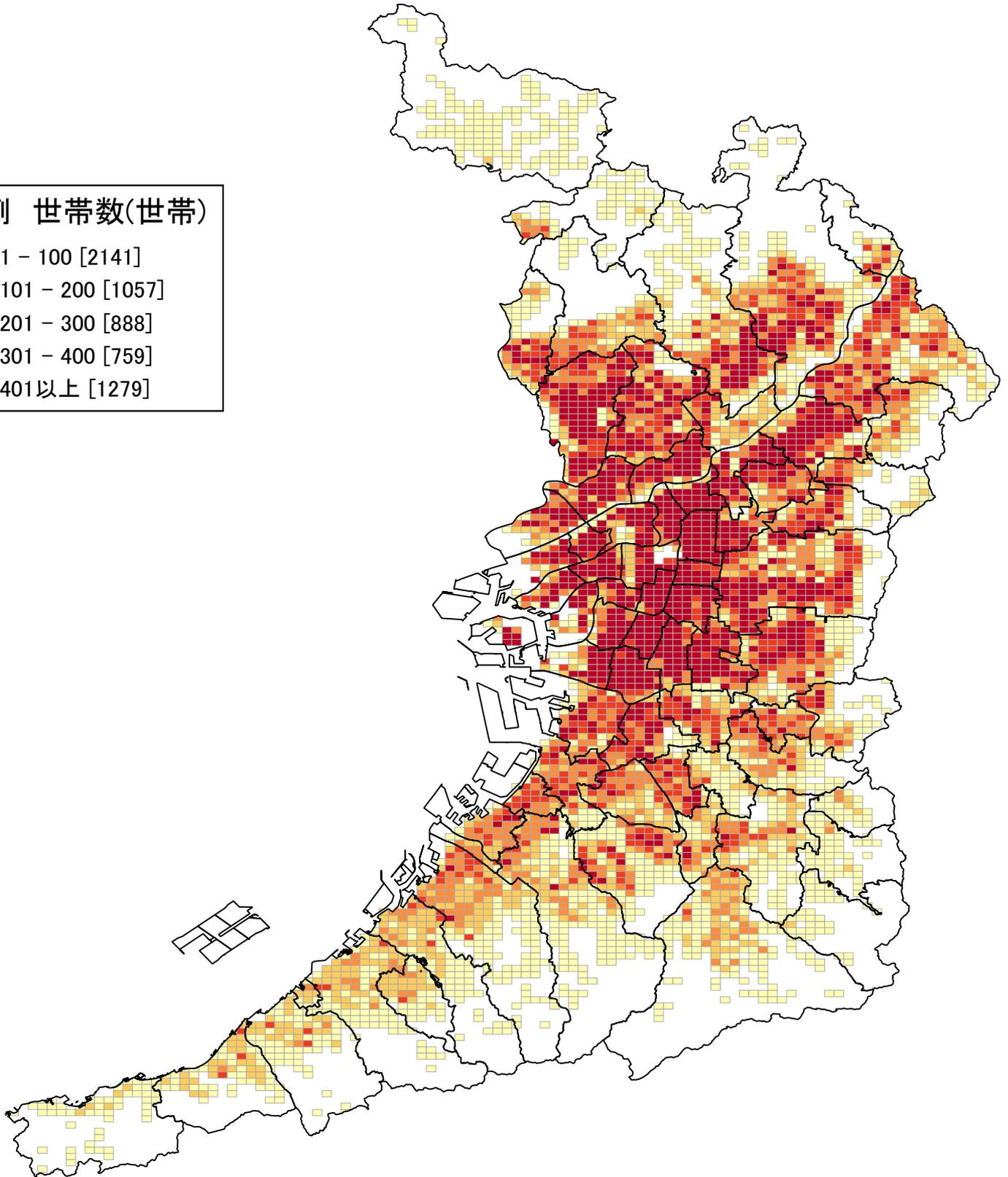
- 1 - 100 [2367]
- 101 - 200 [890]
- 201 - 300 [699]
- 301 - 400 [500]
- 401以上 [1609]



第14地図 2人世帯数：一般世帯数

凡例 世帯数(世帯)

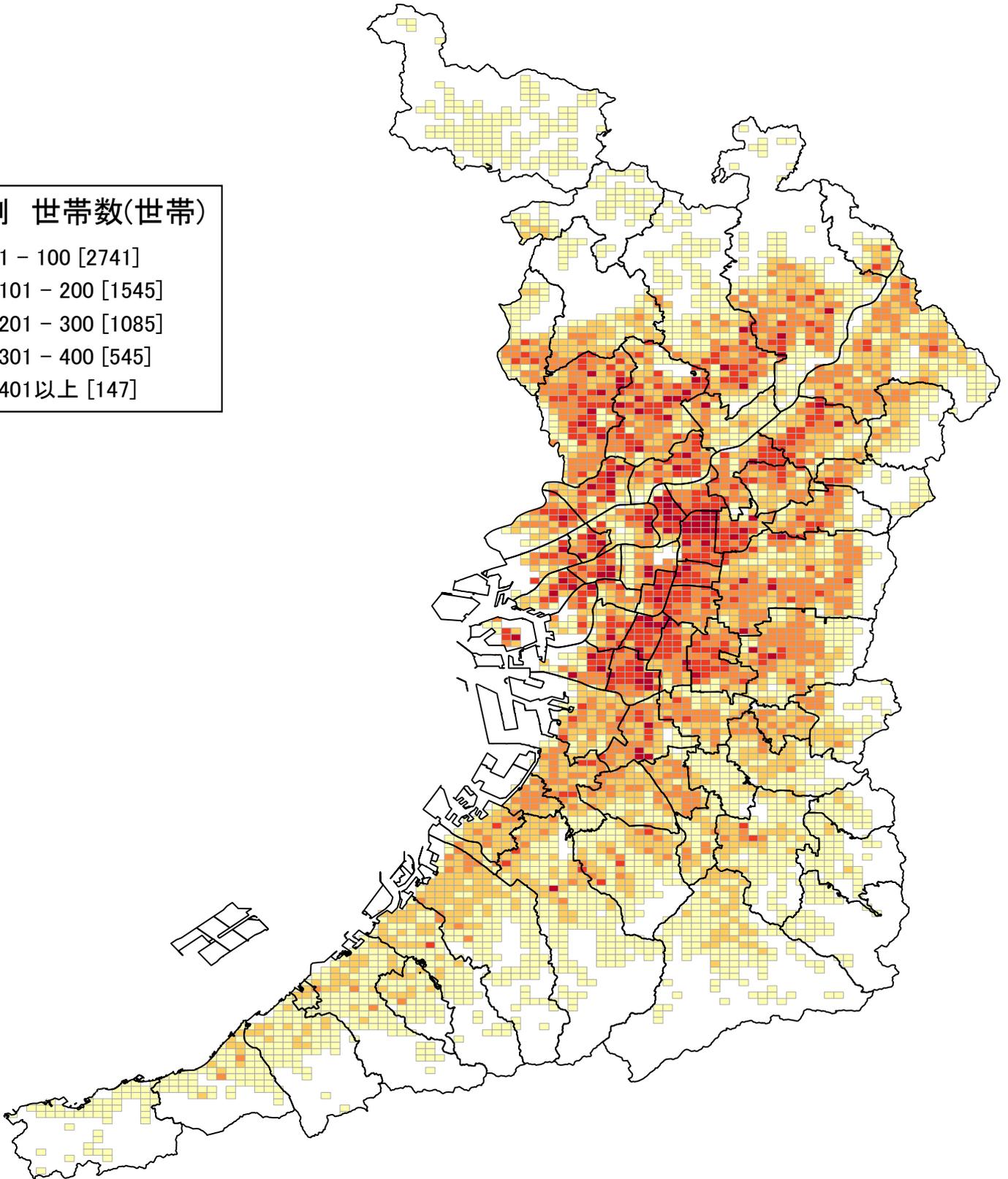
- 1 - 100 [2141]
- 101 - 200 [1057]
- 201 - 300 [888]
- 301 - 400 [759]
- 401以上 [1279]



第15地図 3人世帯数：一般世帯数

凡例 世帯数(世帯)

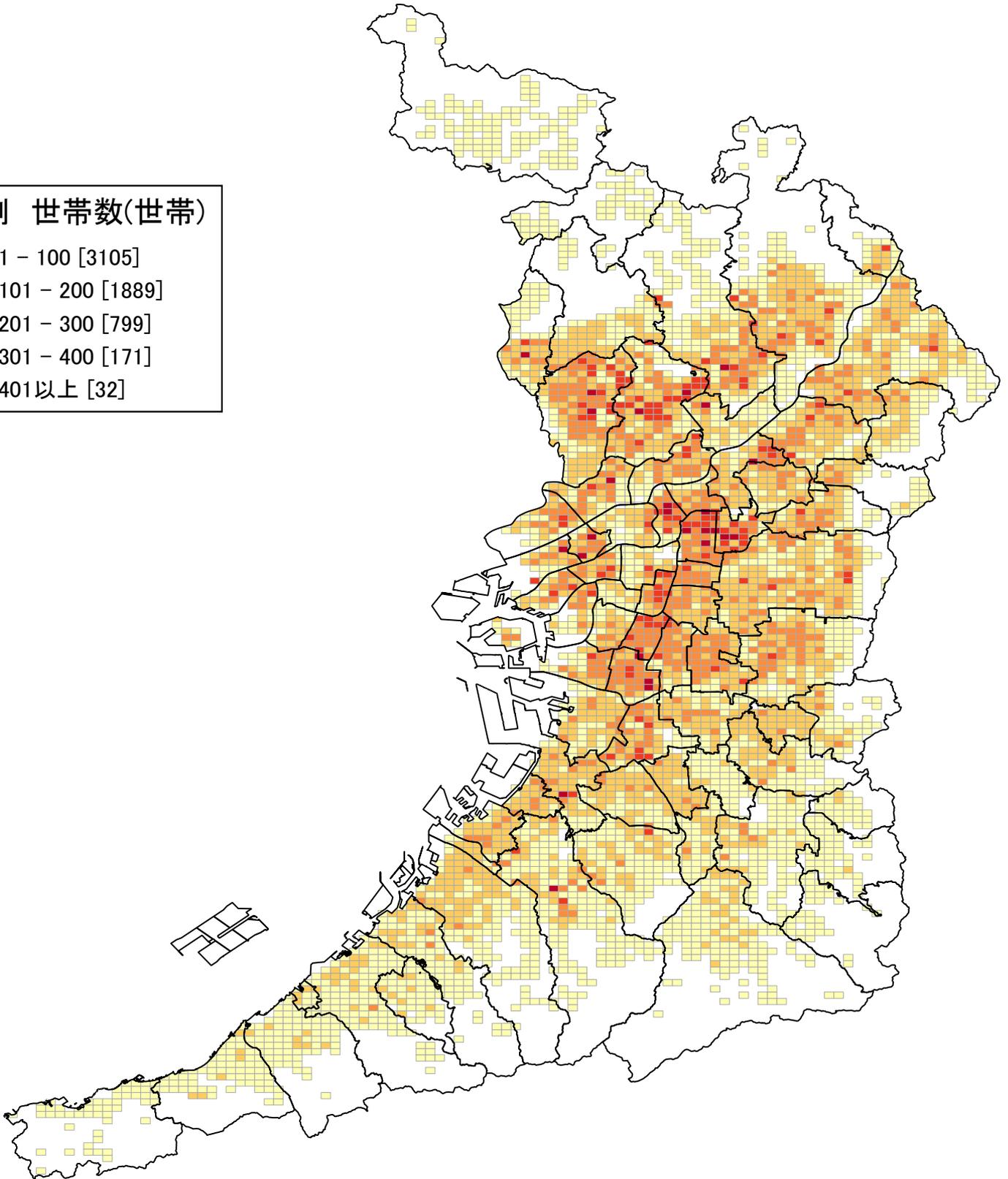
- 1 - 100 [2741]
- 101 - 200 [1545]
- 201 - 300 [1085]
- 301 - 400 [545]
- 401以上 [147]



第16地図 4人世帯数：一般世帯数

凡例 世帯数(世帯)

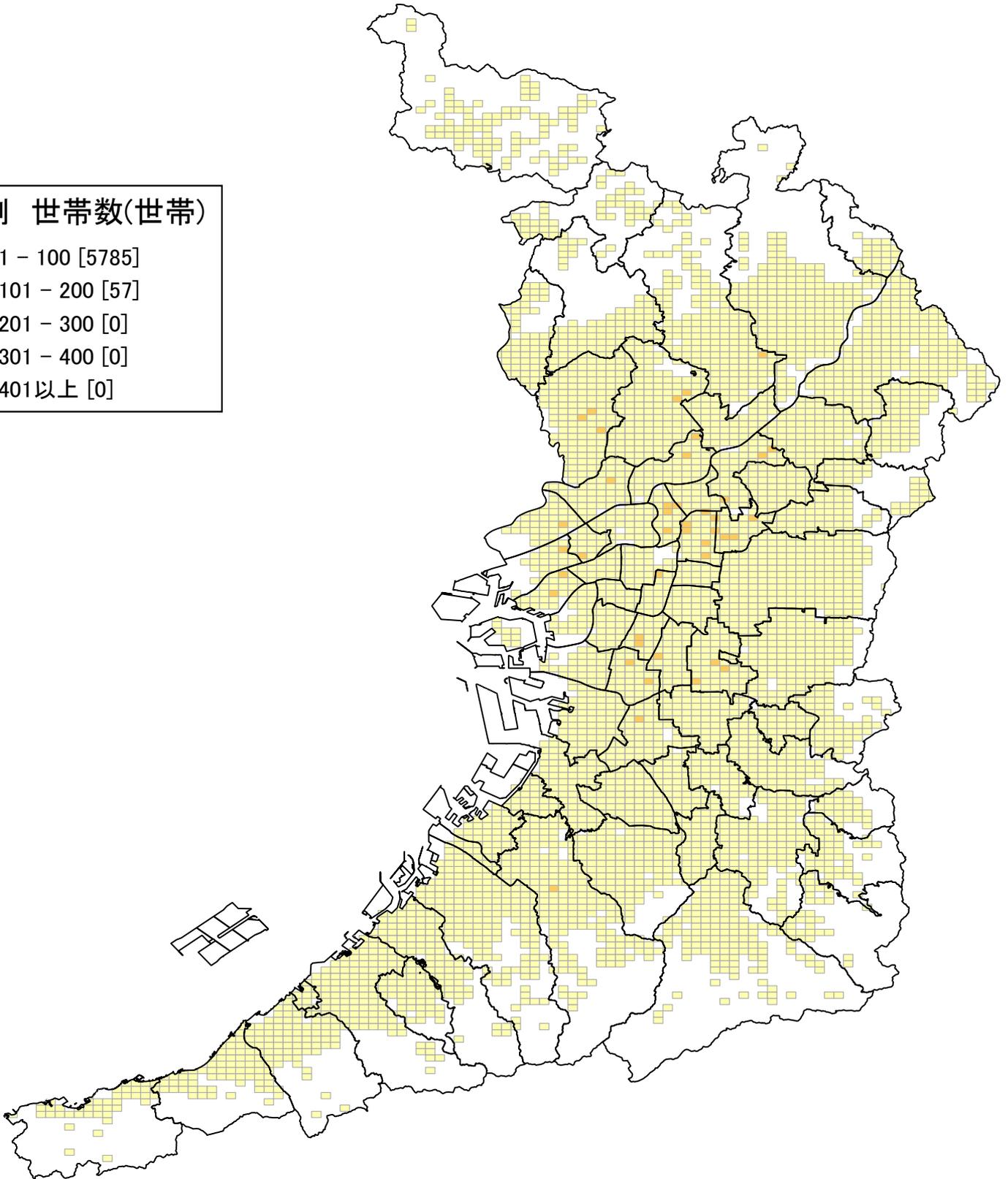
- 1 - 100 [3105]
- 101 - 200 [1889]
- 201 - 300 [799]
- 301 - 400 [171]
- 401以上 [32]



第17地図 5人世帯数：一般世帯数

凡例 世帯数(世帯)

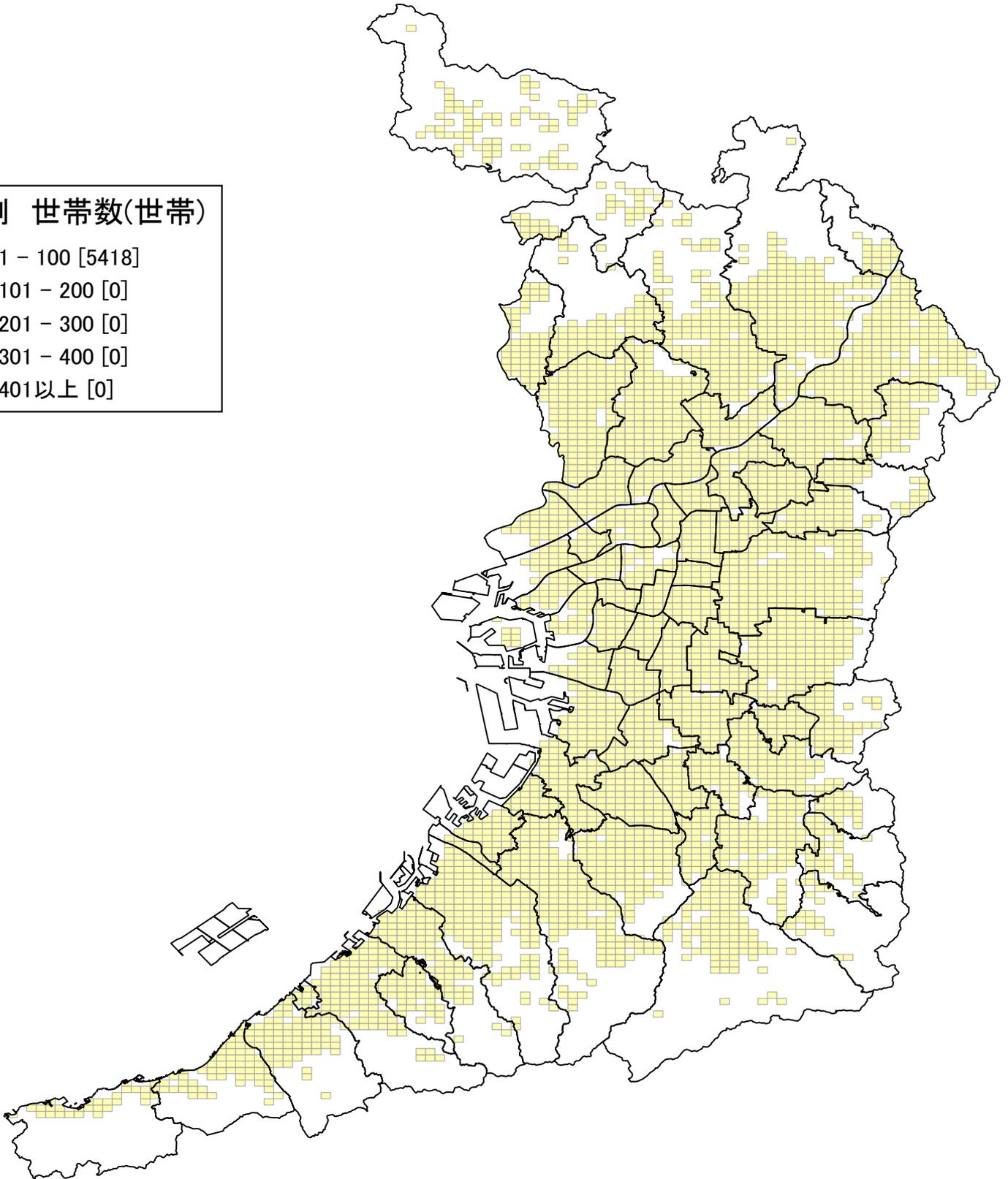
- 1 - 100 [5785]
- 101 - 200 [57]
- 201 - 300 [0]
- 301 - 400 [0]
- 401以上 [0]



第18地図 6人世帯数：一般世帯数

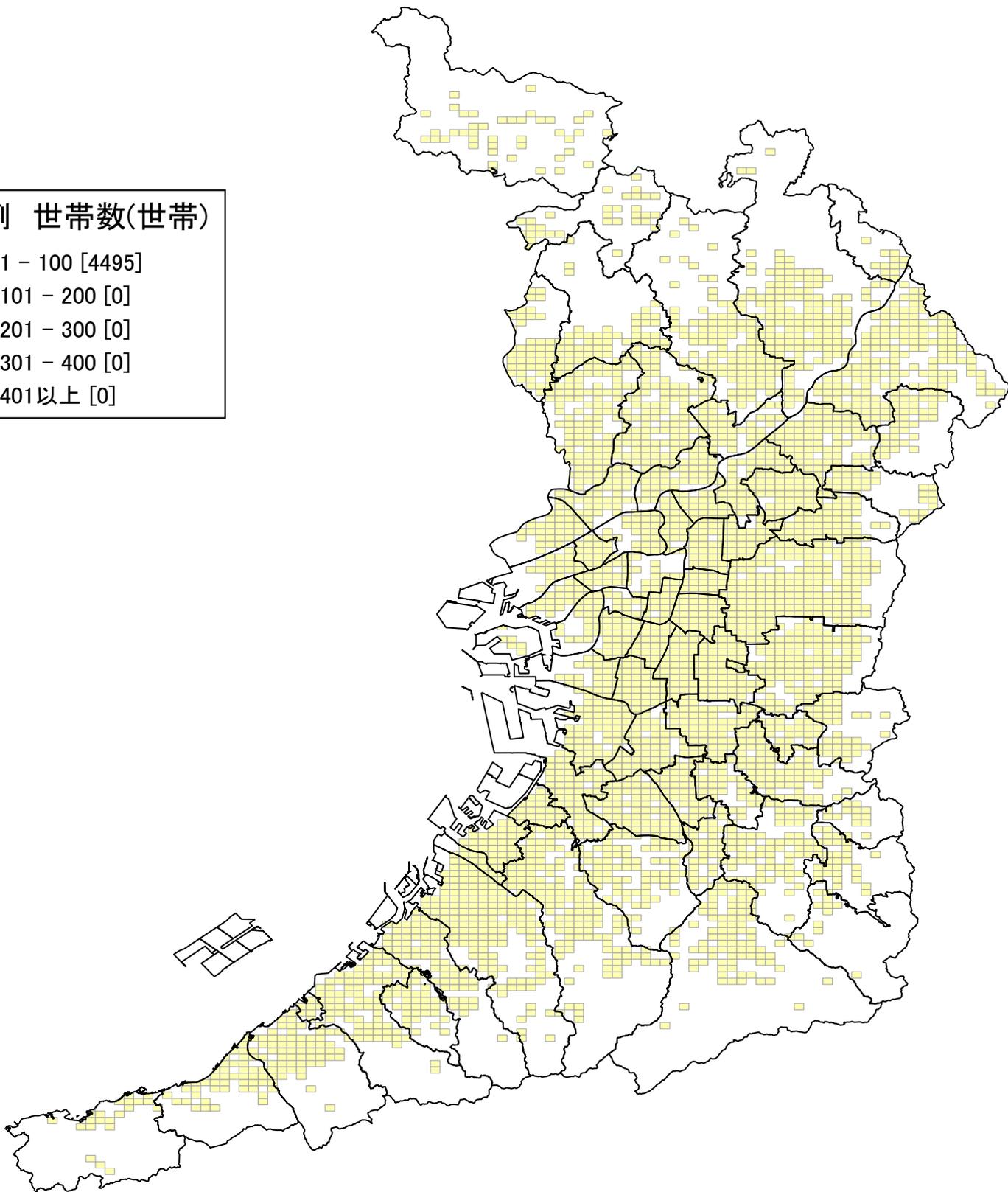
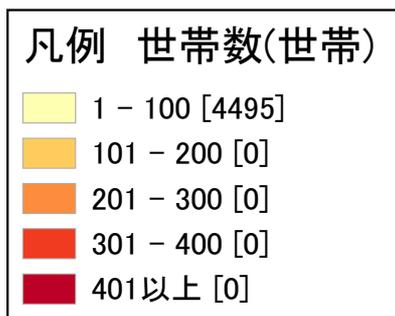
凡例 世帯数(世帯)

- 1 - 100 [5418]
- 101 - 200 [0]
- 201 - 300 [0]
- 301 - 400 [0]
- 401以上 [0]



第19地図

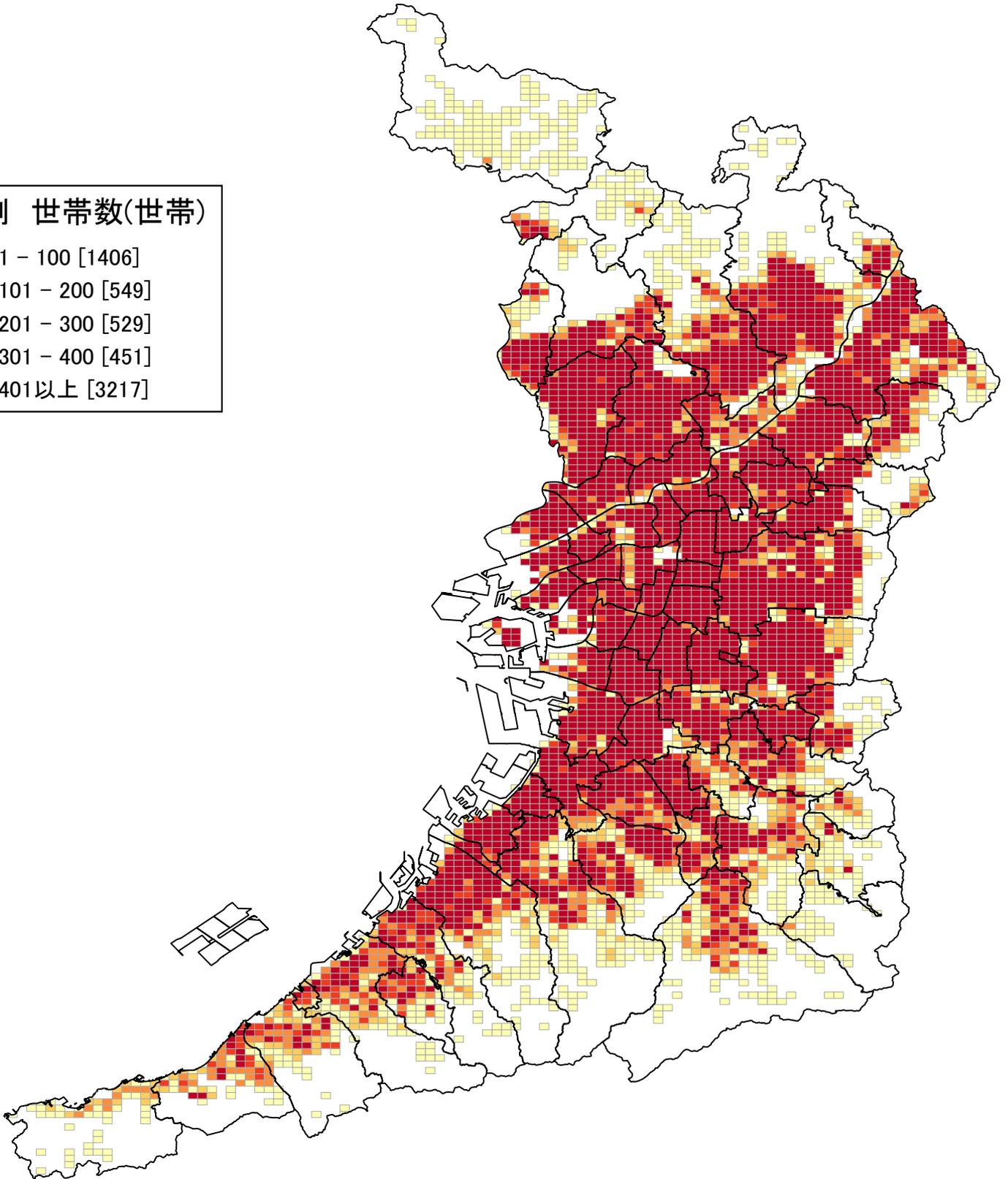
7人以上世帯数：一般世帯数



第20地図 親族のみの世帯数：一般世帯数

凡例 世帯数(世帯)

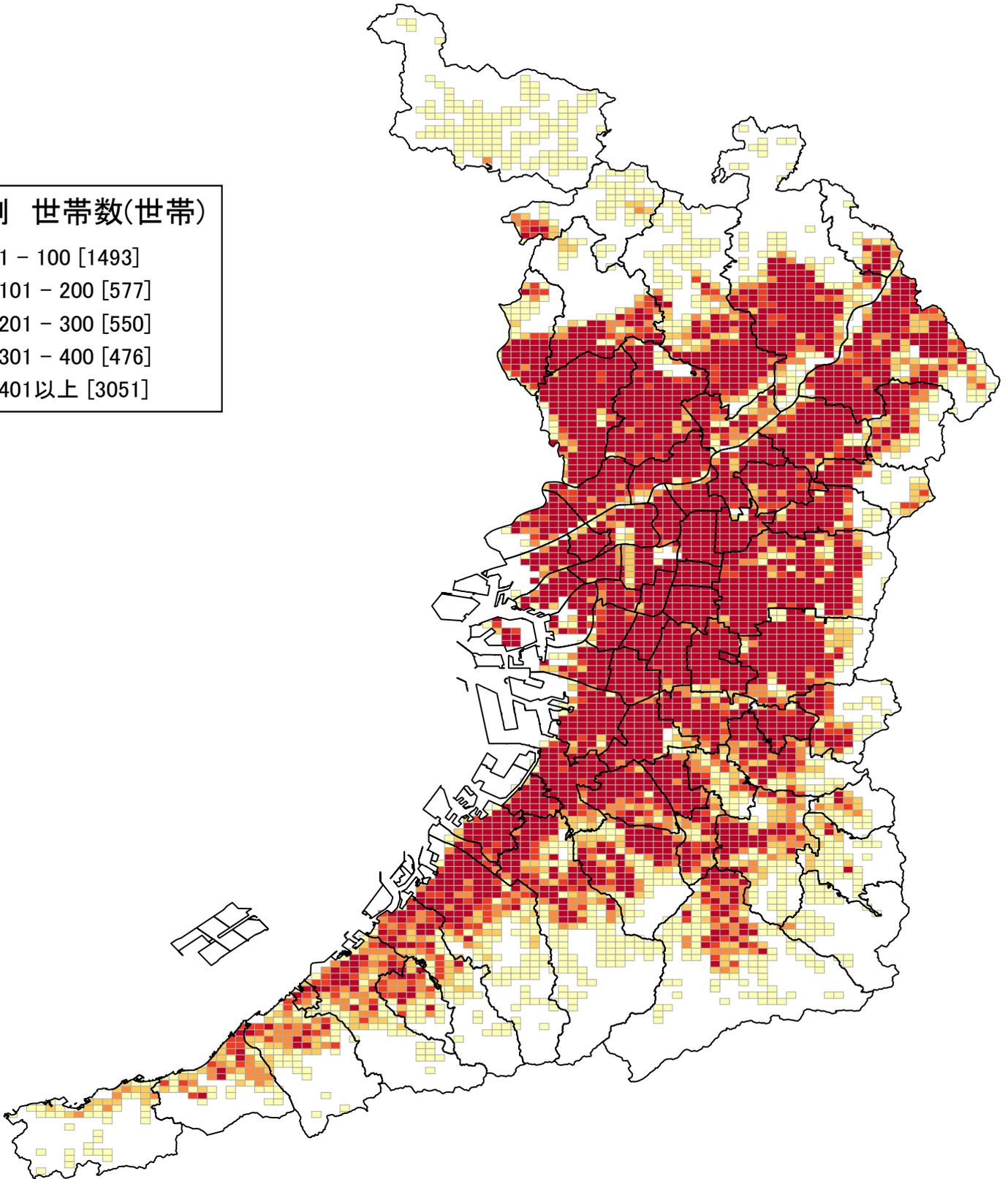
- 1 - 100 [1406]
- 101 - 200 [549]
- 201 - 300 [529]
- 301 - 400 [451]
- 401以上 [3217]



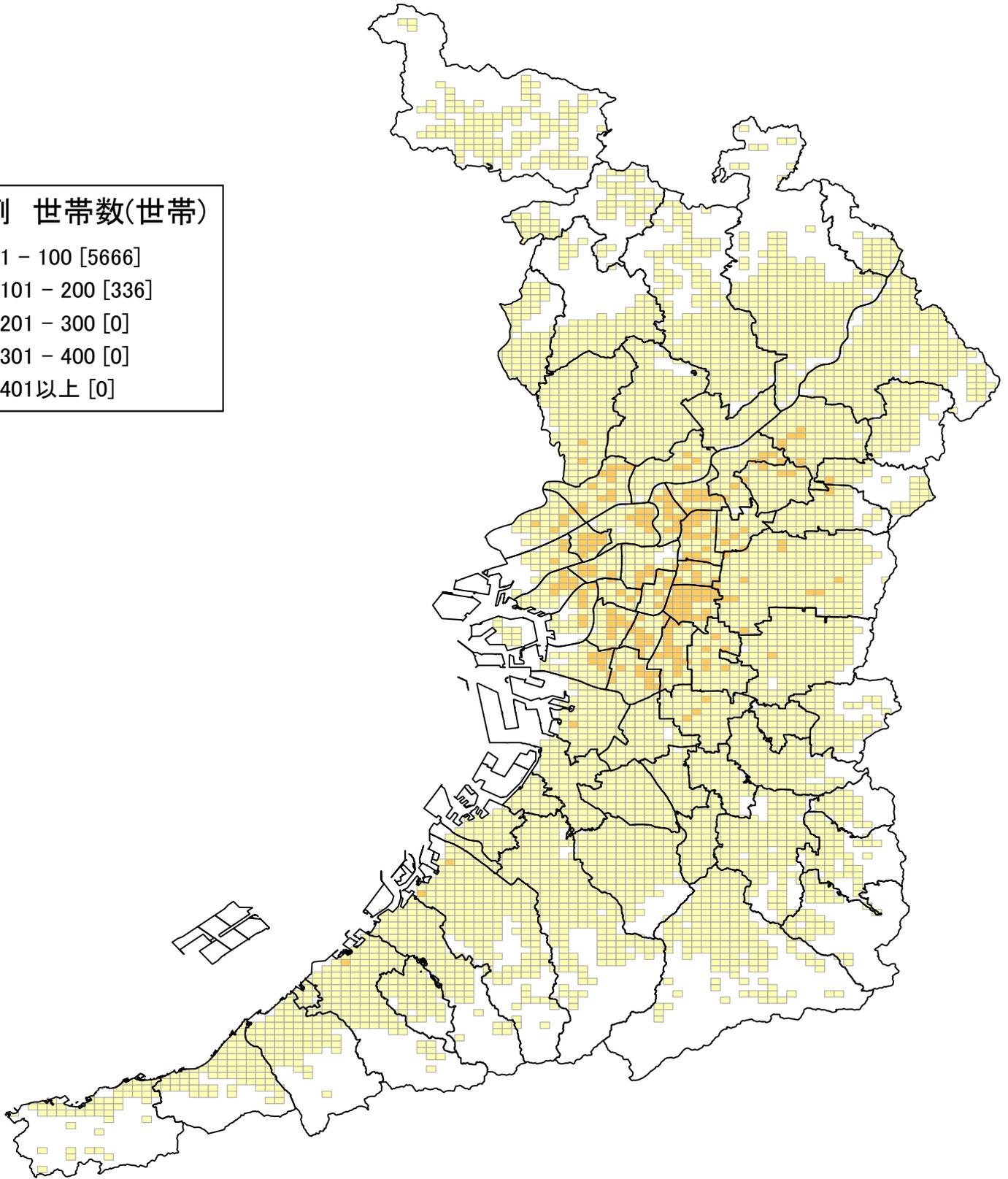
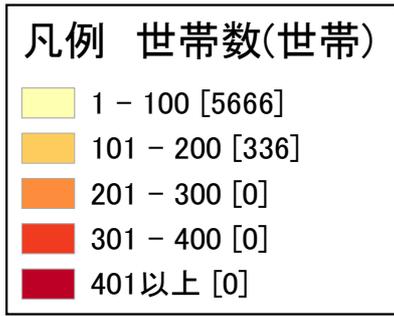
第21地図 核家族世帯数：一般世帯数

凡例 世帯数(世帯)

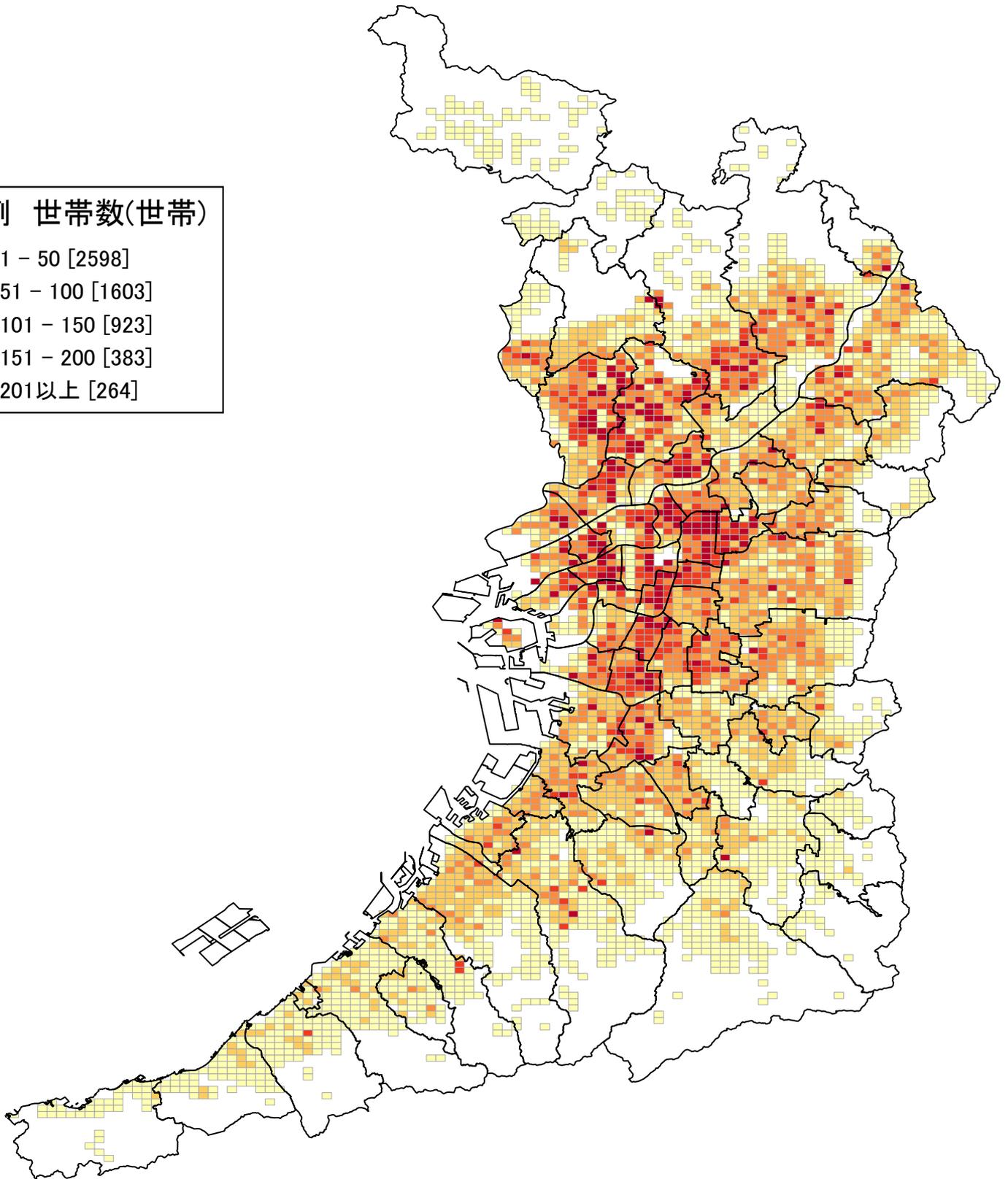
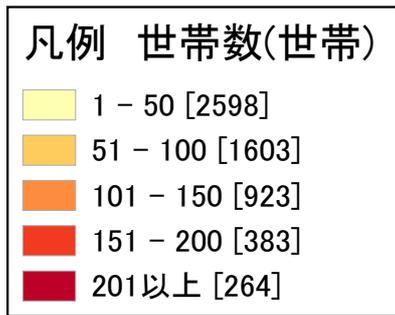
- 1 - 100 [1493]
- 101 - 200 [577]
- 201 - 300 [550]
- 301 - 400 [476]
- 401以上 [3051]



第22地図 核家族以外の世帯数：一般世帯数

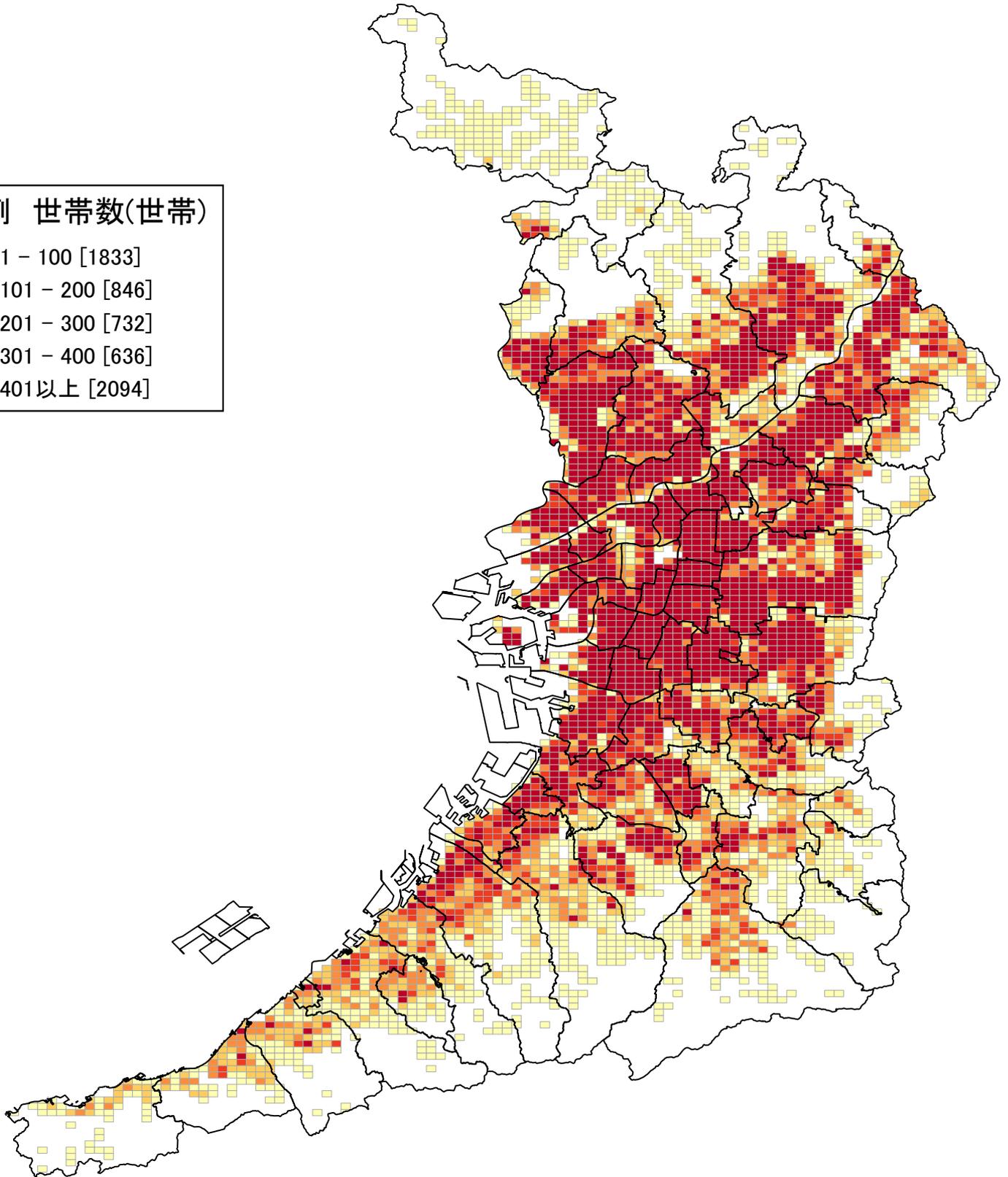
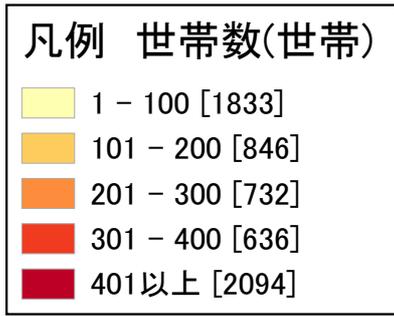


第23地図 6歳未満世帯員のいる世帯数：一般世帯数



第24地図

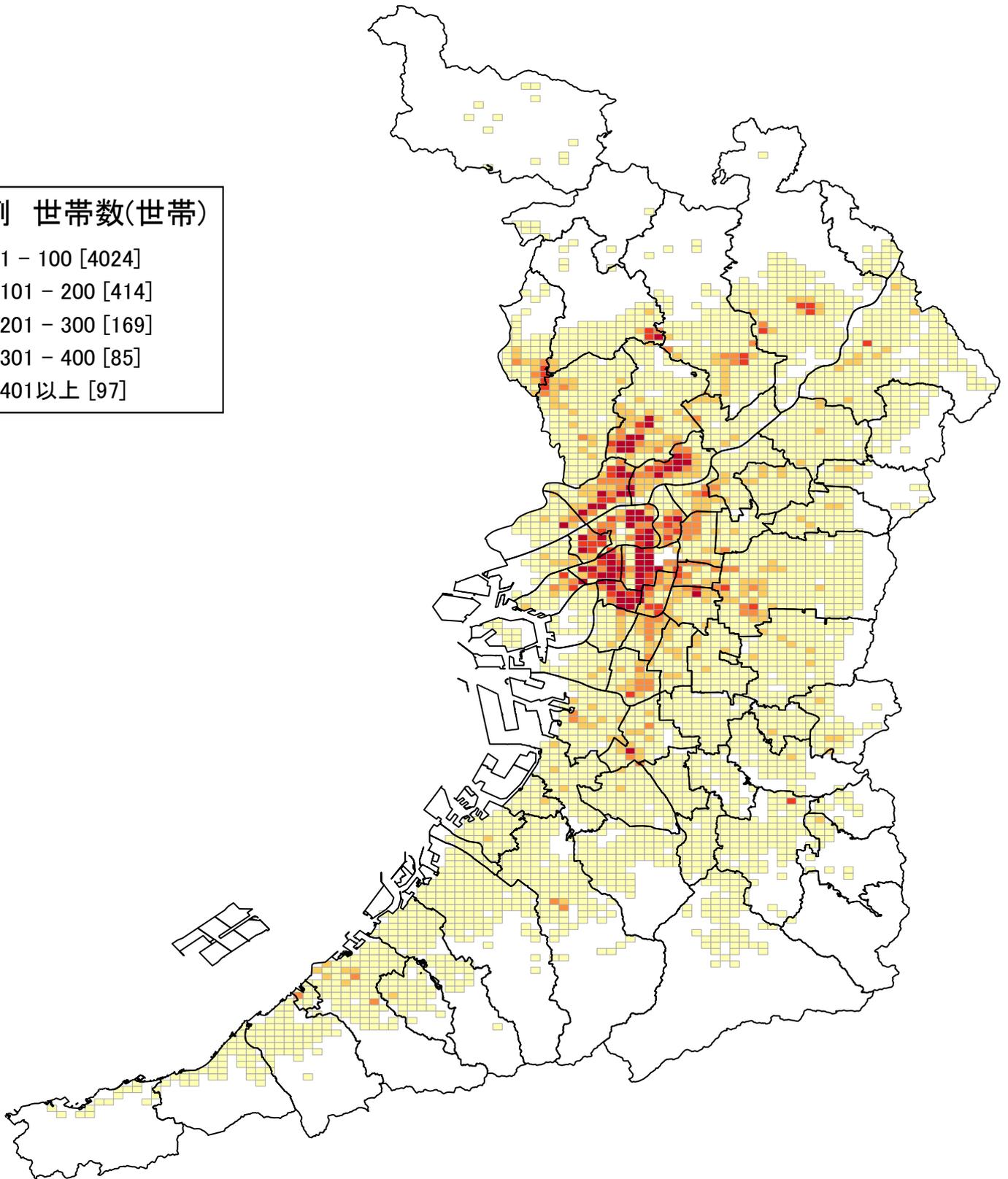
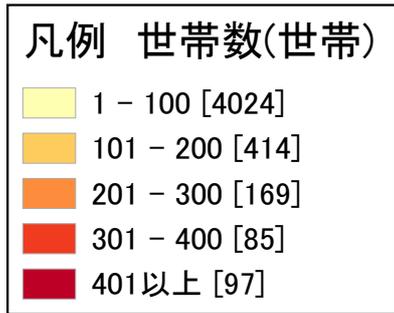
65歳以上世帯員のいる世帯数：一般世帯数



上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

第25地図

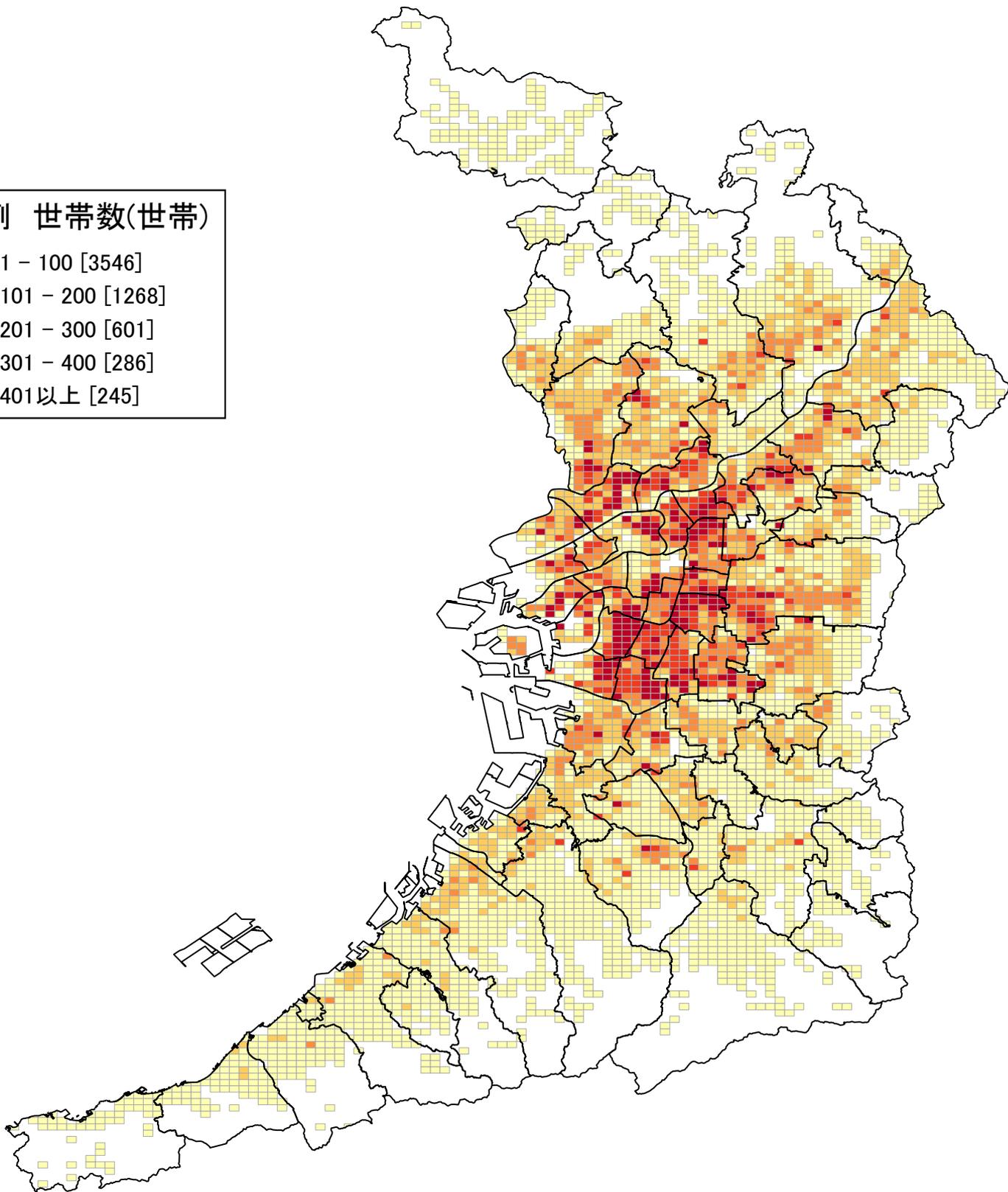
世帯主の年齢が20～29歳の1人世帯数：一般世帯数



第26地図 高齢単身世帯数：一般世帯数

凡例 世帯数(世帯)

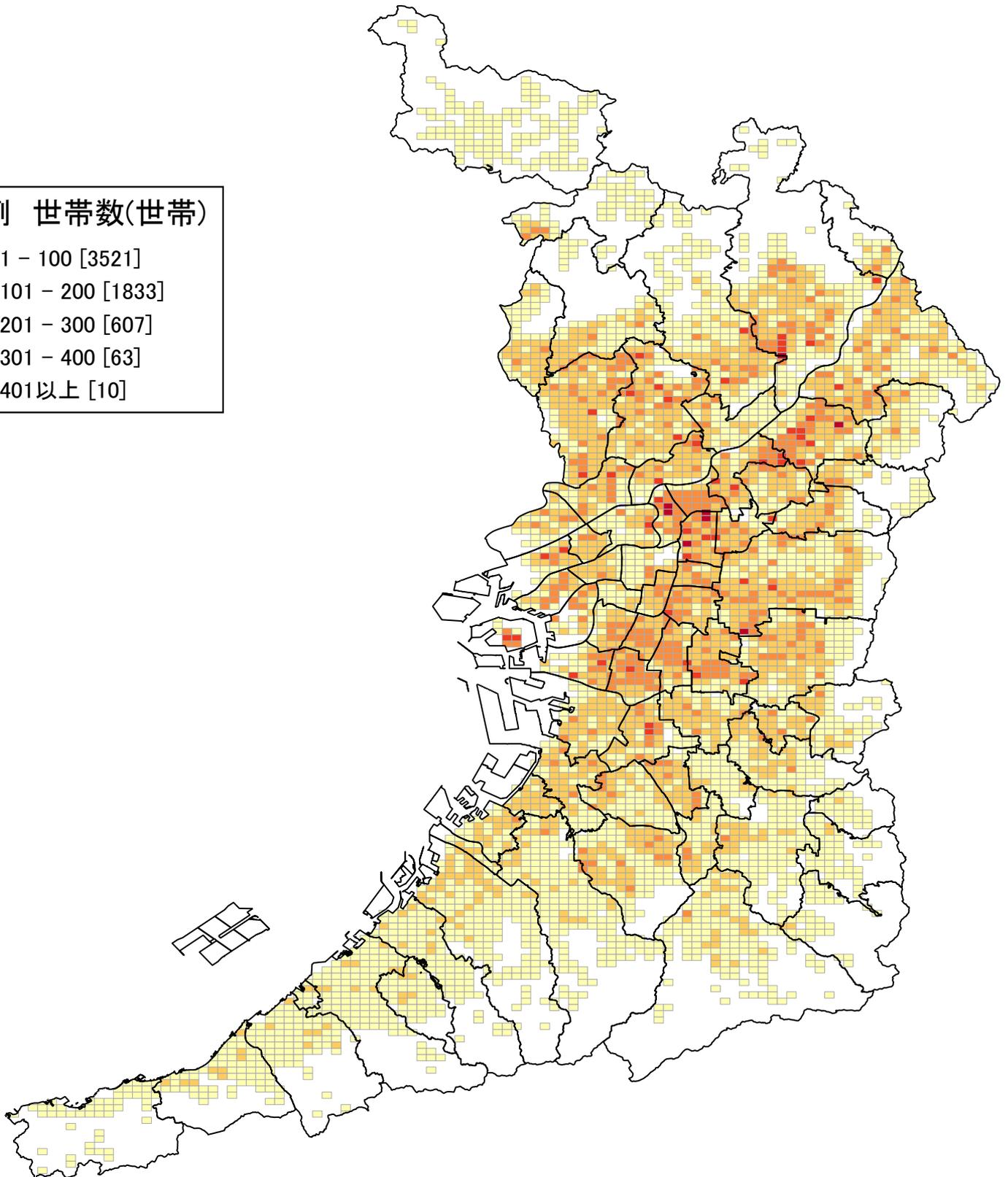
- 1 - 100 [3546]
- 101 - 200 [1268]
- 201 - 300 [601]
- 301 - 400 [286]
- 401以上 [245]



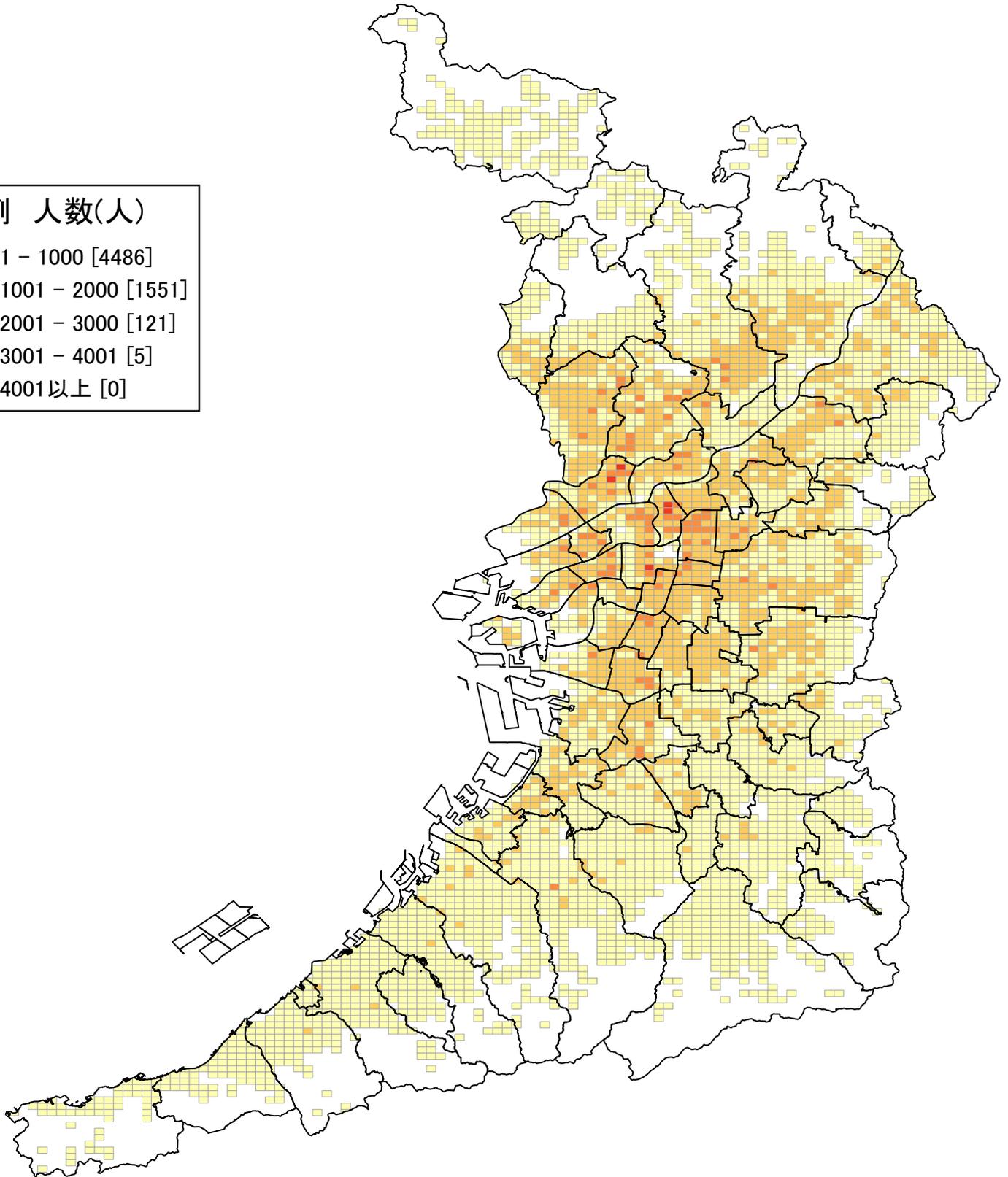
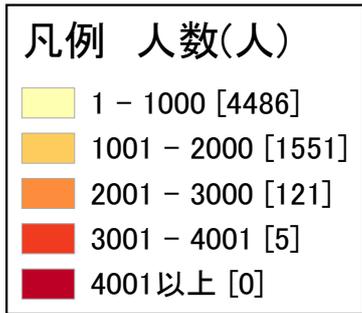
第27地図 高齢夫婦世帯数：一般世帯数

凡例 世帯数(世帯)

- 1 - 100 [3521]
- 101 - 200 [1833]
- 201 - 300 [607]
- 301 - 400 [63]
- 401以上 [10]

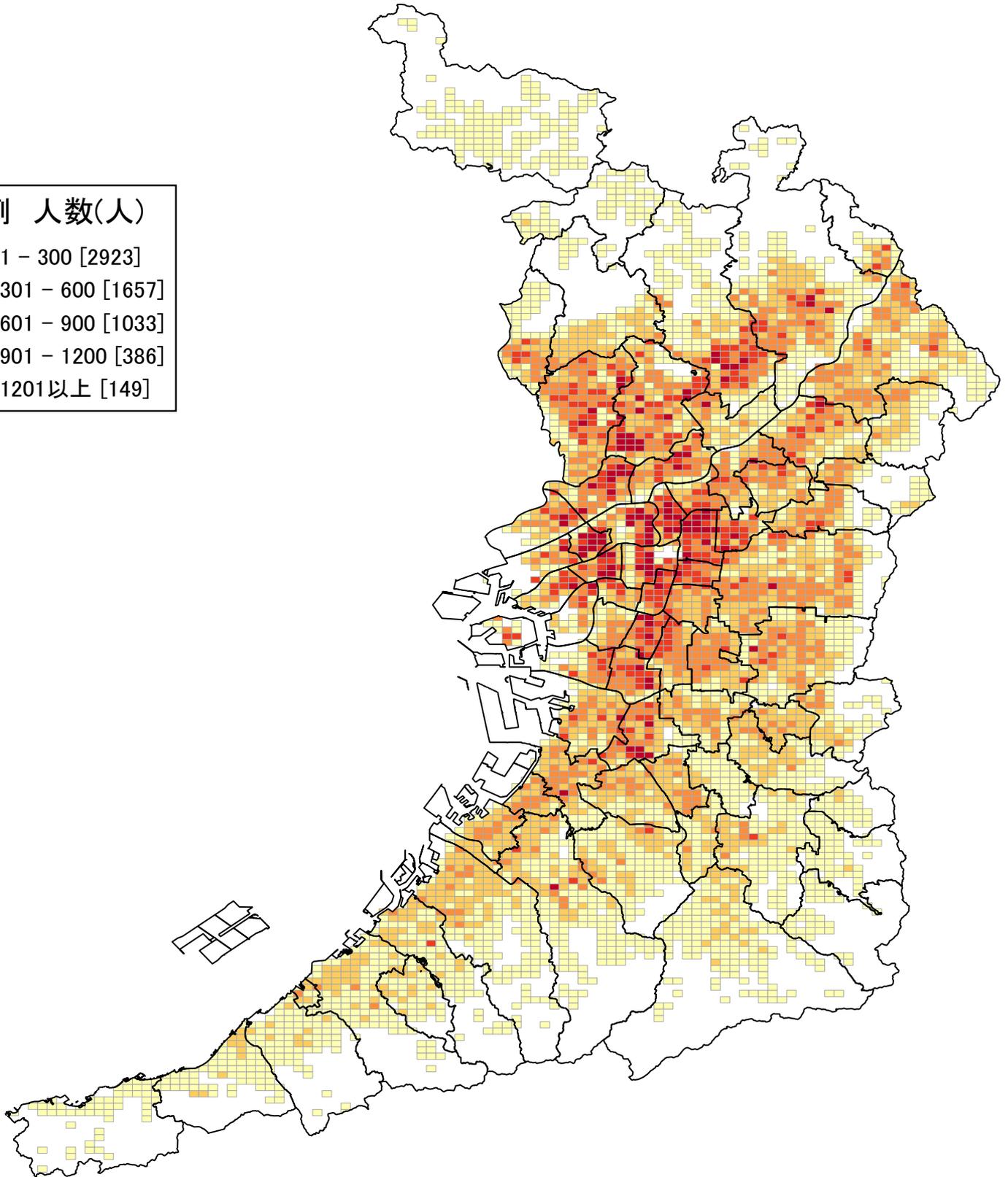
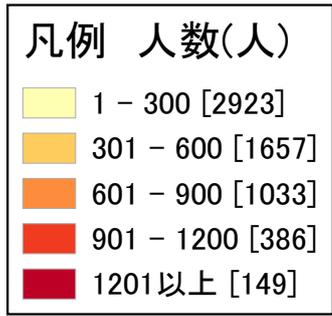


第28地図 雇用者(役員を含む)(15歳以上)

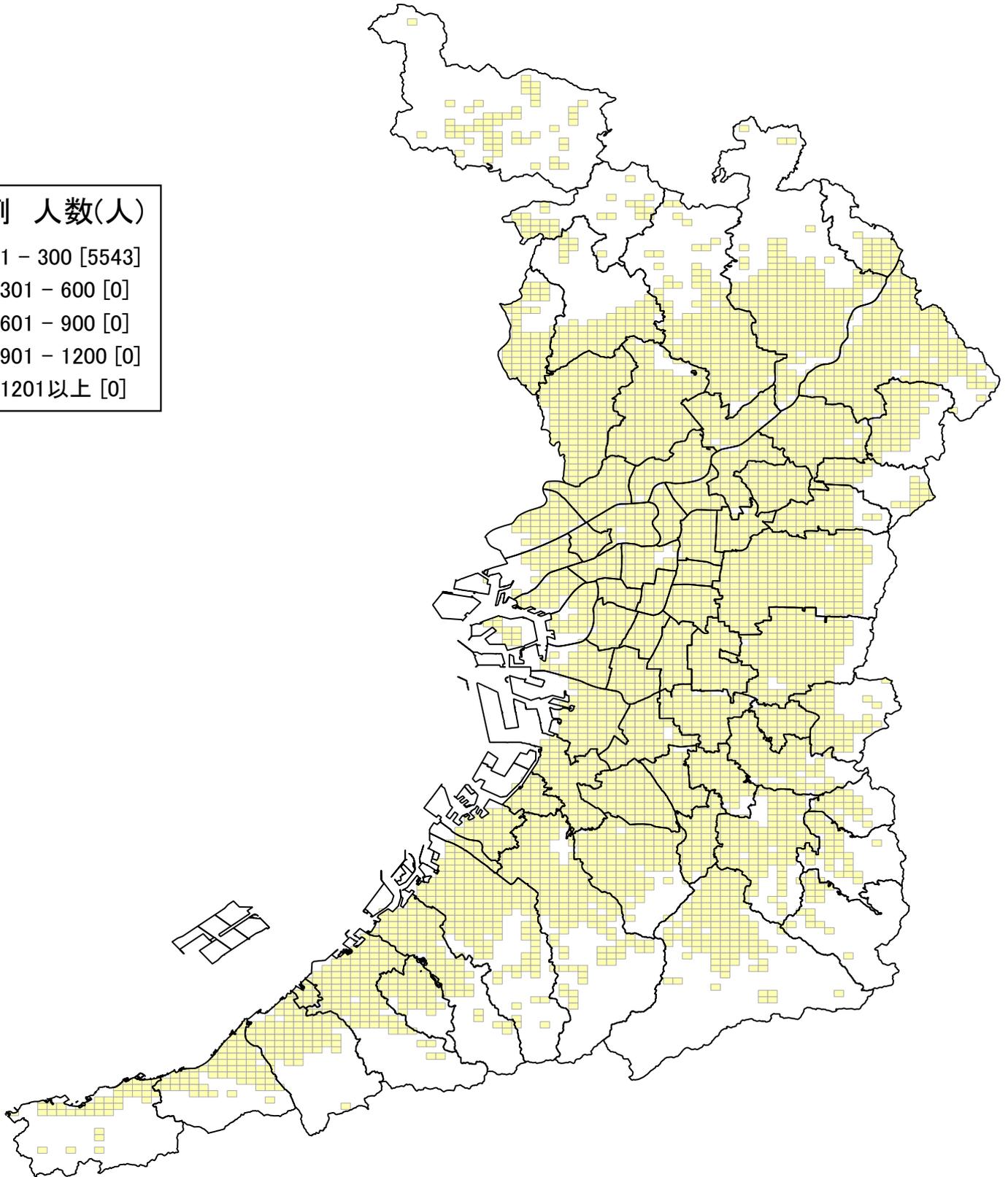
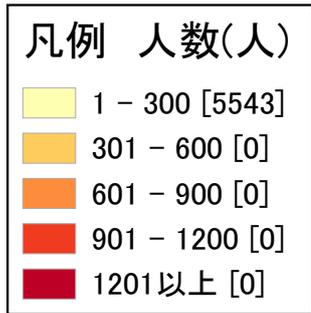


上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報(行政区域データ)」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

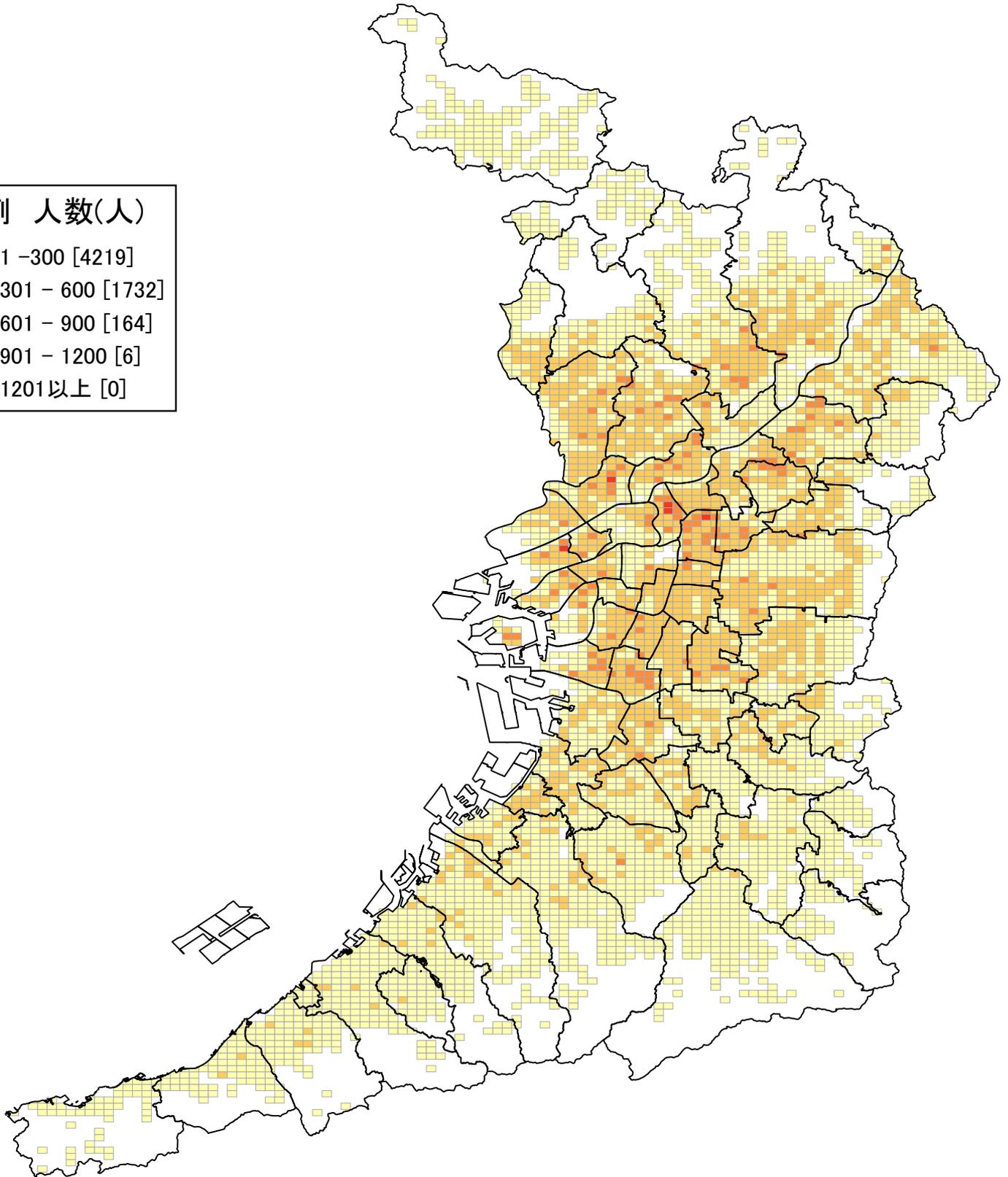
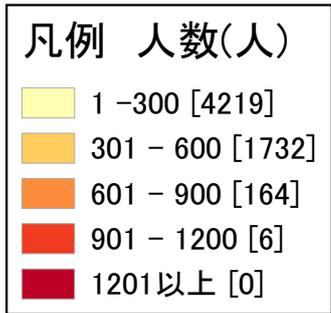
第29地図 正規の職員・従業員(15歳以上)



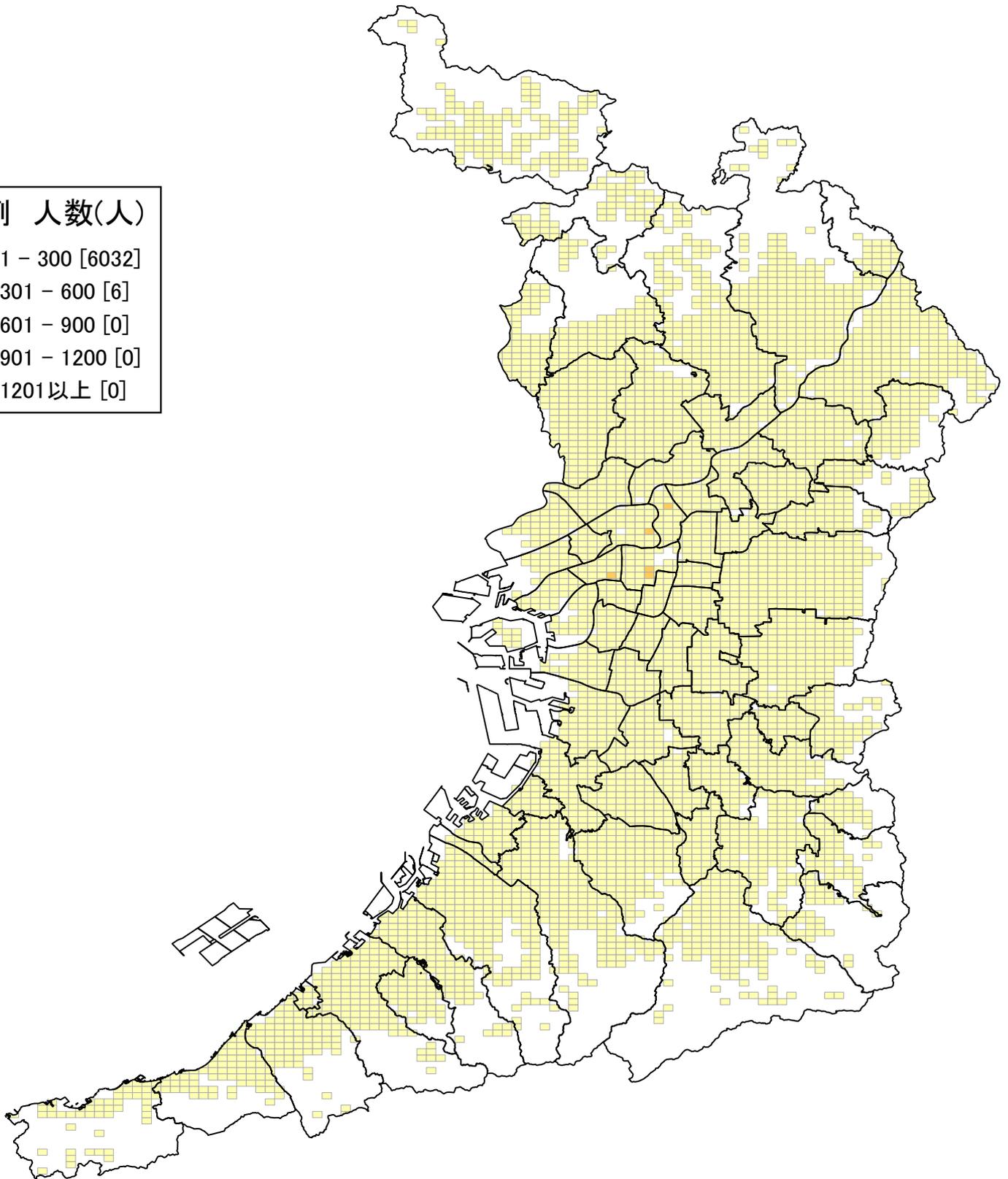
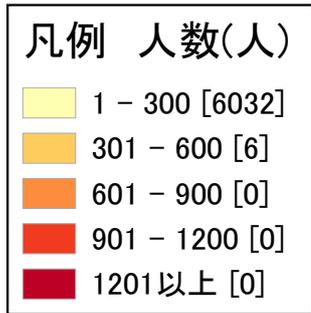
第30地図 労働者派遣事業所の派遣社員(15歳以上)



第31地図 パート・アルバイト・その他(15歳以上)



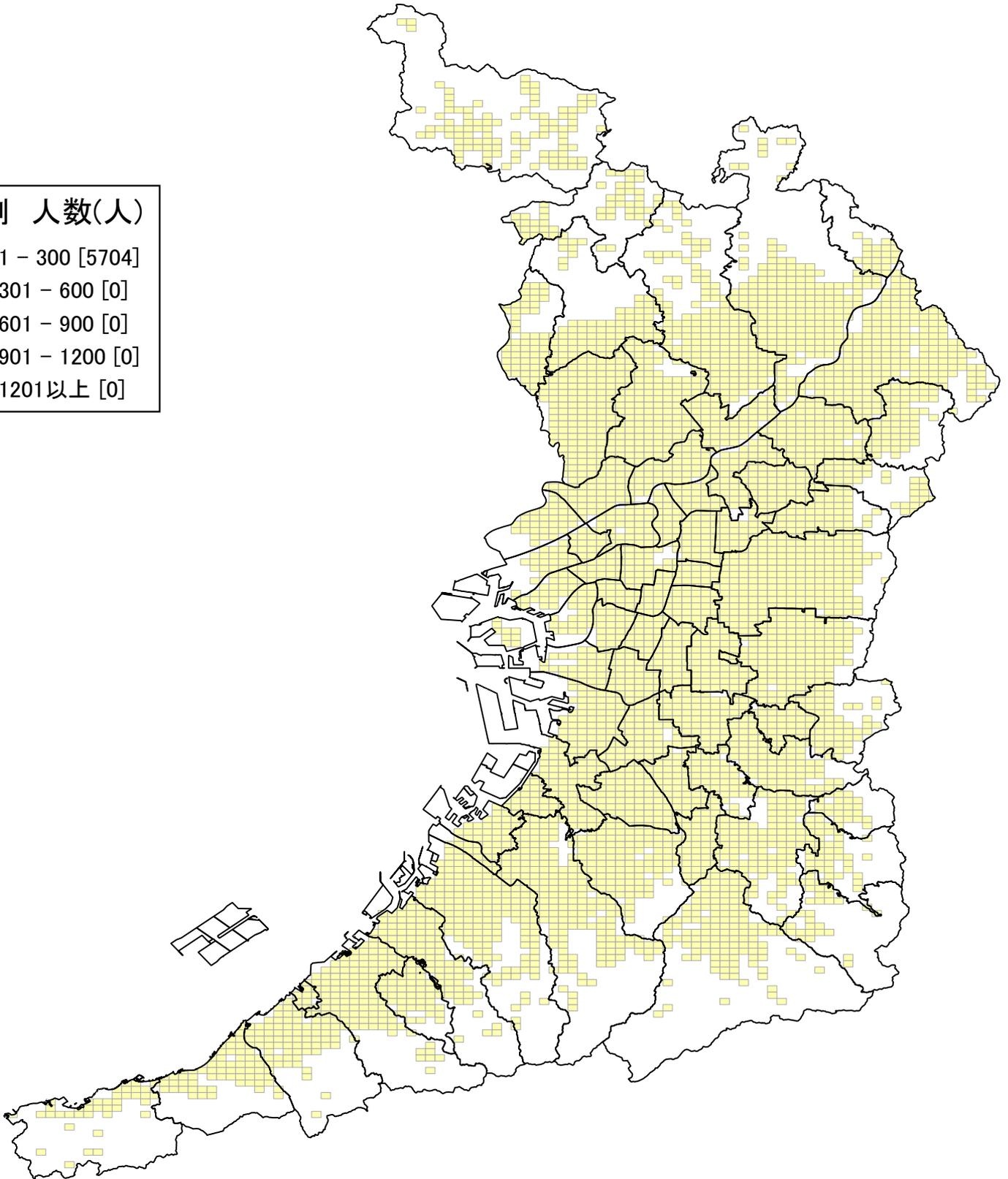
第32地図 自営業主(家庭内職者を含む)(15歳以上)



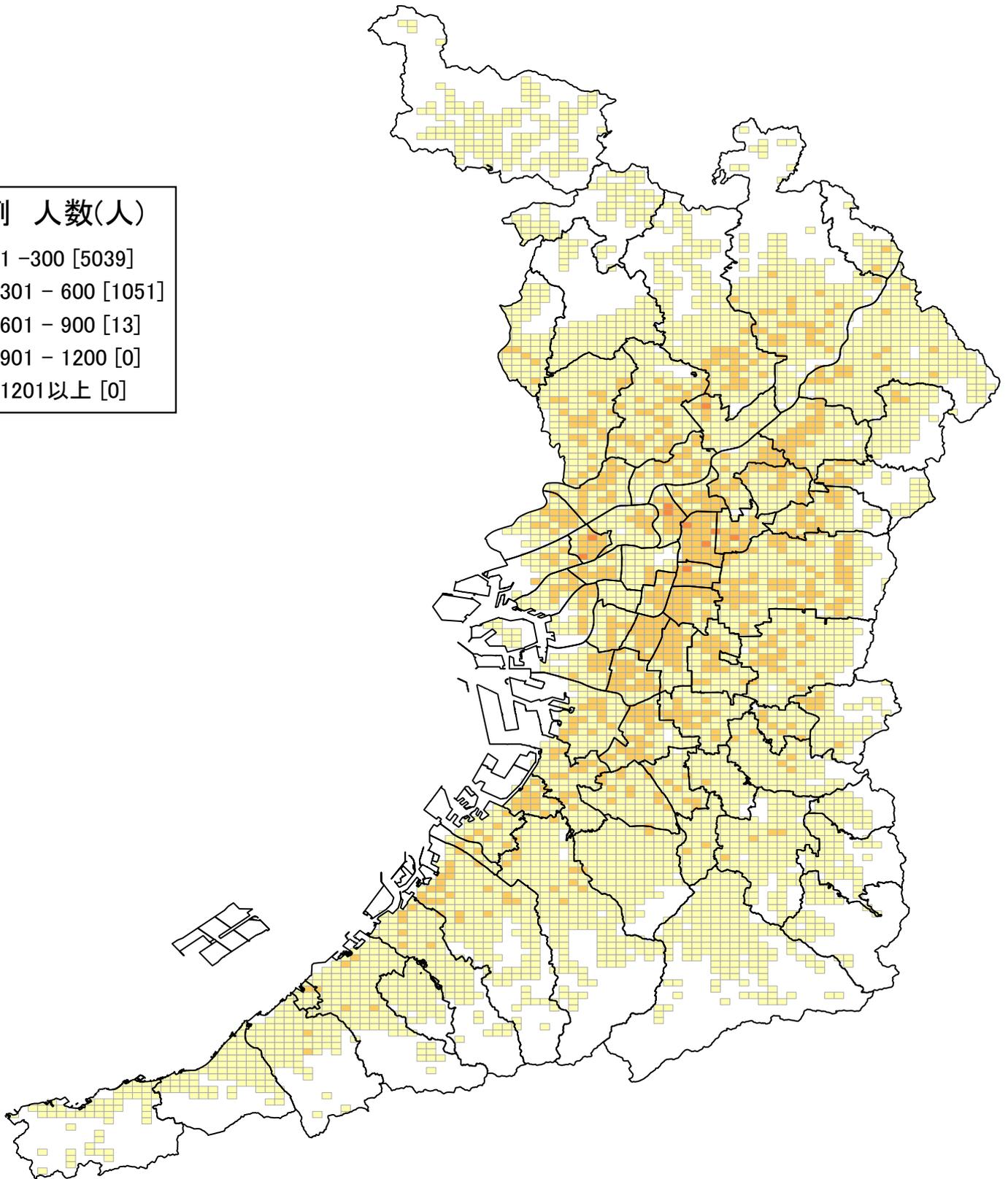
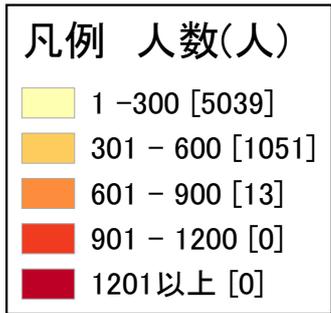
第33地図 家族従業者(15歳以上)

凡例 人数(人)

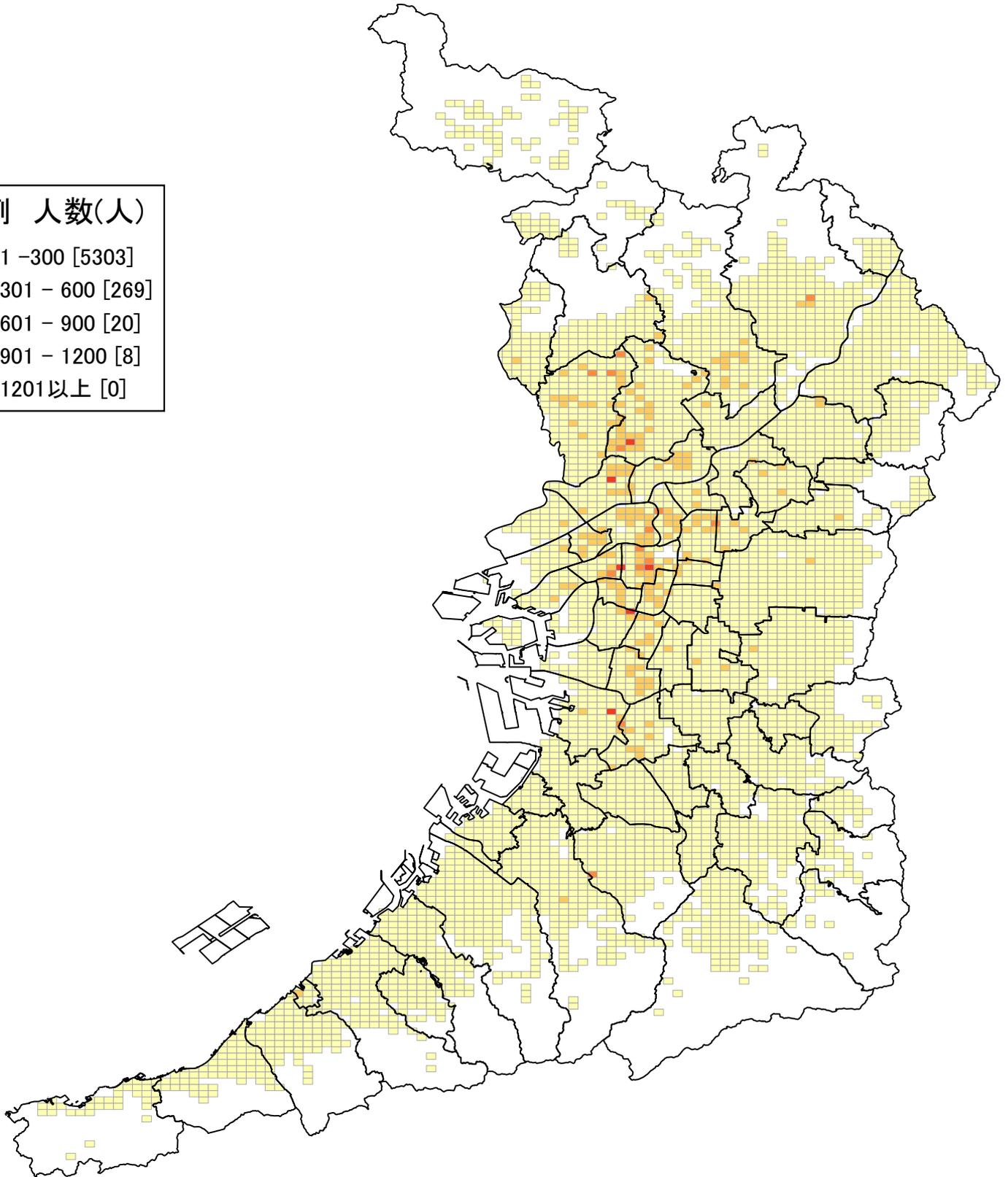
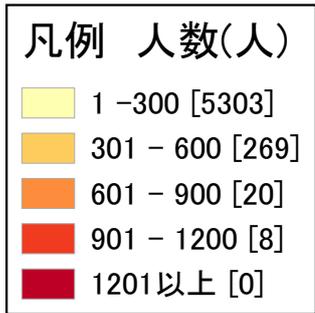
1 - 300	[5704]
301 - 600	[0]
601 - 900	[0]
901 - 1200	[0]
1201以上	[0]



第34地図 居住期間別人口 出生時から



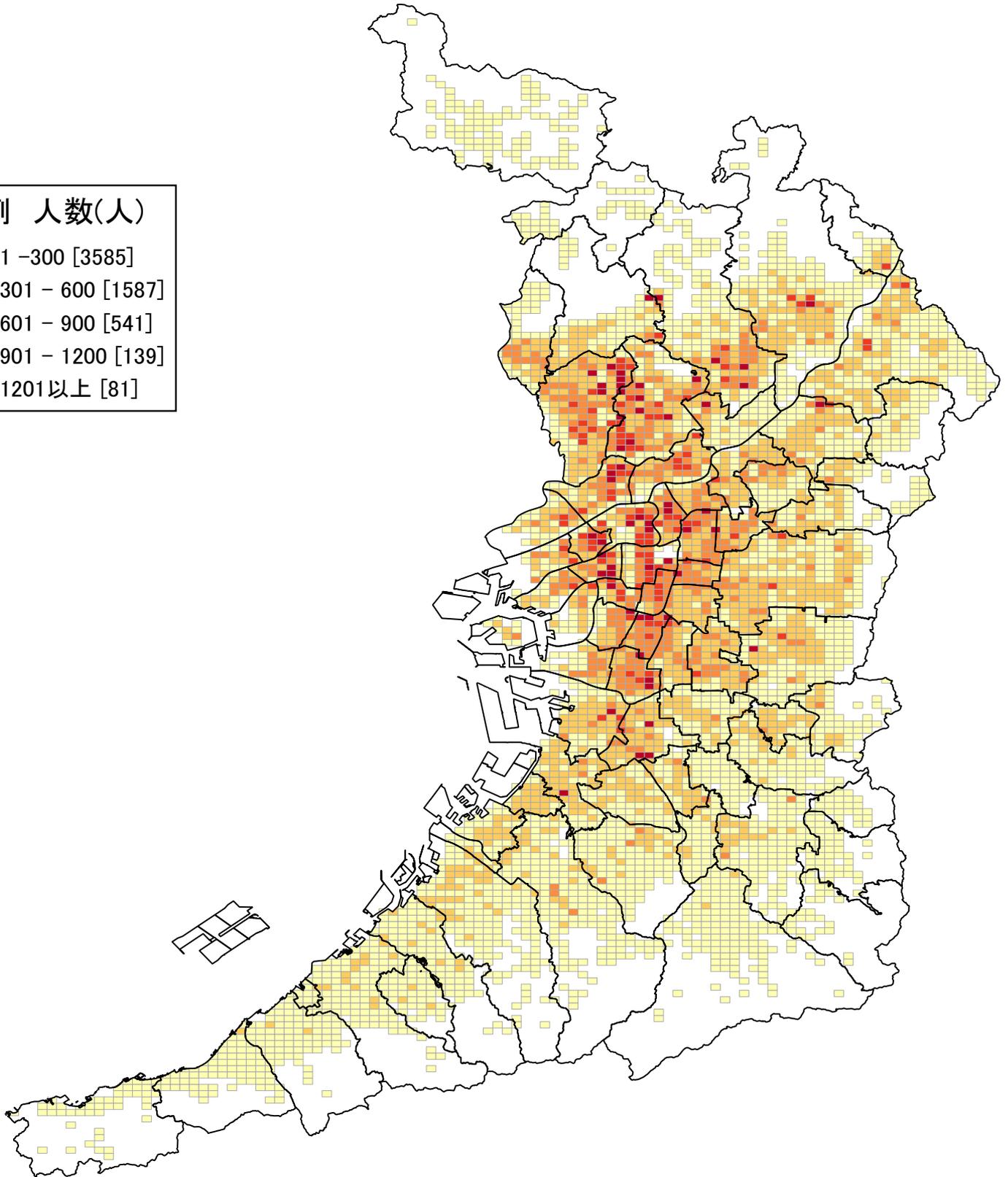
第35地図 居住期間別人口 1年未満



第36地図 居住期間別人口 1～5年未満

凡例 人数(人)

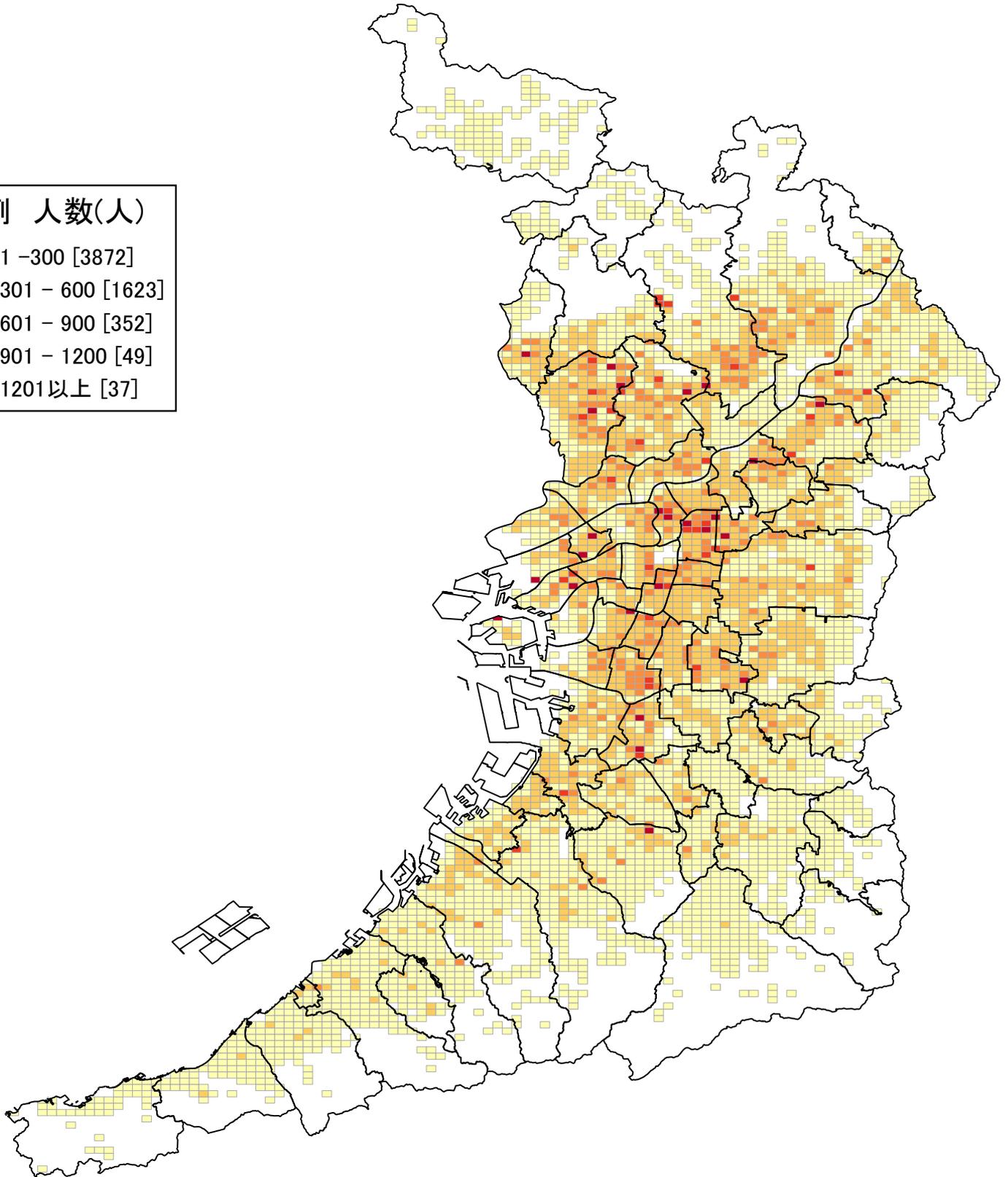
1 - 300	[3585]
301 - 600	[1587]
601 - 900	[541]
901 - 1200	[139]
1201以上	[81]



第37地図 居住期間別人口 5～10年未満

凡例 人数(人)

1 - 300	[3872]
301 - 600	[1623]
601 - 900	[352]
901 - 1200	[49]
1201以上	[37]

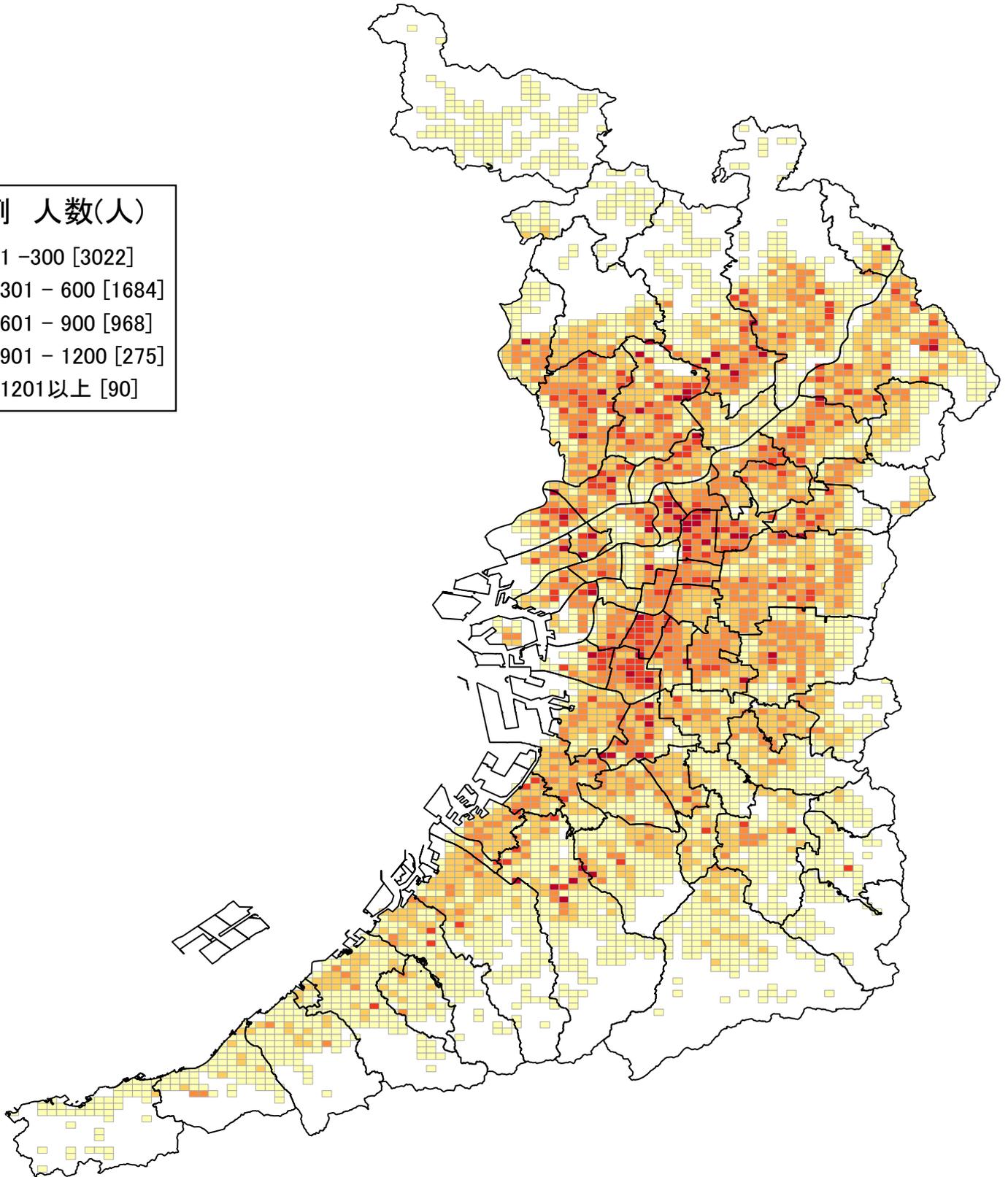


上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

第38地図 居住期間別人口 10～20年未満

凡例 人数(人)

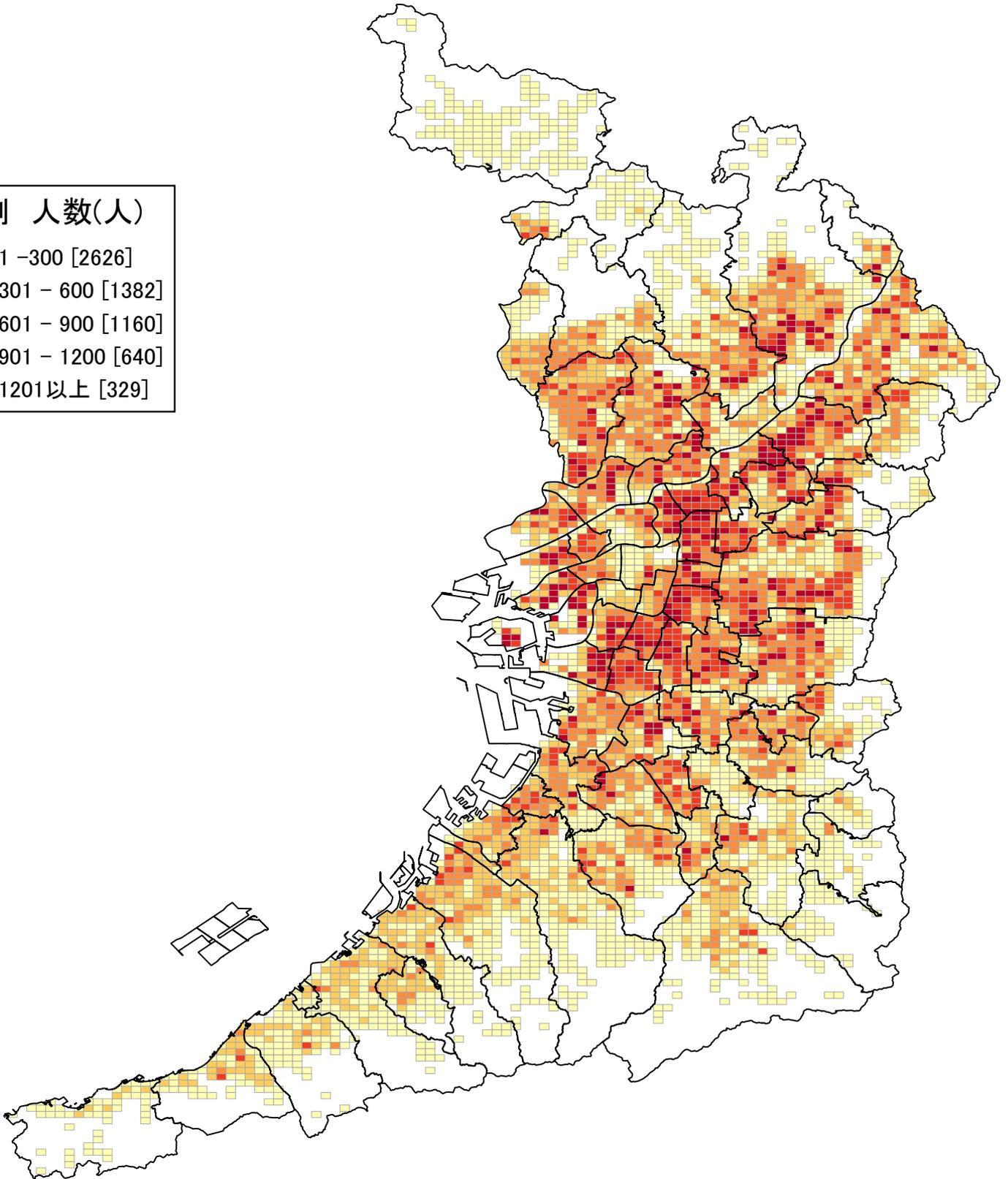
1 - 300	[3022]
301 - 600	[1684]
601 - 900	[968]
901 - 1200	[275]
1201以上	[90]



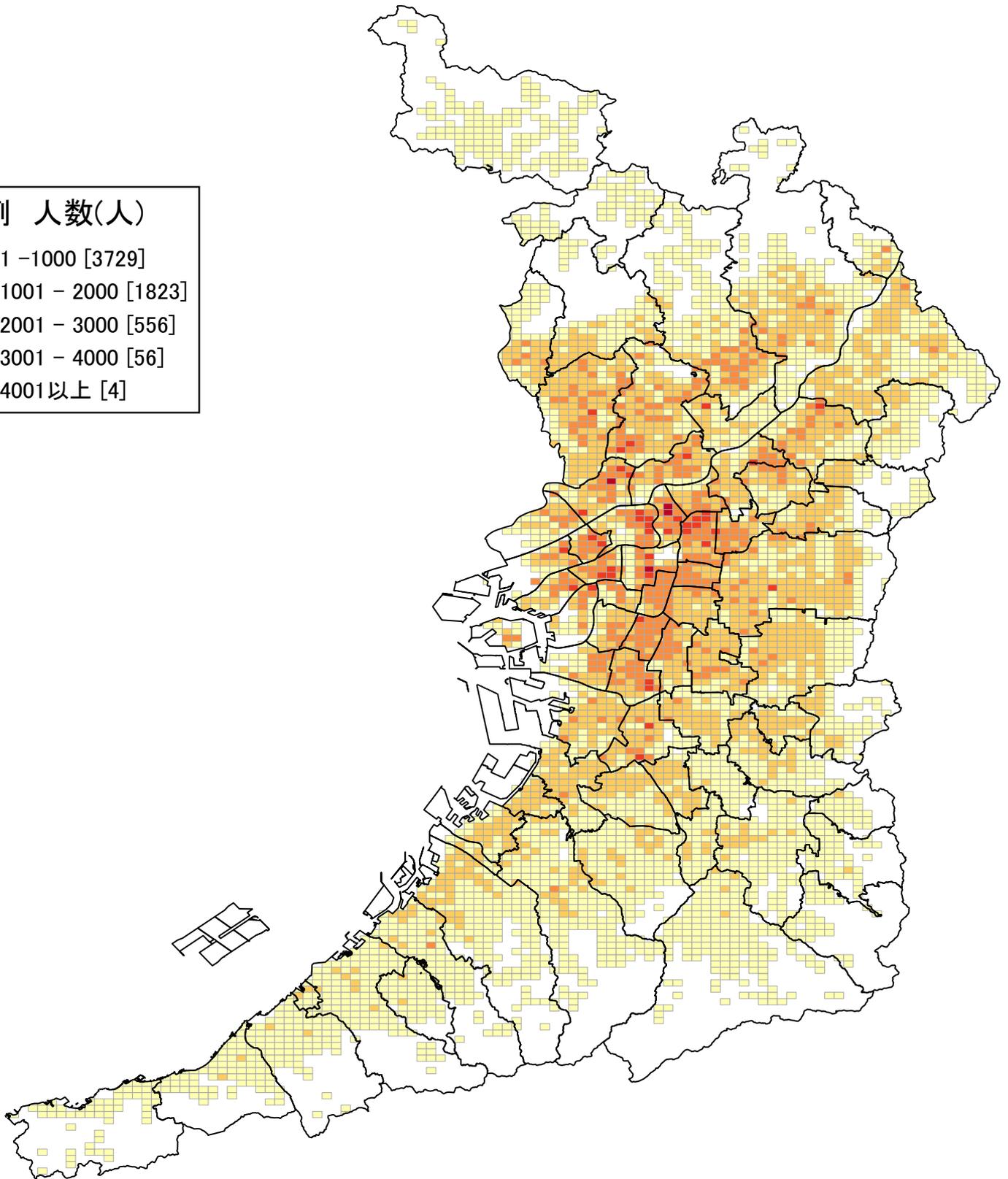
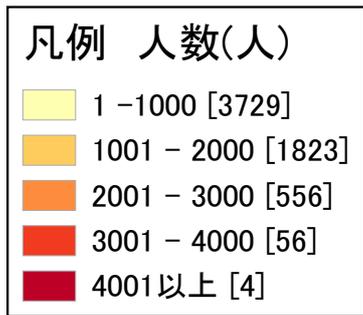
第39地図 居住期間別人口 20年以上

凡例 人数(人)

1 - 300 [2626]
301 - 600 [1382]
601 - 900 [1160]
901 - 1200 [640]
1201以上 [329]

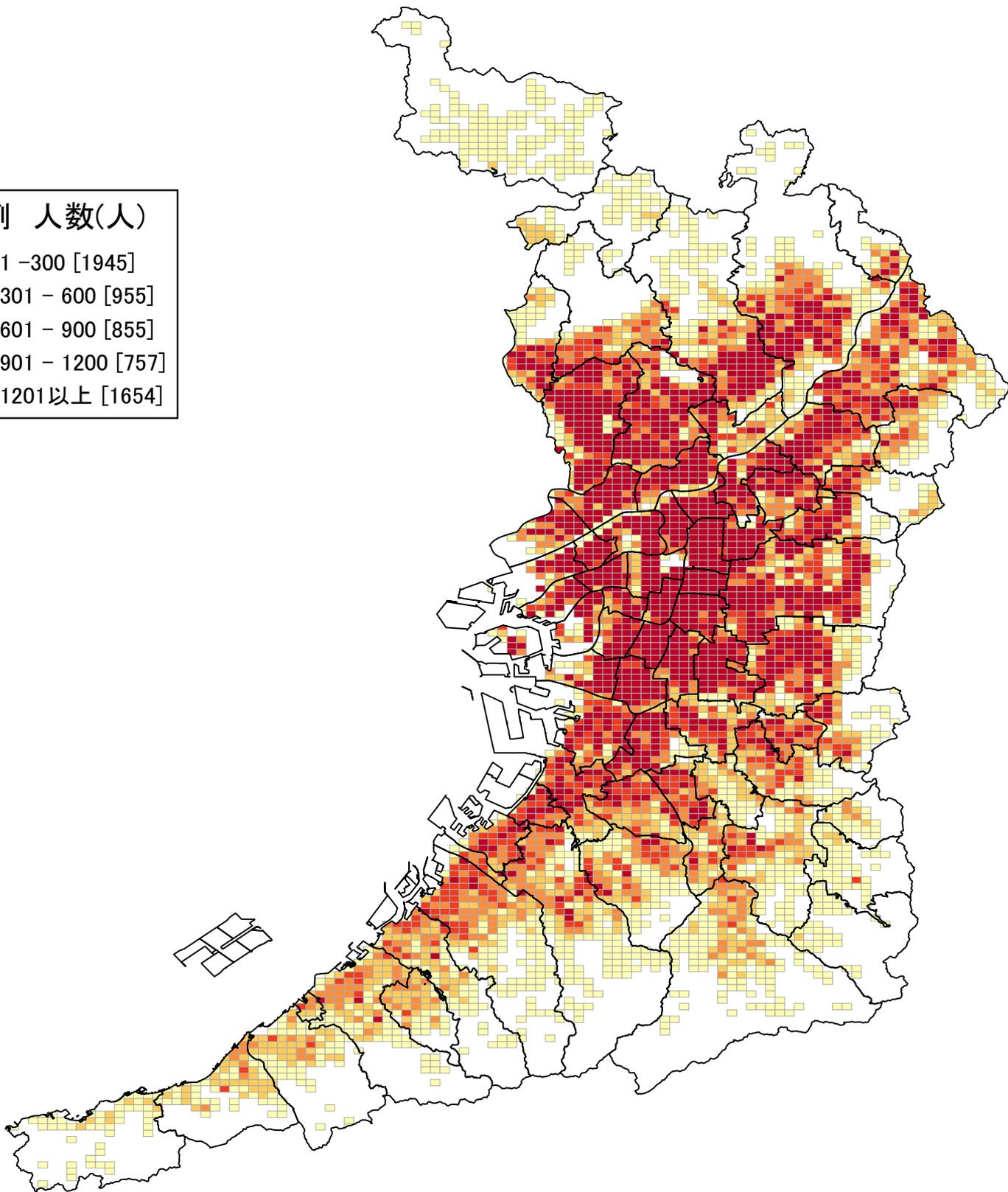


第40地図 当地に常住する15歳以上就業者・通学者



上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

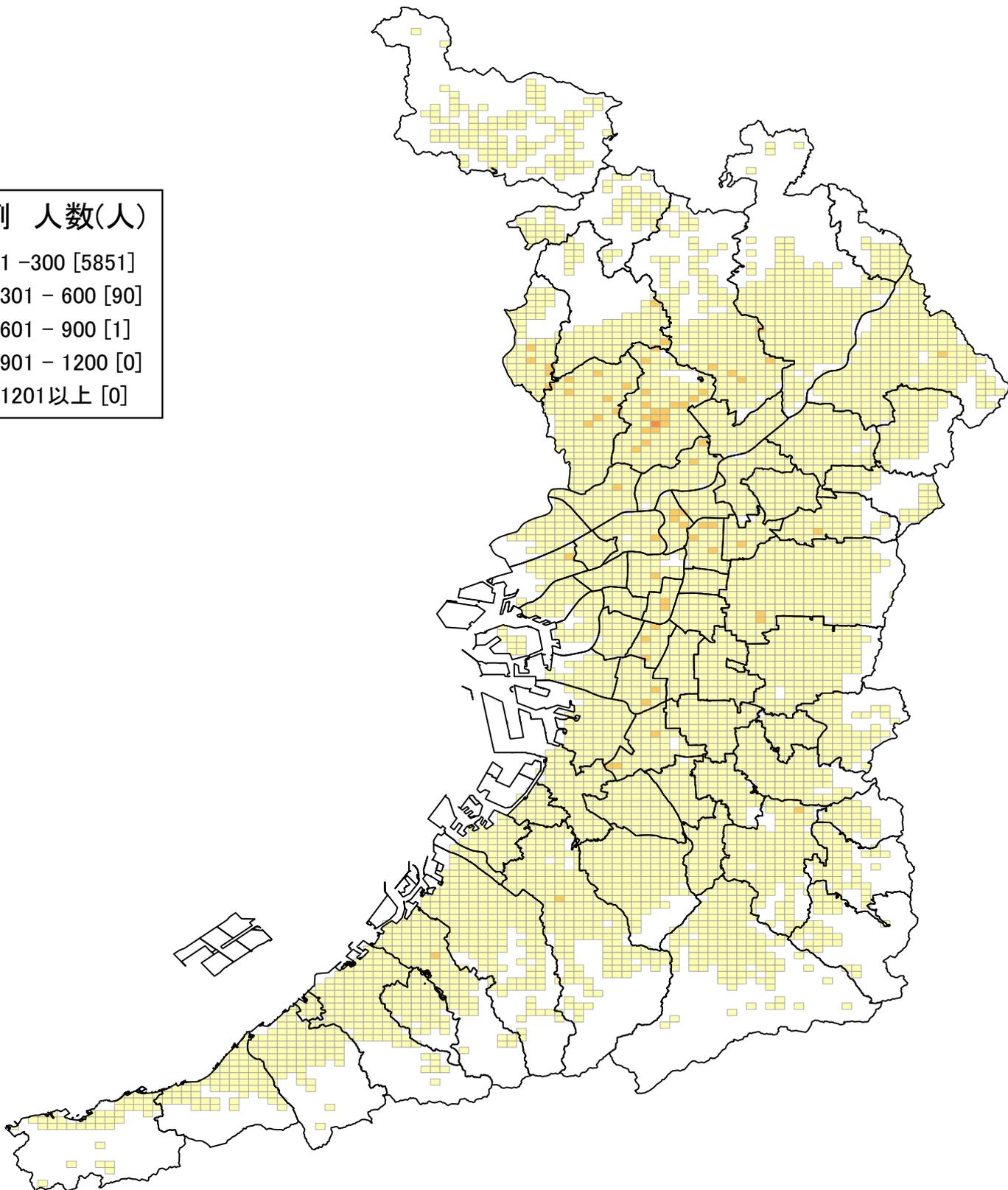
第41地図 当地に常住する15歳以上就業者・通学者：就業者数



第42地図

当地に常住する15歳以上就業者・通学者：通学者数

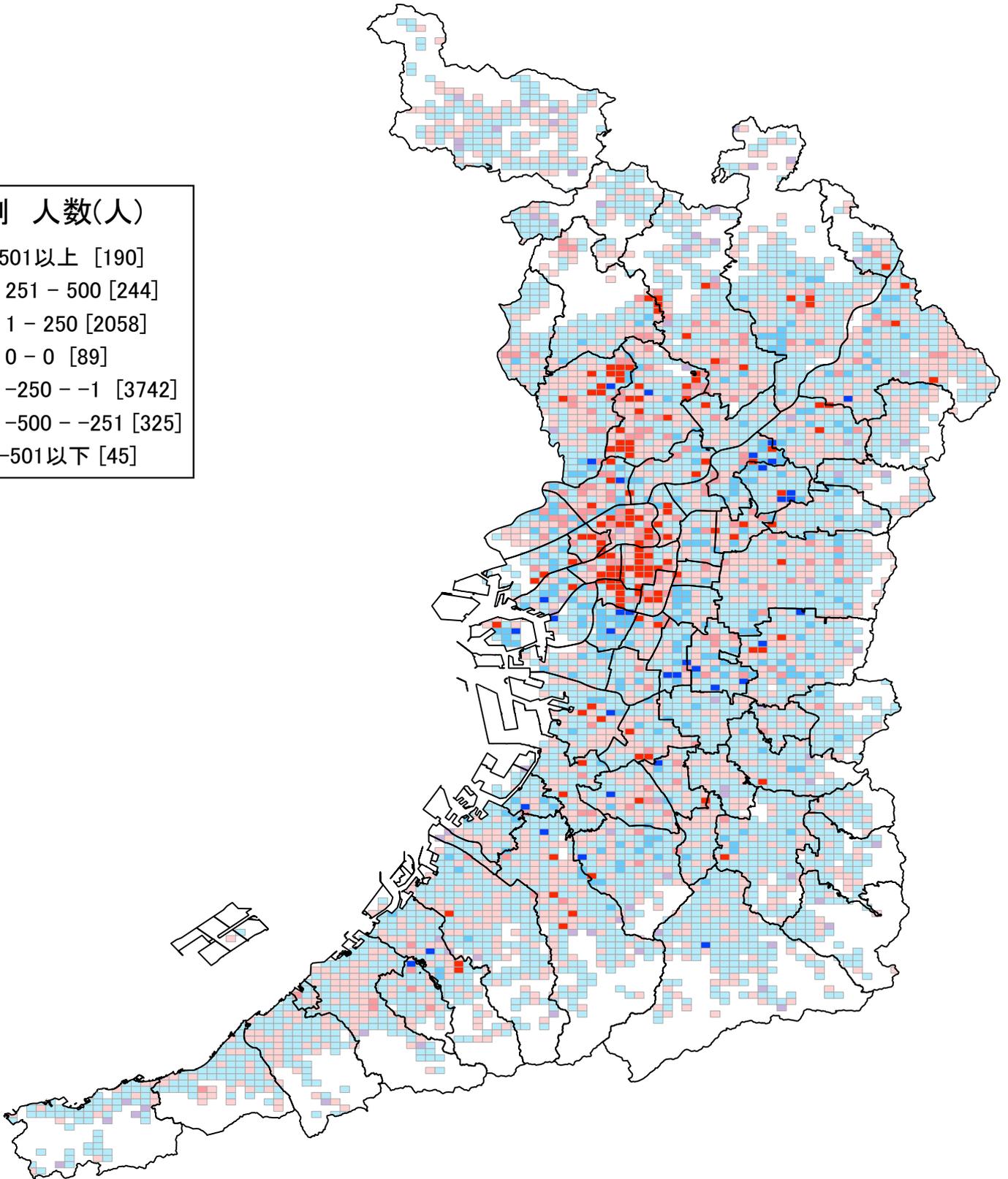
凡例 人数(人)	
1 - 300	[5851]
301 - 600	[90]
601 - 900	[1]
901 - 1200	[0]
1201以上	[0]



第43地図 総人口：増減

凡例 人数(人)

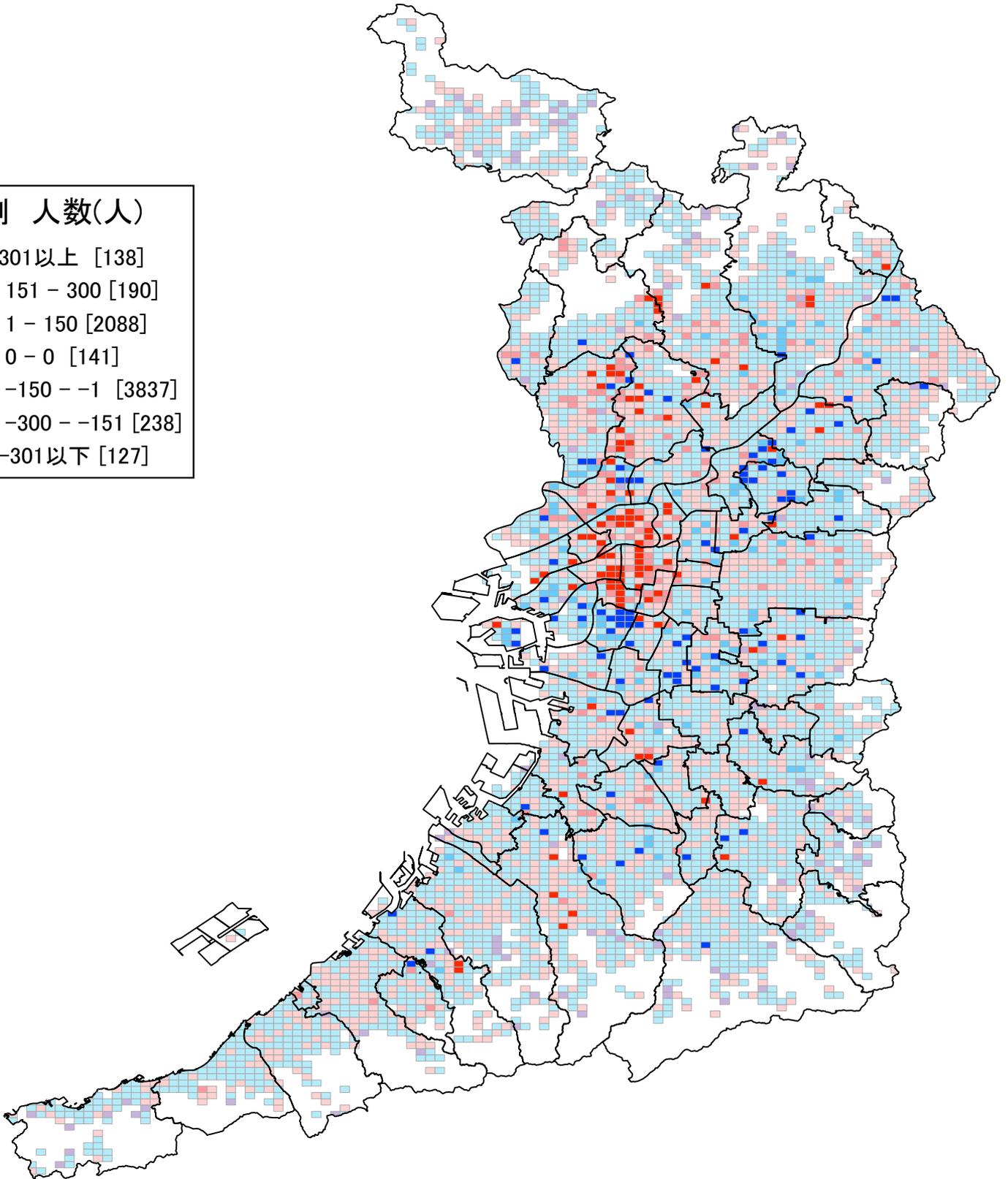
■	501以上 [190]
■	251 - 500 [244]
■	1 - 250 [2058]
■	0 - 0 [89]
■	-250 - -1 [3742]
■	-500 - -251 [325]
■	-501以下 [45]



第44地図 総人口男：増減

凡例 人数(人)

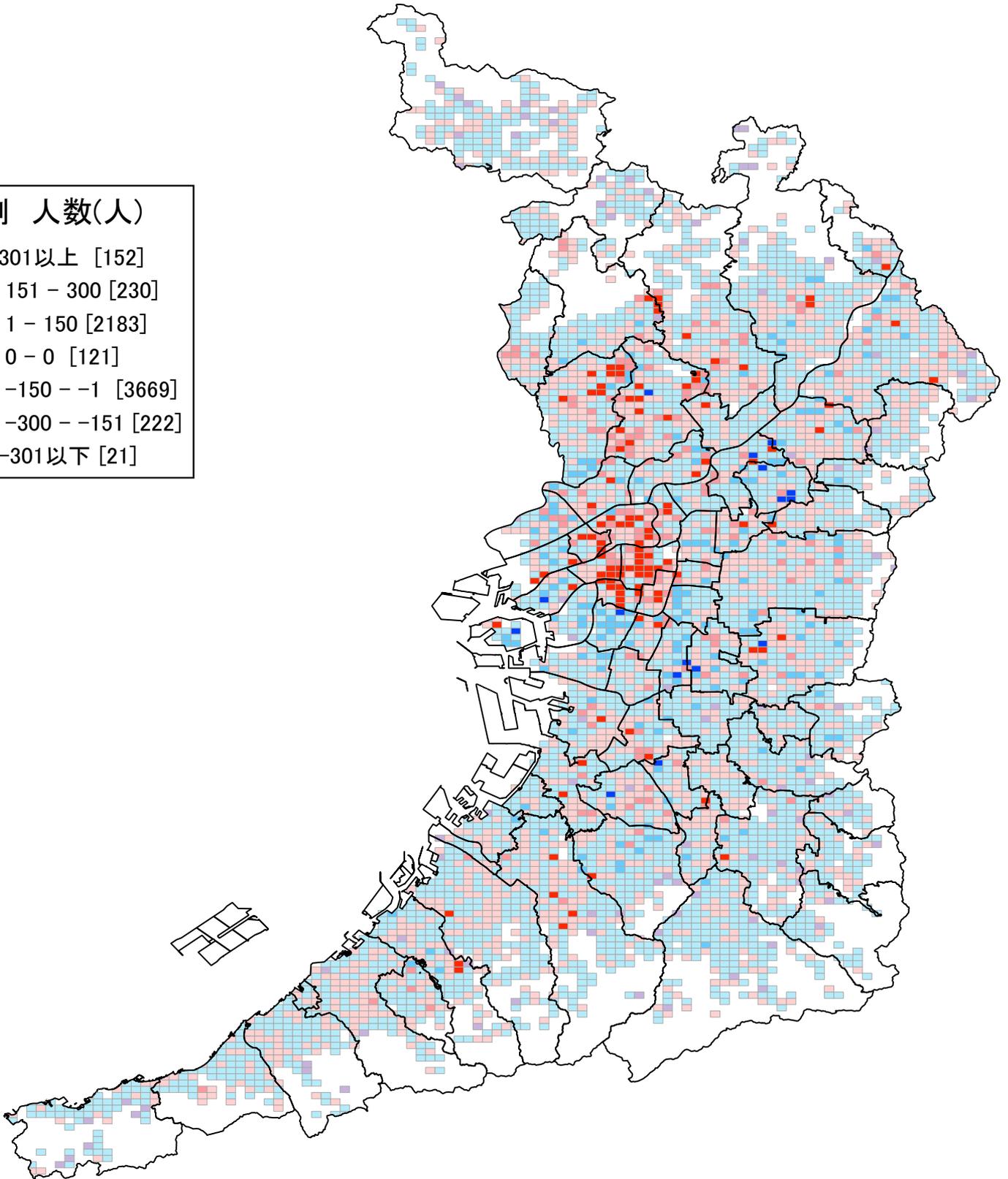
■	301以上 [138]
■	151 - 300 [190]
■	1 - 150 [2088]
■	0 - 0 [141]
■	-150 - -1 [3837]
■	-300 - -151 [238]
■	-301以下 [127]



第45地図 総人口女：増減

凡例 人数(人)

■	301以上 [152]
■	151 - 300 [230]
■	1 - 150 [2183]
■	0 - 0 [121]
■	-150 - -1 [3669]
■	-300 - -151 [222]
■	-301以下 [21]

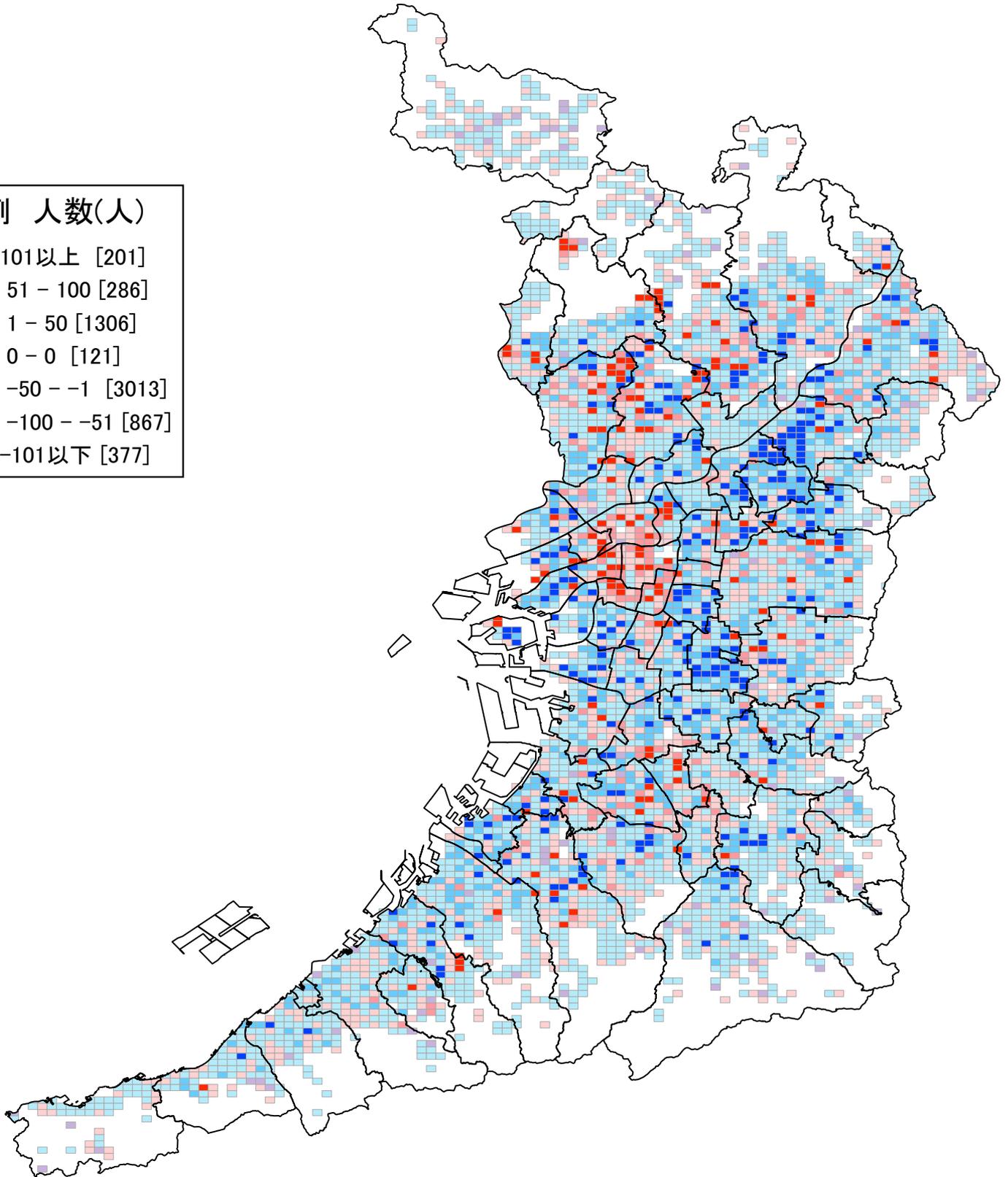


第46地図

0～14歳人口:増減

凡例 人数(人)

■	101以上	[201]
■	51 - 100	[286]
■	1 - 50	[1306]
■	0 - 0	[121]
■	-50 - -1	[3013]
■	-100 - -51	[867]
■	-101以下	[377]

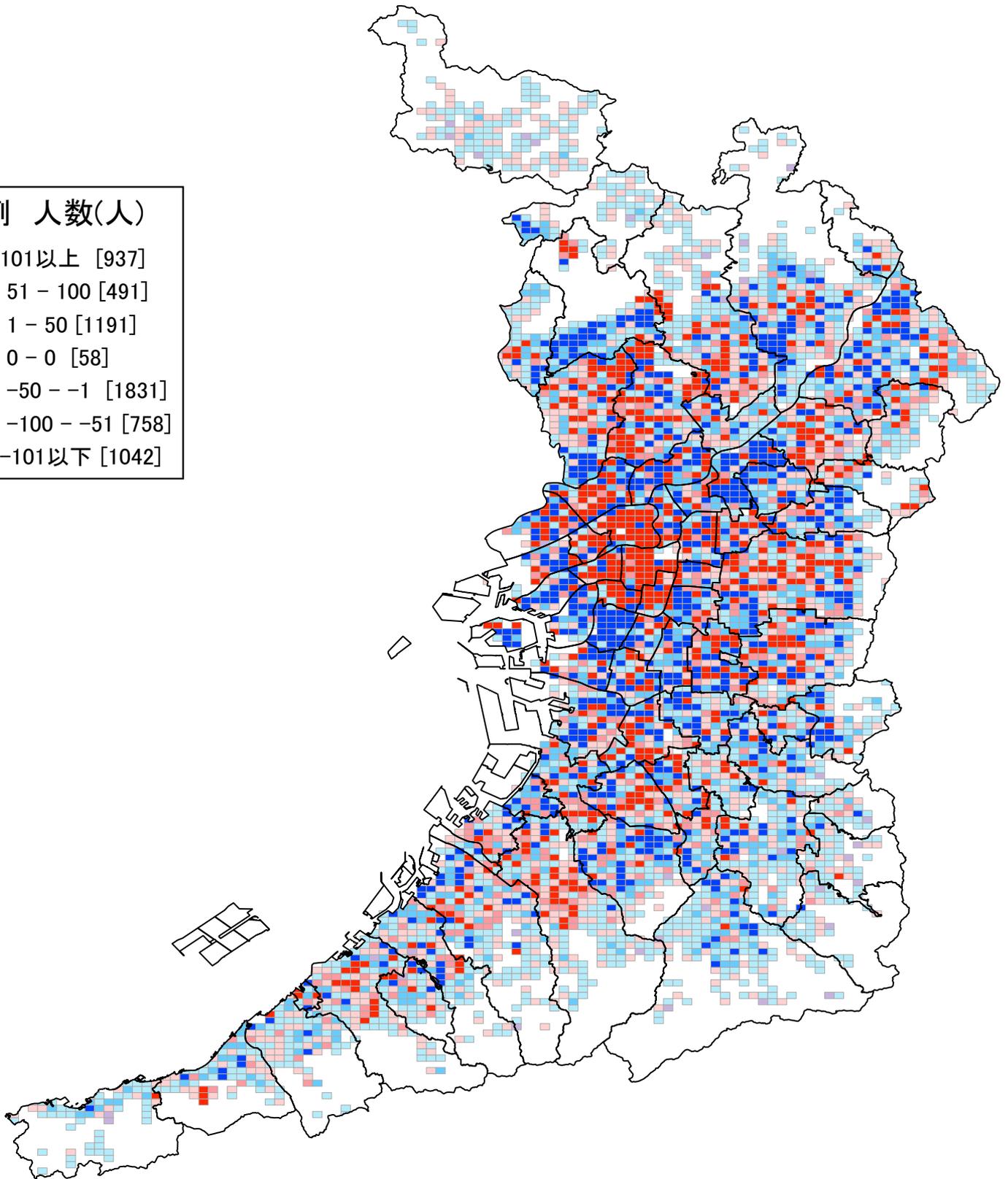


上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

第47地図 15歳以上人口：増減

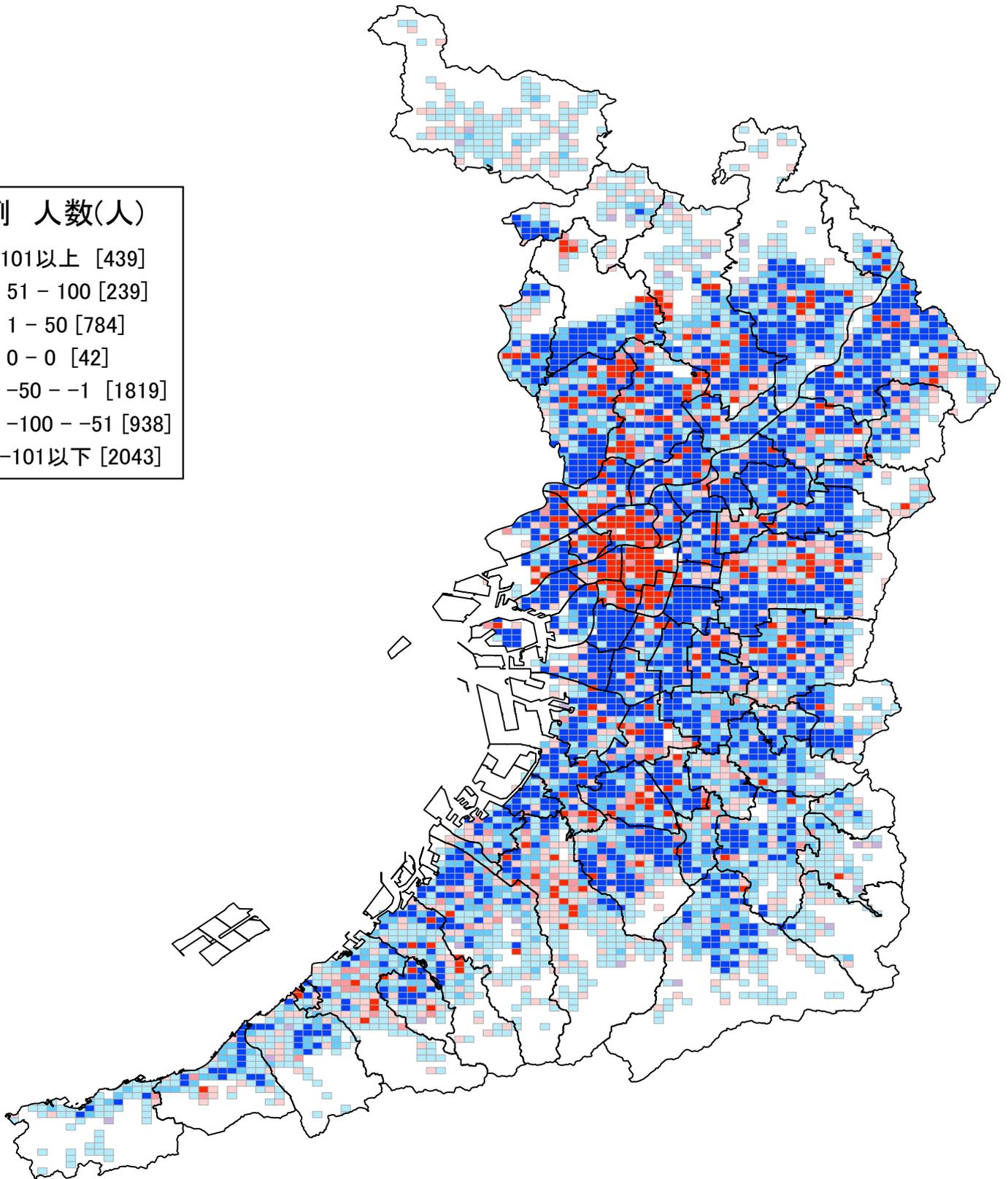
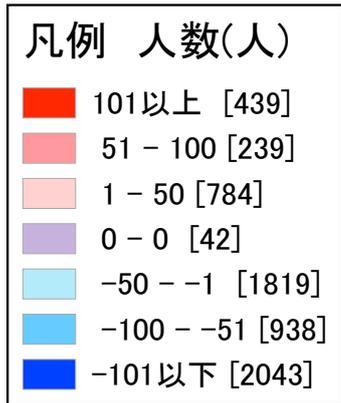
凡例 人数(人)

■	101以上	[937]
■	51 - 100	[491]
■	1 - 50	[1191]
■	0 - 0	[58]
■	-50 - -1	[1831]
■	-100 - -51	[758]
■	-101以下	[1042]



上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

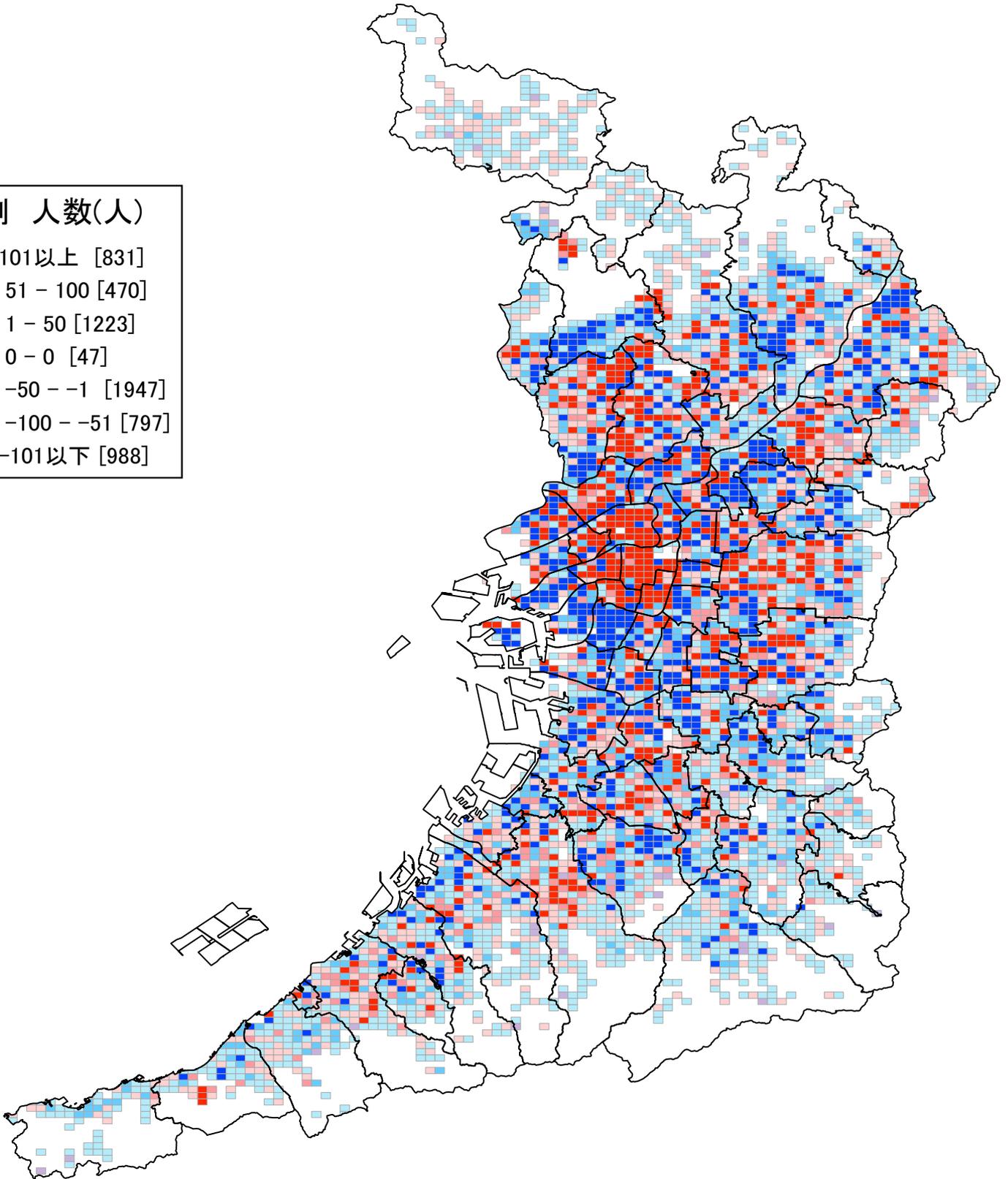
第48地図 15～64歳人口：増減



第49地図 20歳以上人口：増減

凡例 人数(人)

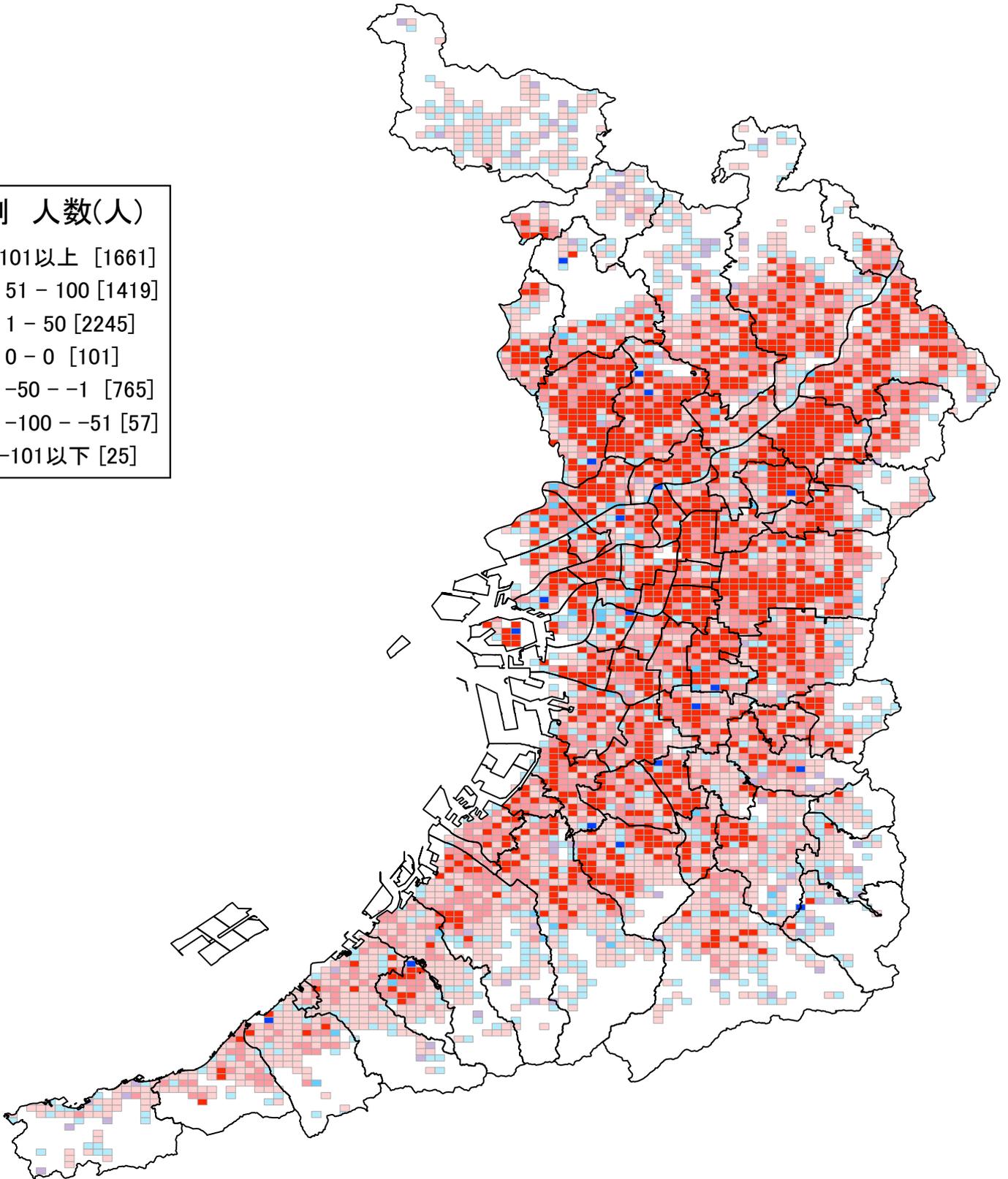
- 101以上 [831]
- 51 - 100 [470]
- 1 - 50 [1223]
- 0 - 0 [47]
- 50 - -1 [1947]
- 100 - -51 [797]
- 101以下 [988]



第50地図 65歳以上人口：増減

凡例 人数(人)

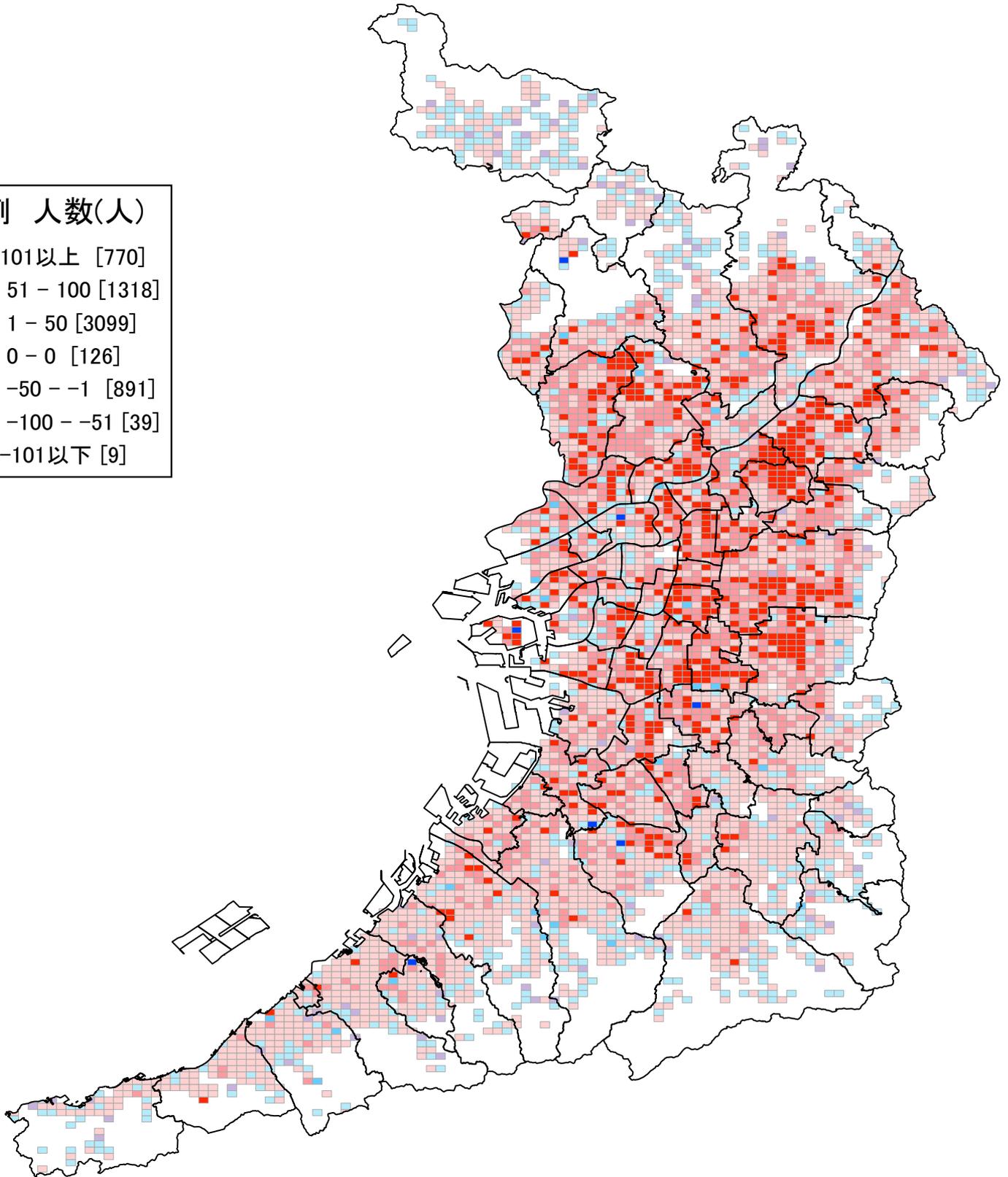
■	101以上 [1661]
■	51 - 100 [1419]
■	1 - 50 [2245]
■	0 - 0 [101]
■	-50 - -1 [765]
■	-100 - -51 [57]
■	-101以下 [25]



第51地図 75歳以上人口：増減

凡例 人数(人)

■	101以上	[770]
■	51 - 100	[1318]
■	1 - 50	[3099]
■	0 - 0	[126]
■	-50 - -1	[891]
■	-100 - -51	[39]
■	-101以下	[9]

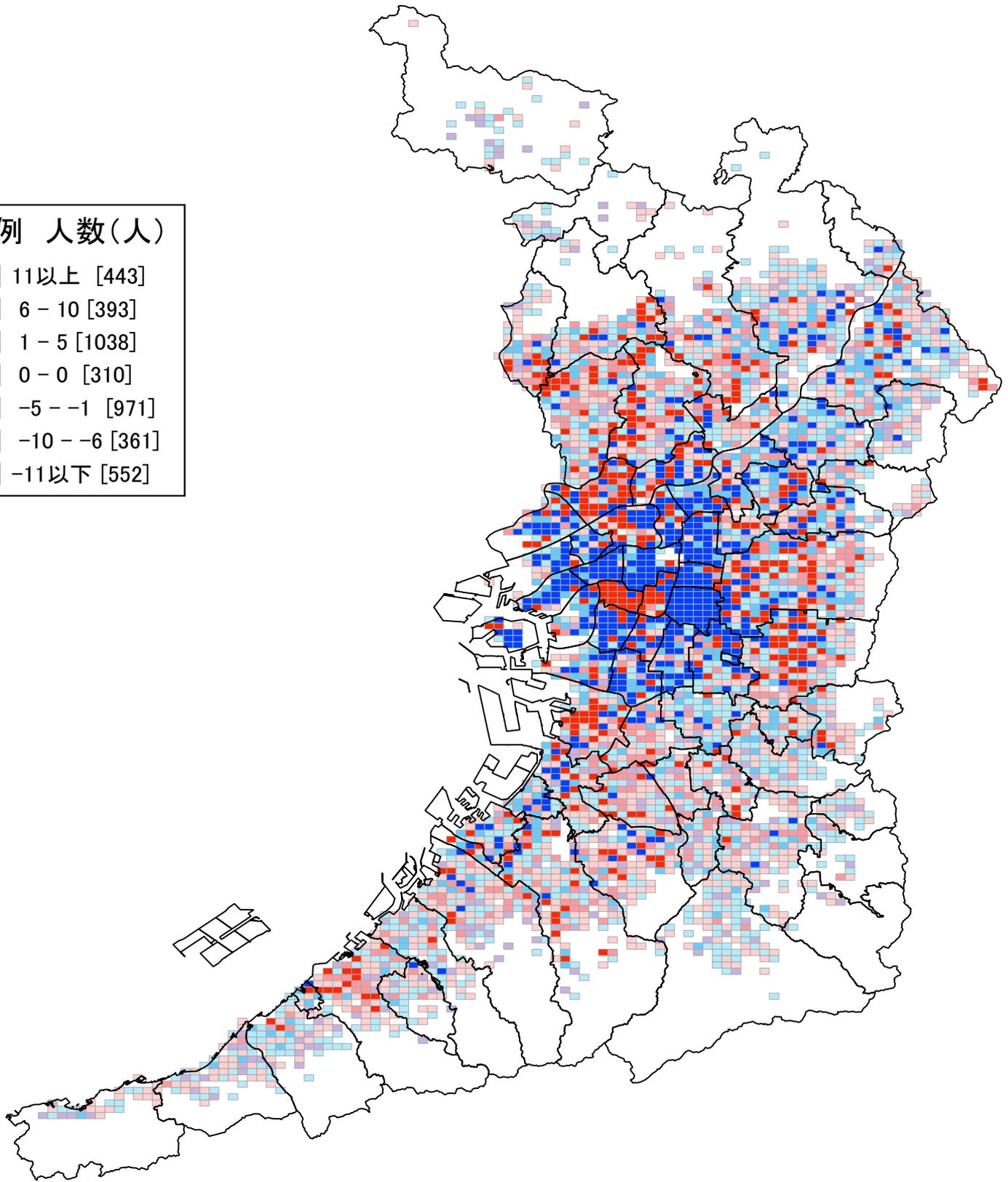


上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

第52地図 外国人人口：増減

凡例 人数(人)

■	11以上	[443]
■	6 - 10	[393]
■	1 - 5	[1038]
■	0 - 0	[310]
■	-5 - -1	[971]
■	-10 - -6	[361]
■	-11以下	[552]

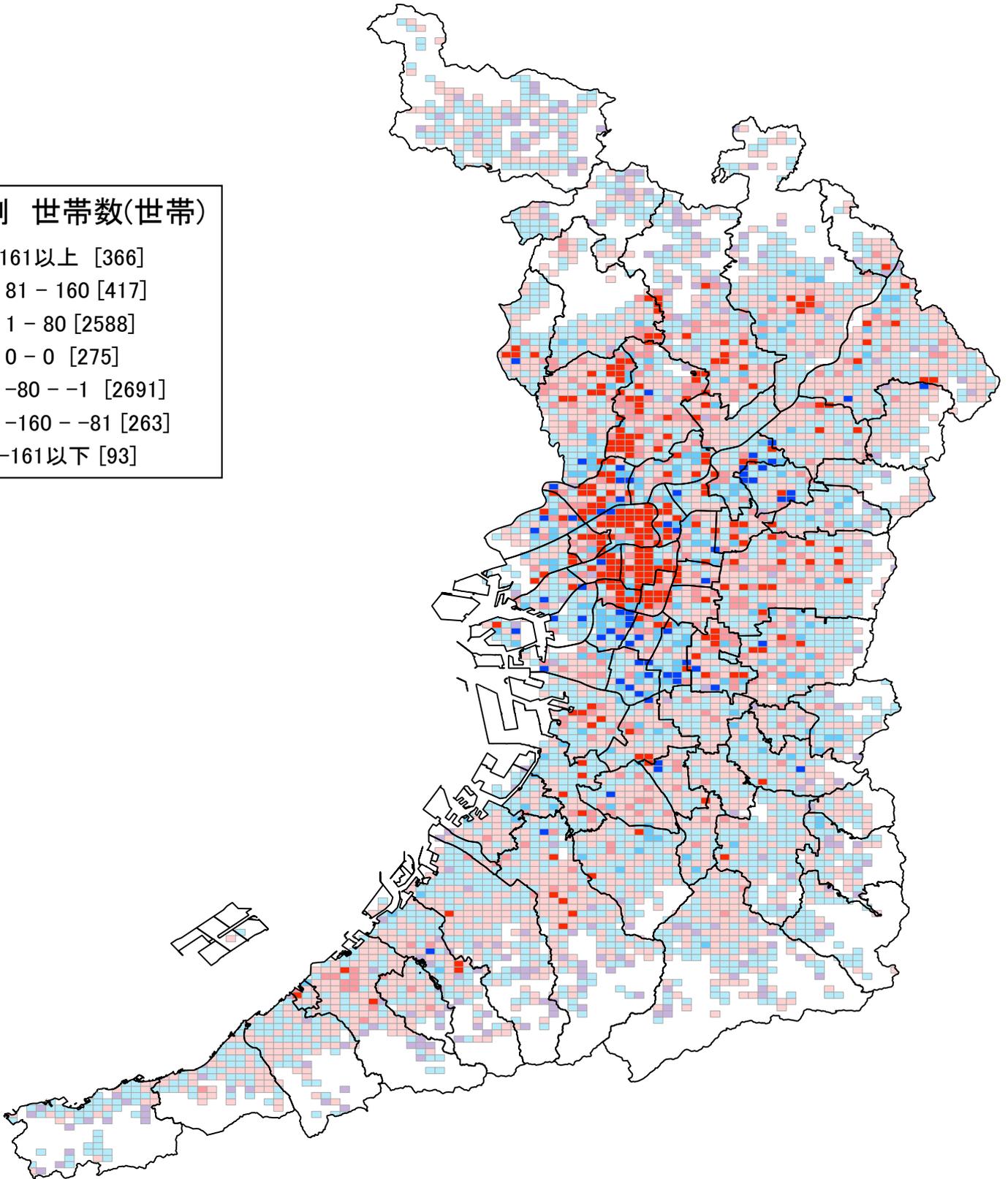


上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区画データ）」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

第53地図 世帯総数：増減

凡例 世帯数(世帯)

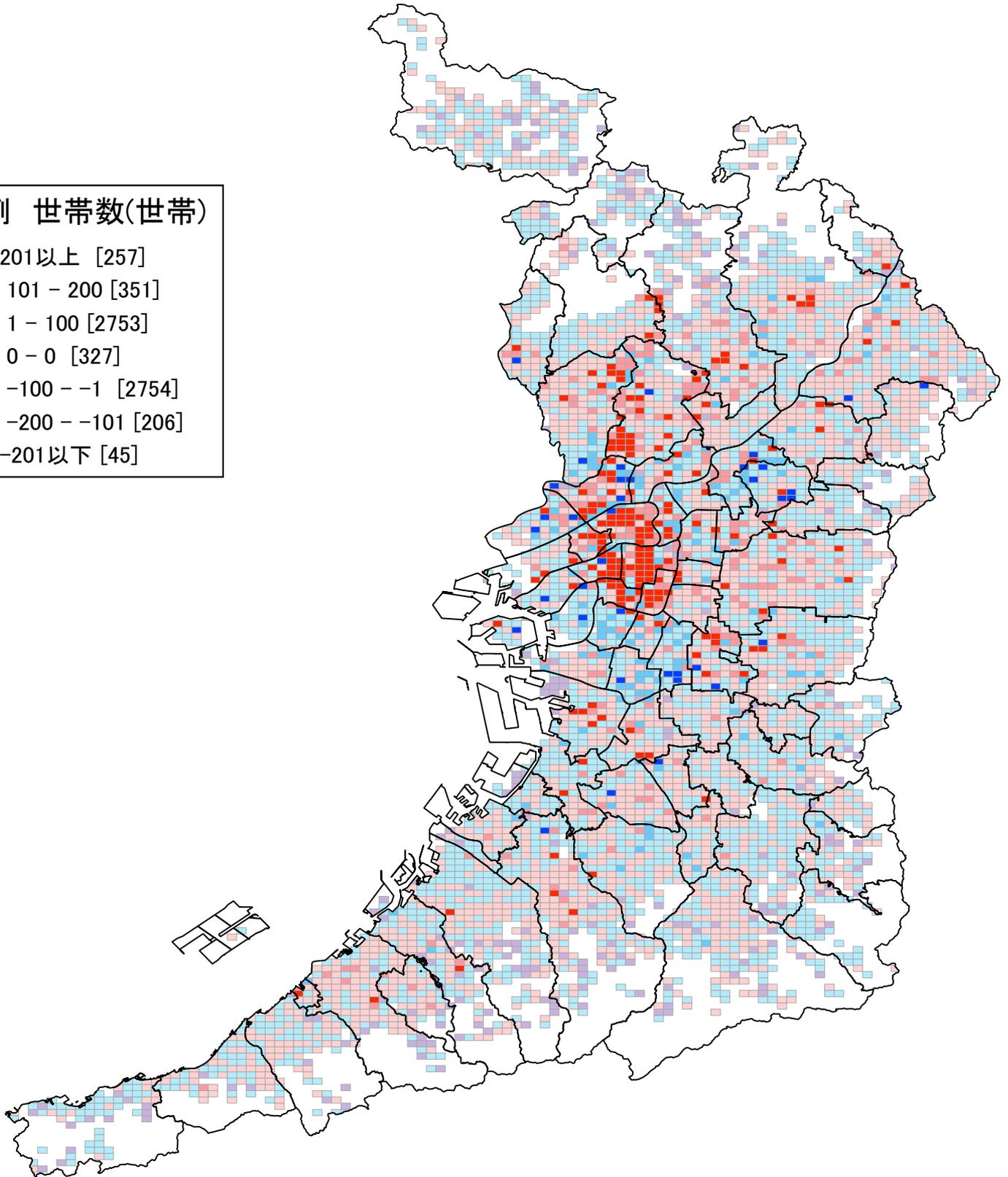
- 161以上 [366]
- 81 - 160 [417]
- 1 - 80 [2588]
- 0 - 0 [275]
- 80 - -1 [2691]
- 160 - -81 [263]
- 161以下 [93]



第54地図 一般世帯数:増減

凡例 世帯数(世帯)

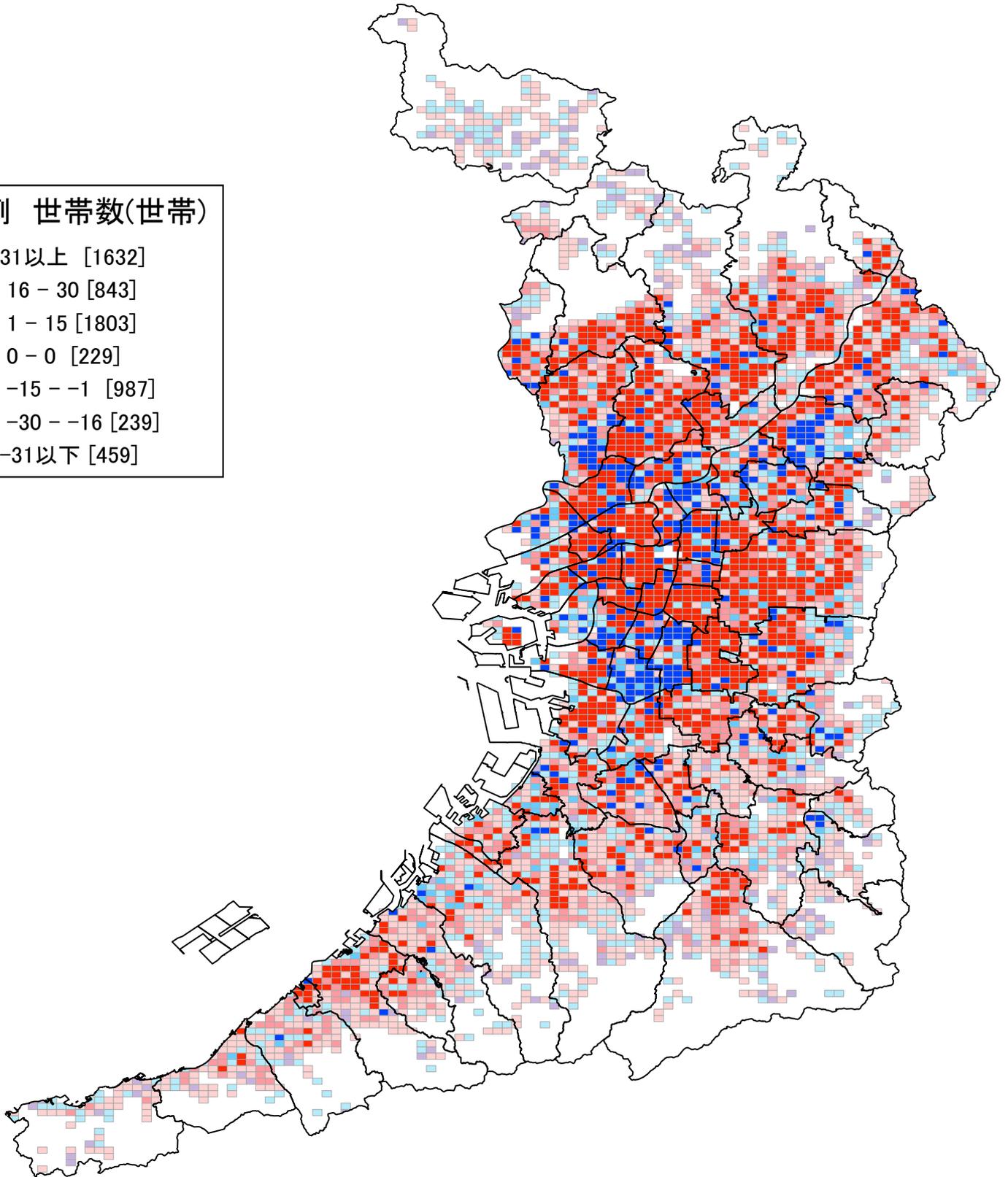
- 201以上 [257]
- 101 - 200 [351]
- 1 - 100 [2753]
- 0 - 0 [327]
- 100 - -1 [2754]
- 200 - -101 [206]
- 201以下 [45]



第55地図 1人世帯数:増減

凡例 世帯数(世帯)

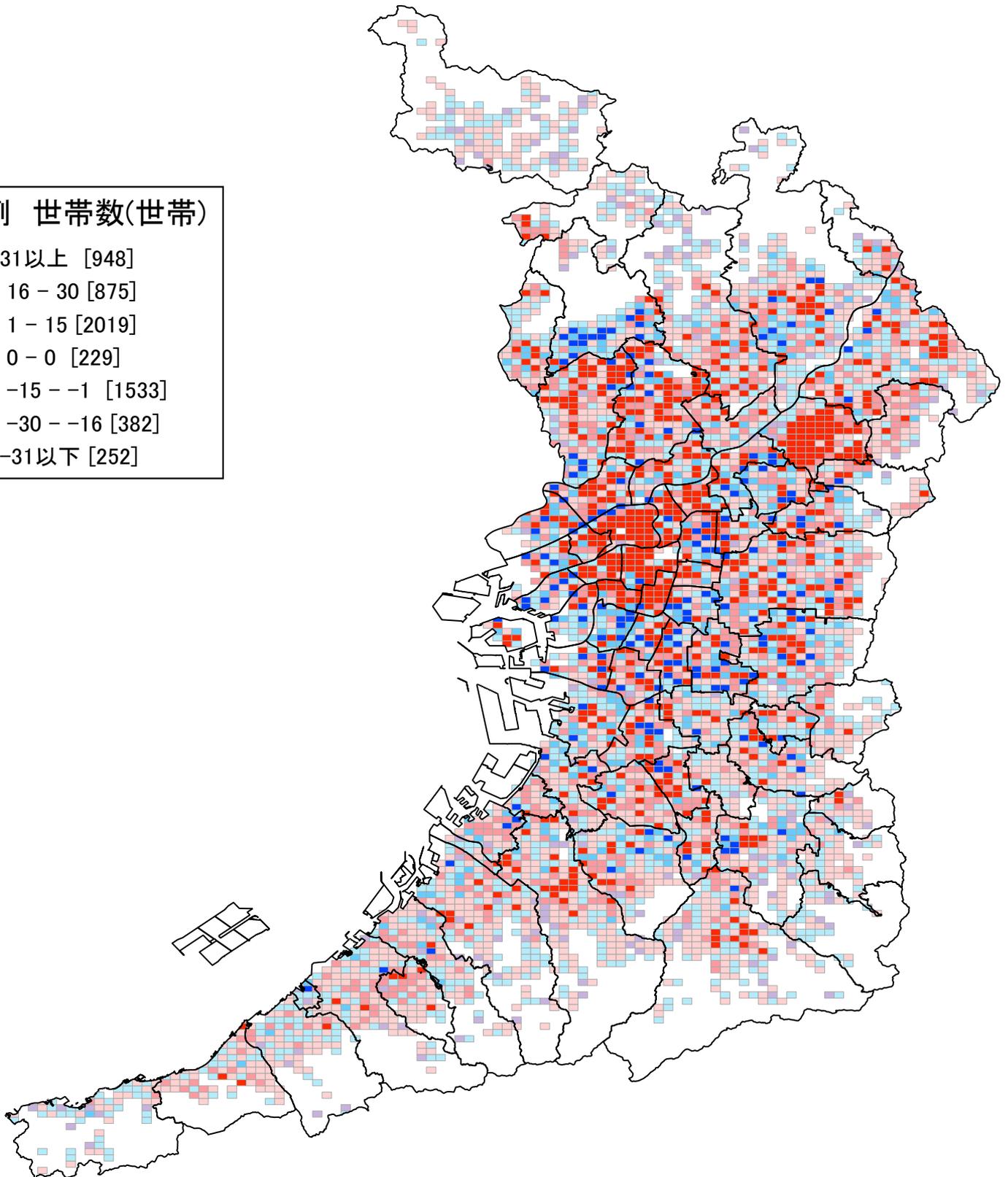
- 31以上 [1632]
- 16 - 30 [843]
- 1 - 15 [1803]
- 0 - 0 [229]
- 15 - -1 [987]
- 30 - -16 [239]
- 31以下 [459]



第56地図 2人世帯数:増減

凡例 世帯数(世帯)

- 31以上 [948]
- 16 - 30 [875]
- 1 - 15 [2019]
- 0 - 0 [229]
- 15 - -1 [1533]
- 30 - -16 [382]
- 31以下 [252]

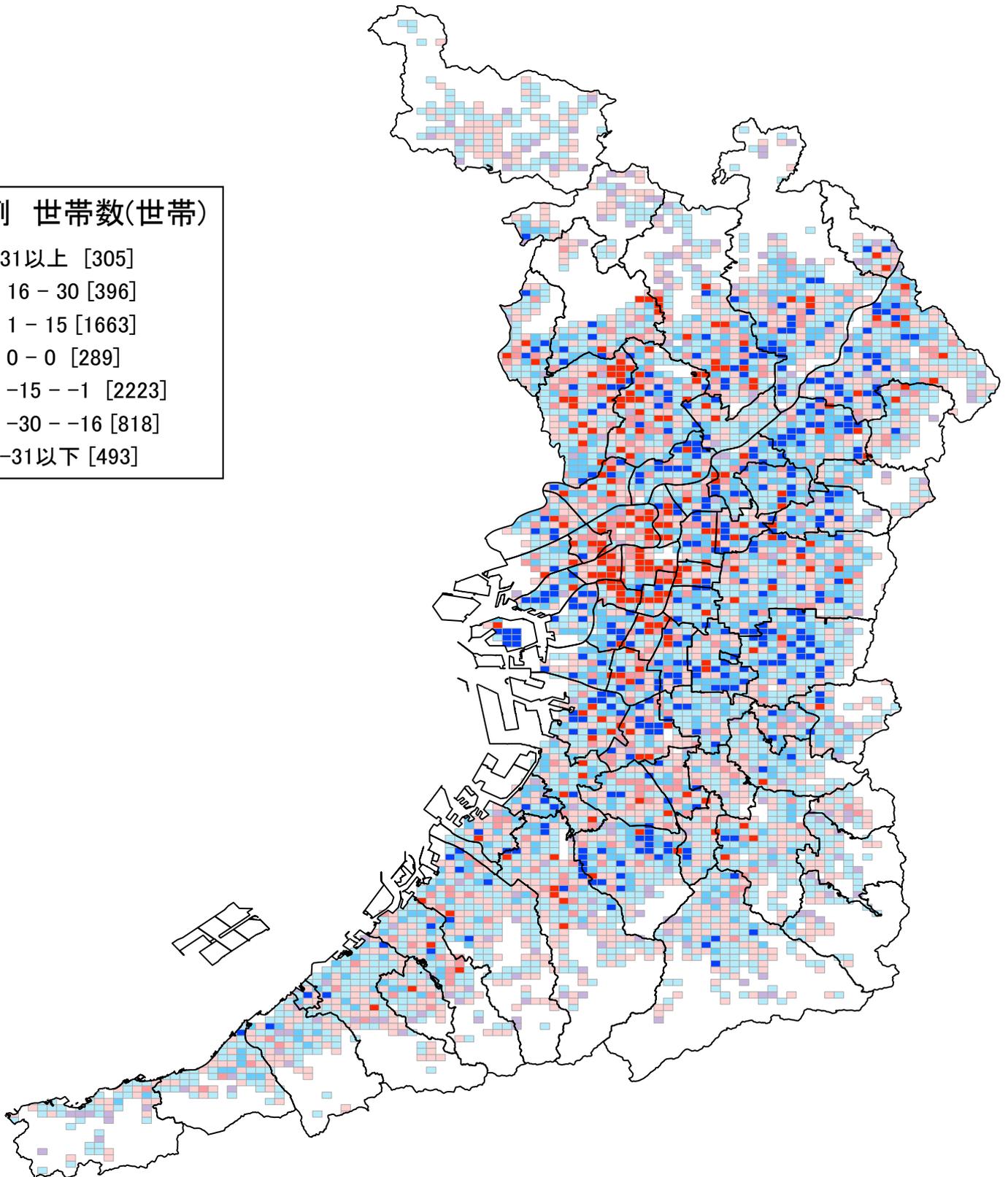


上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

第57地図 3人世帯数:増減

凡例 世帯数(世帯)

- 31以上 [305]
- 16 - 30 [396]
- 1 - 15 [1663]
- 0 - 0 [289]
- 15 - -1 [2223]
- 30 - -16 [818]
- 31以下 [493]



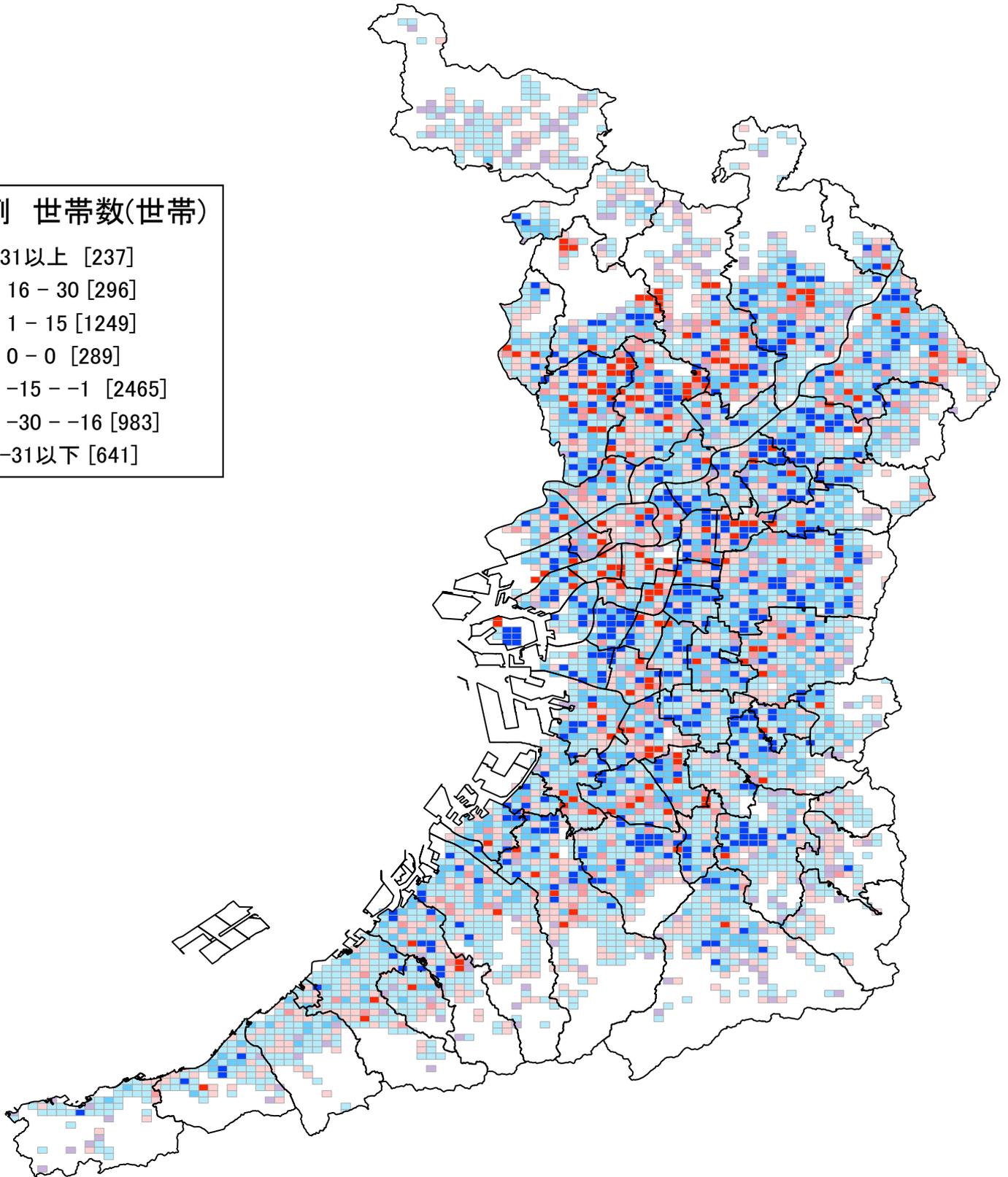
上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

第58地図

4人世帯数:増減

凡例 世帯数(世帯)

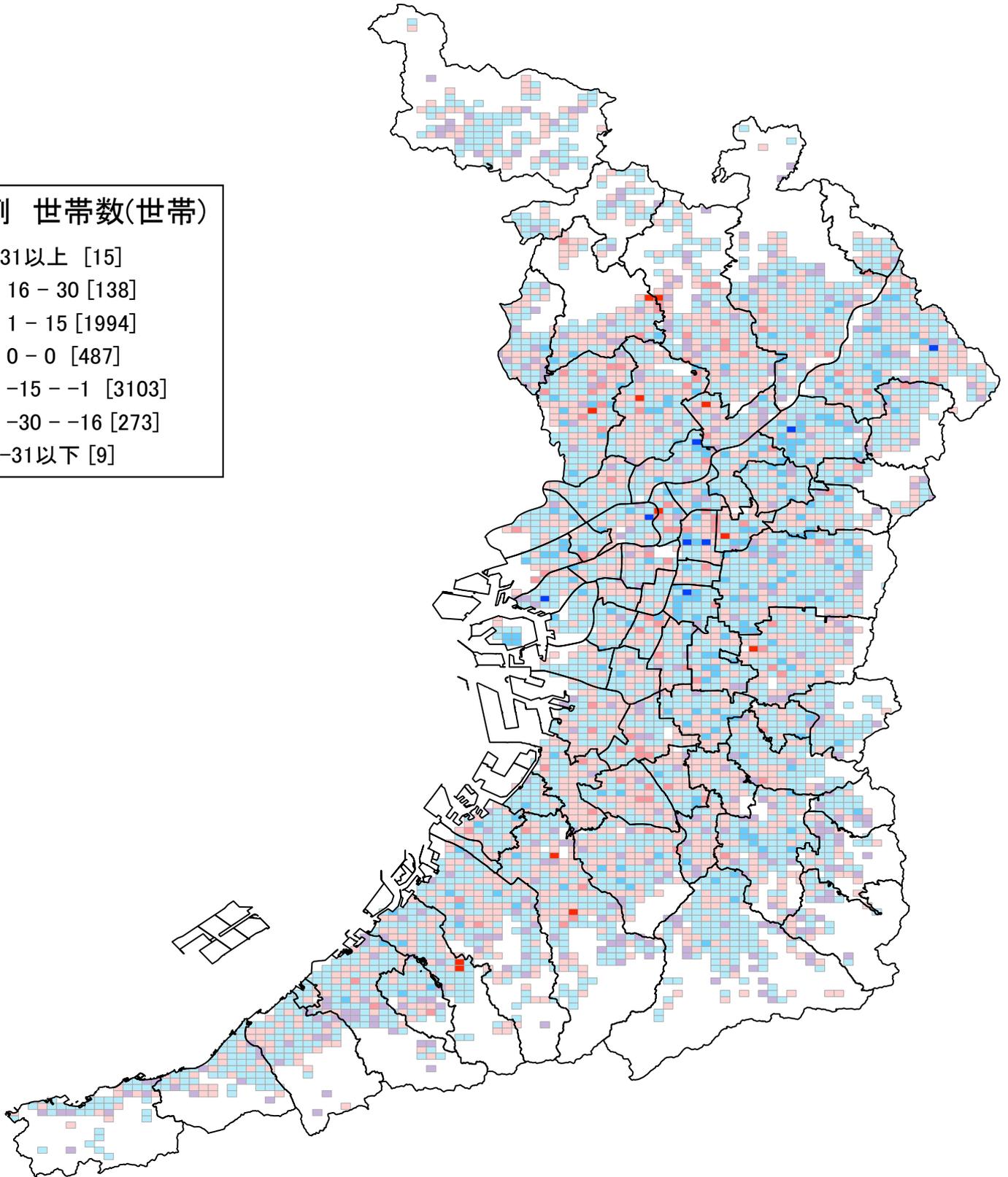
- 31以上 [237]
- 16 - 30 [296]
- 1 - 15 [1249]
- 0 - 0 [289]
- 15 - -1 [2465]
- 30 - -16 [983]
- 31以下 [641]



第59地図 5人世帯数:増減

凡例 世帯数(世帯)

- 31以上 [15]
- 16 - 30 [138]
- 1 - 15 [1994]
- 0 - 0 [487]
- -15 - -1 [3103]
- -30 - -16 [273]
- -31以下 [9]

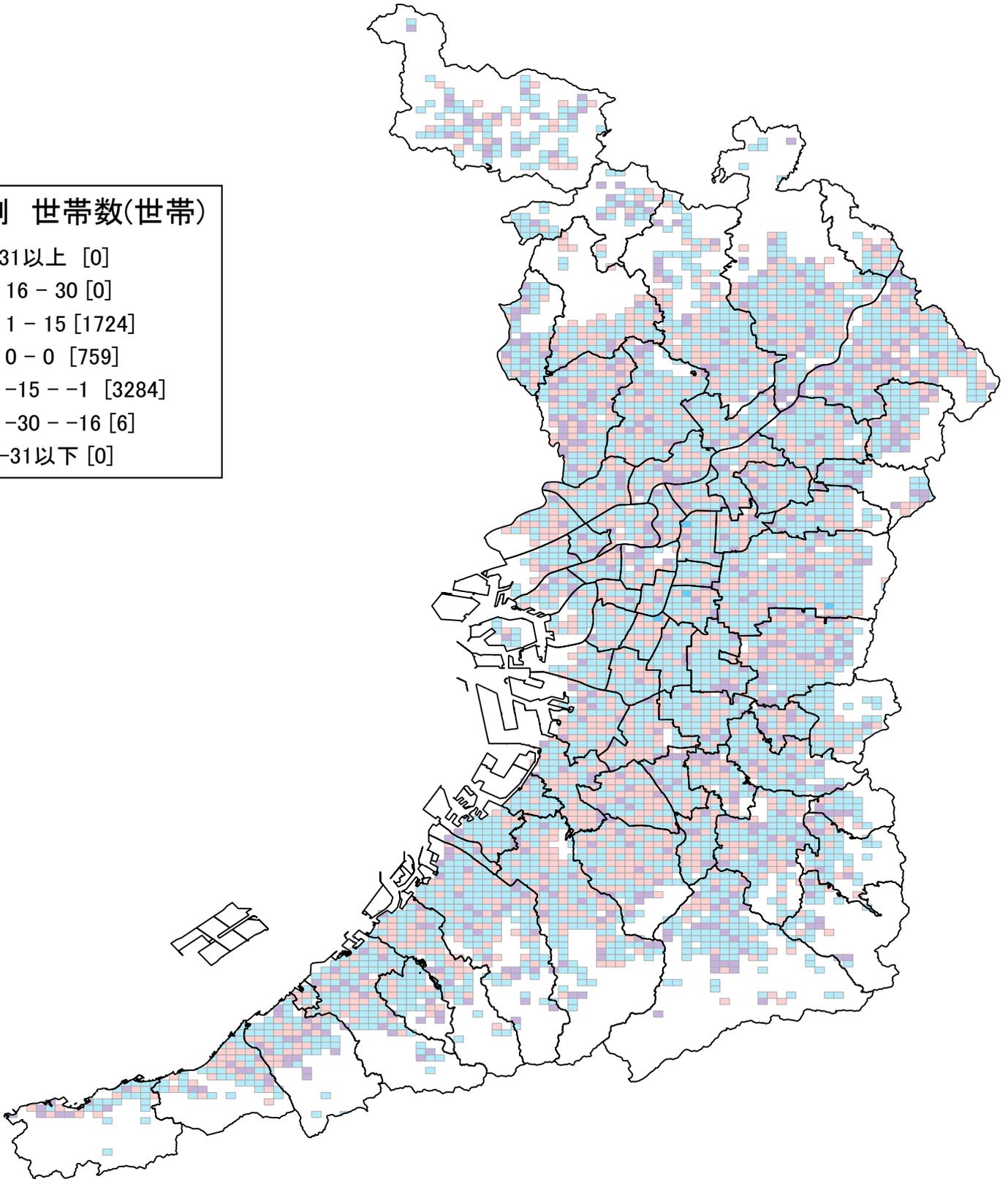


上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

第60地図 6人世帯数:増減

凡例 世帯数(世帯)

- 31以上 [0]
- 16 - 30 [0]
- 1 - 15 [1724]
- 0 - 0 [759]
- 15 - -1 [3284]
- 30 - -16 [6]
- 31以下 [0]

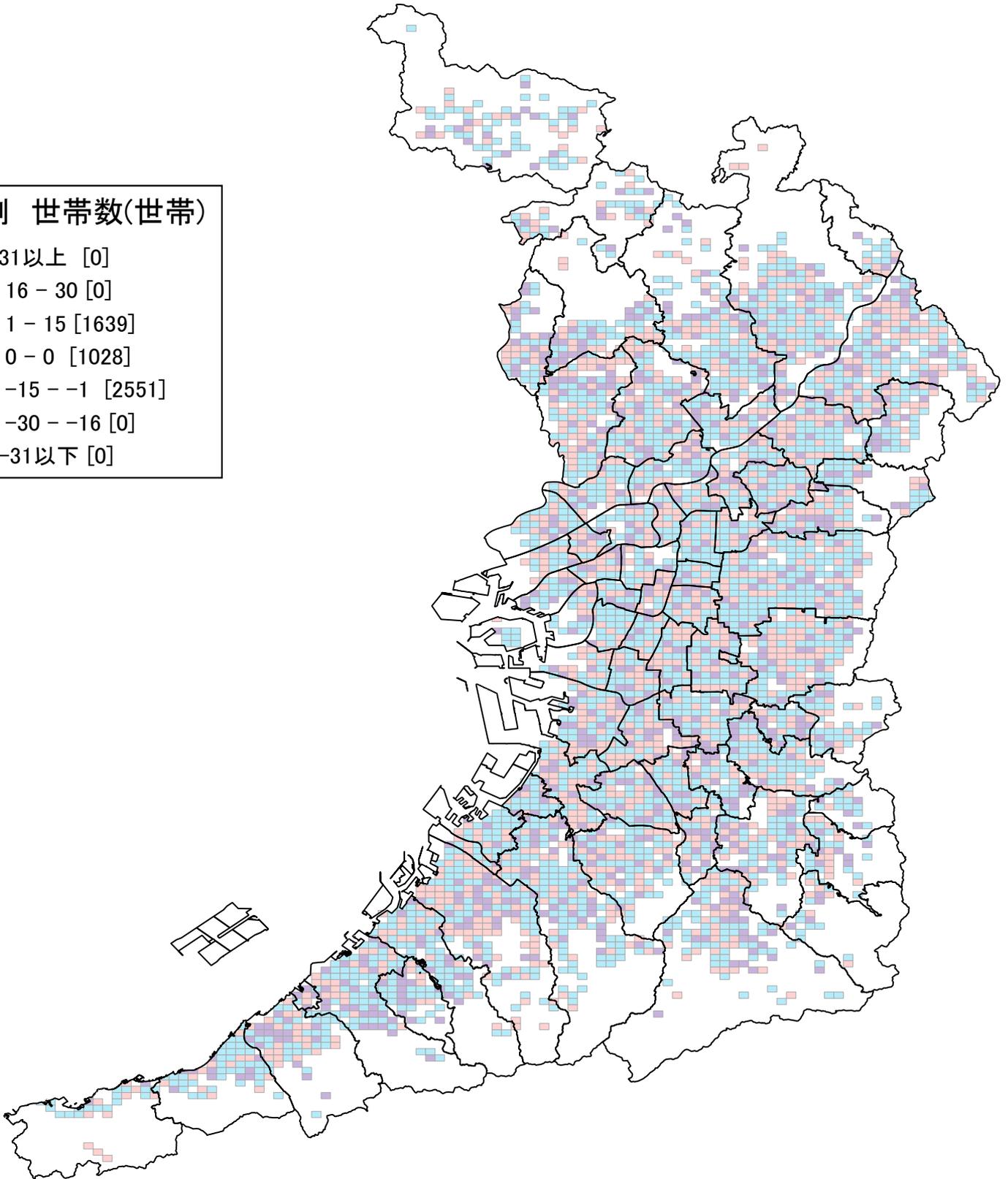


第61地図

7人以上世帯数：増減

凡例 世帯数(世帯)

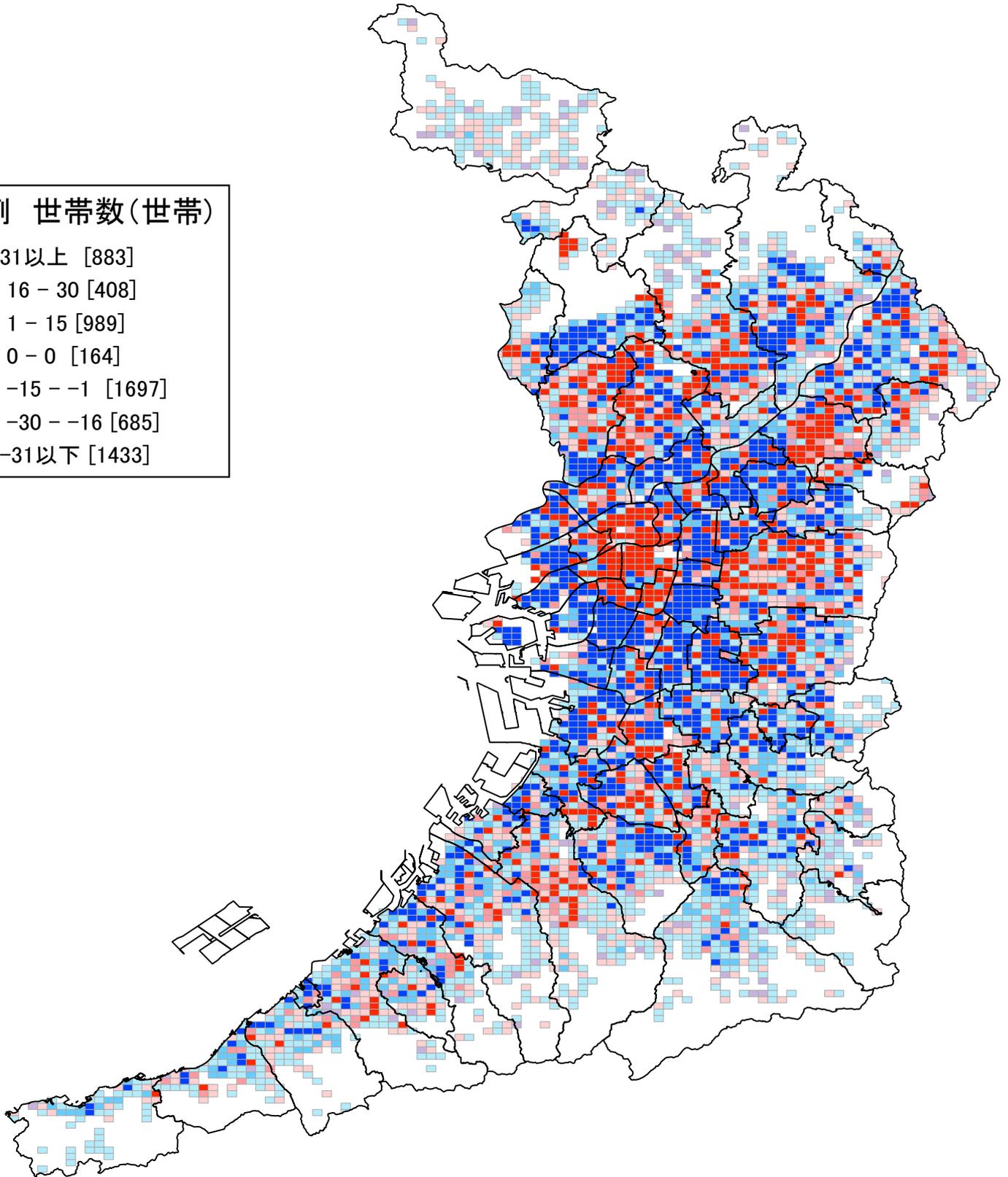
- 31以上 [0]
- 16 - 30 [0]
- 1 - 15 [1639]
- 0 - 0 [1028]
- 15 - -1 [2551]
- 30 - -16 [0]
- 31以下 [0]



第62地図 親族のみの世帯数：増減

凡例 世帯数(世帯)

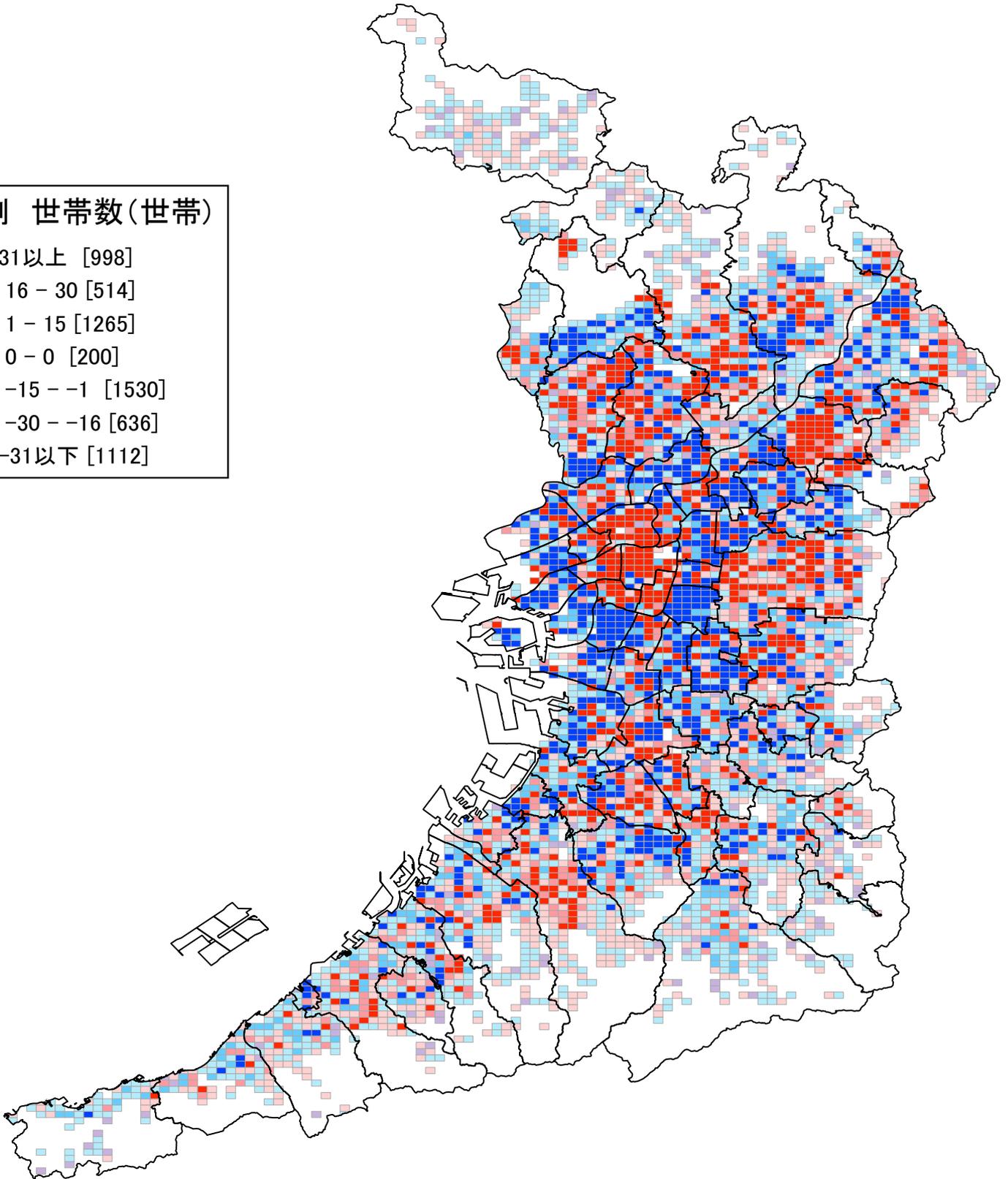
- 31以上 [883]
- 16 - 30 [408]
- 1 - 15 [989]
- 0 - 0 [164]
- 15 - -1 [1697]
- 30 - -16 [685]
- 31以下 [1433]



第63地図 核家族世帯数：増減

凡例 世帯数(世帯)

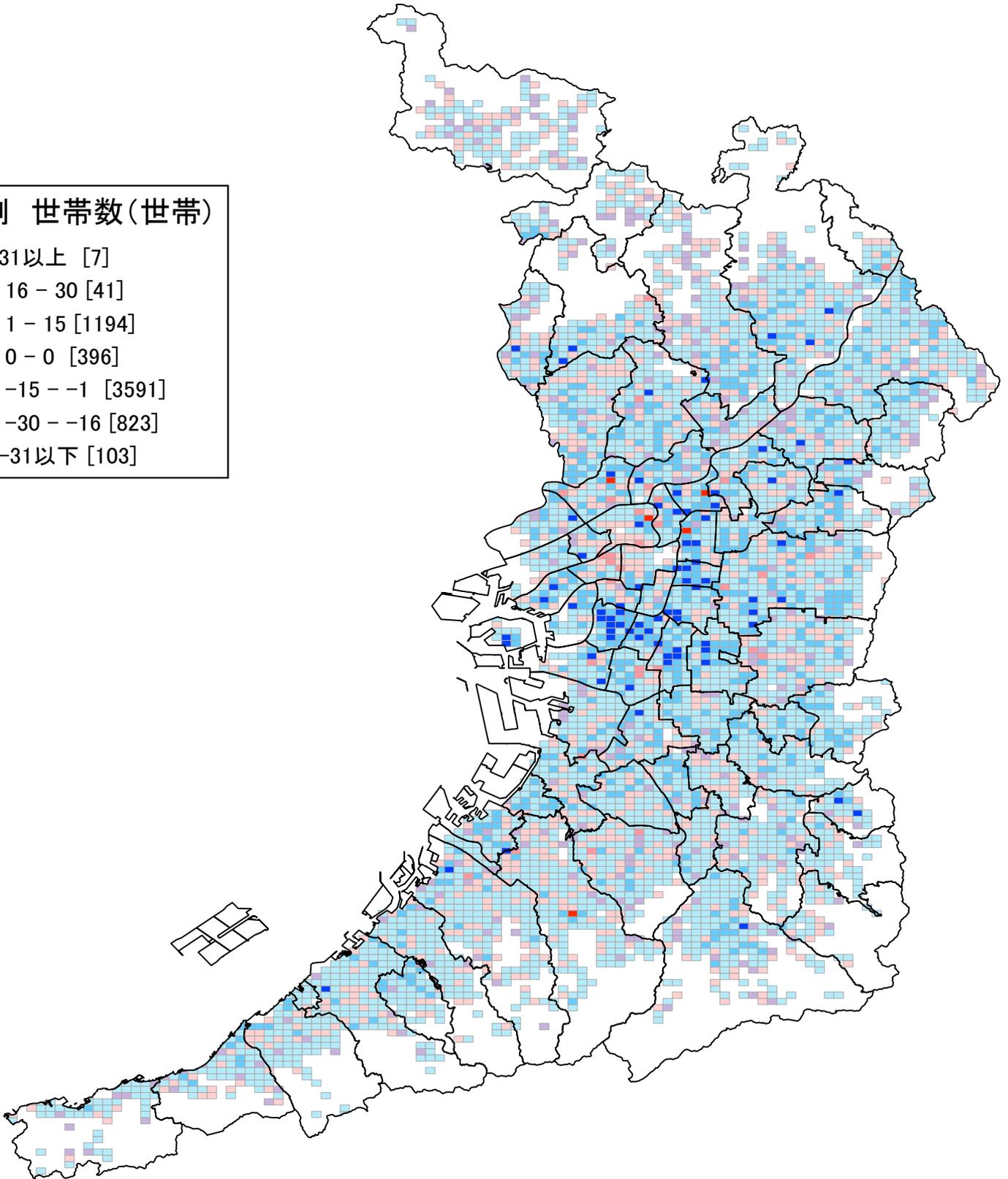
- 31以上 [998]
- 16 - 30 [514]
- 1 - 15 [1265]
- 0 - 0 [200]
- -15 - -1 [1530]
- -30 - -16 [636]
- -31以下 [1112]



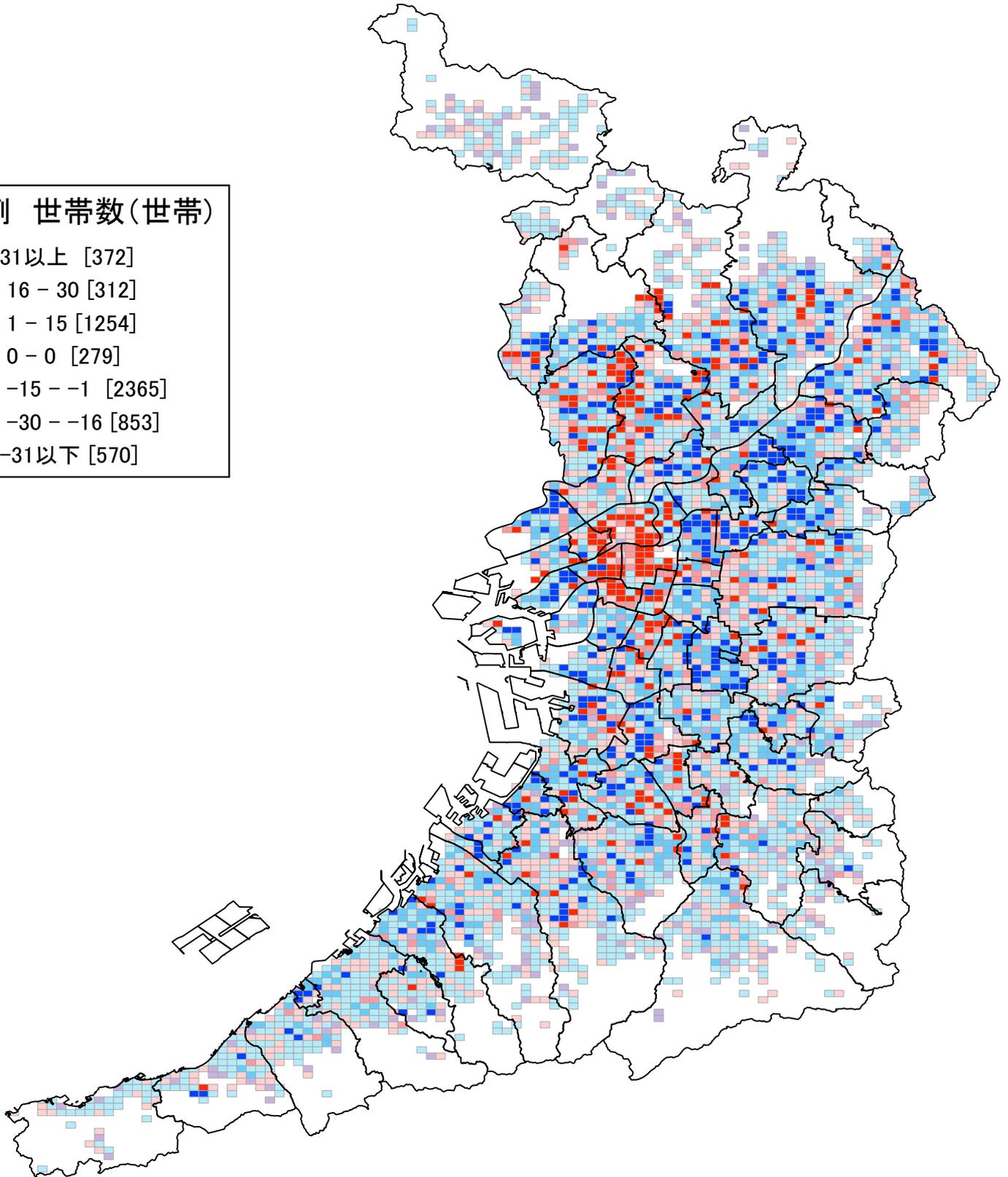
第64地図 核家族以外の世帯数：増減

凡例 世帯数(世帯)

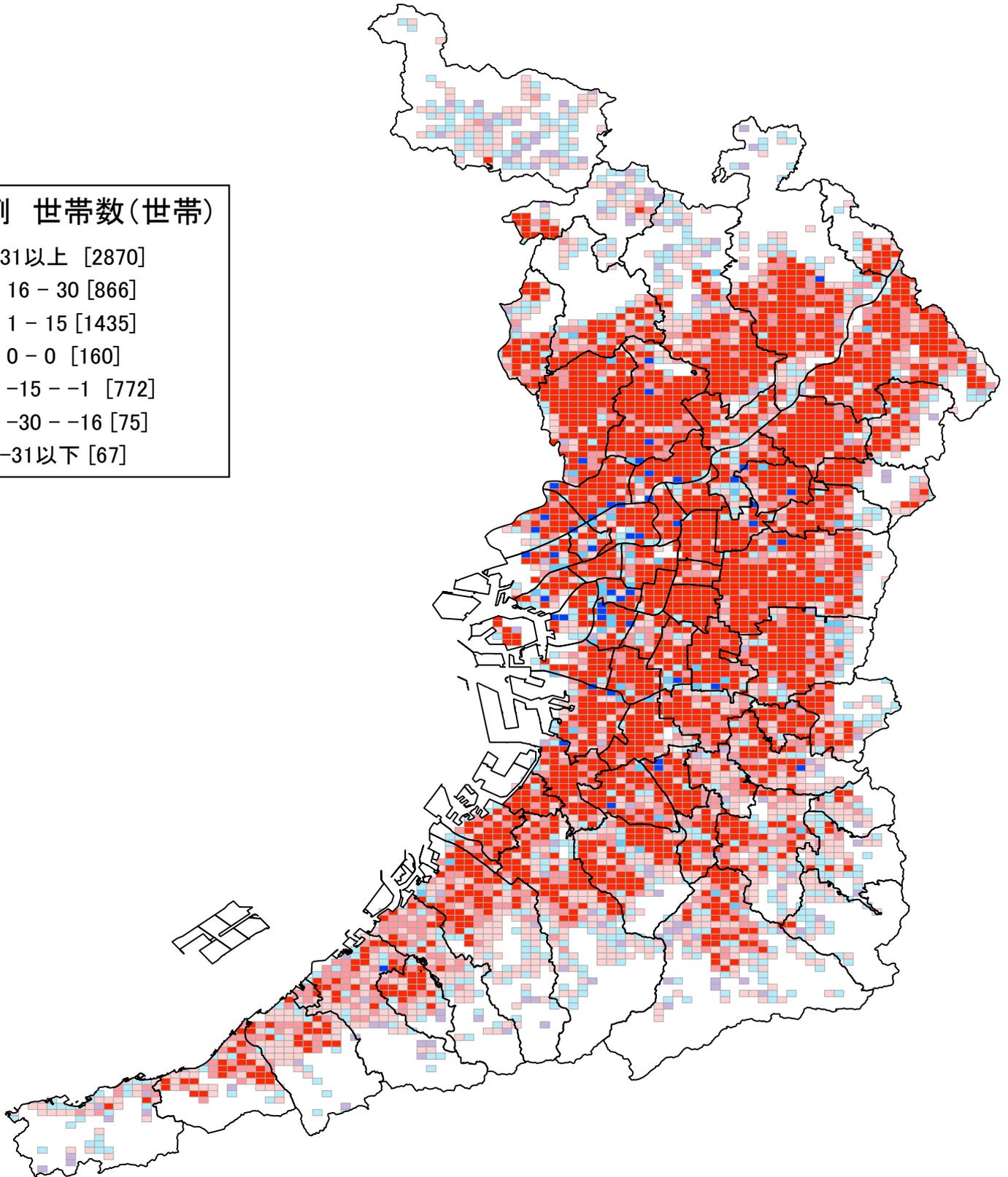
■	31以上 [7]
■	16 - 30 [41]
■	1 - 15 [1194]
■	0 - 0 [396]
■	-15 - -1 [3591]
■	-30 - -16 [823]
■	-31以下 [103]



第65地図 6歳未満世帯員のいる世帯数：増減



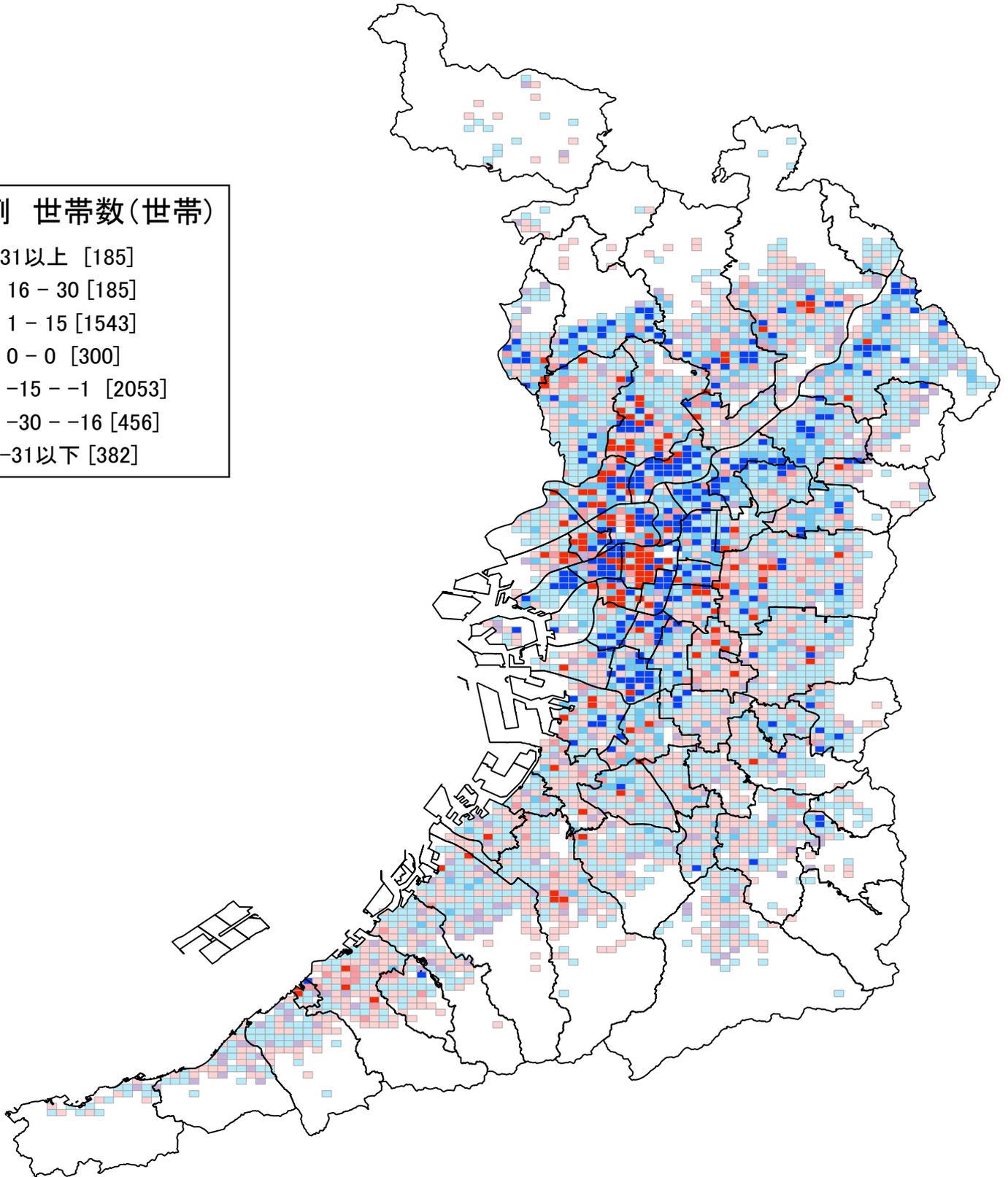
第66地図 65歳以上世帯員のいる世帯数：増減



上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

第67地図

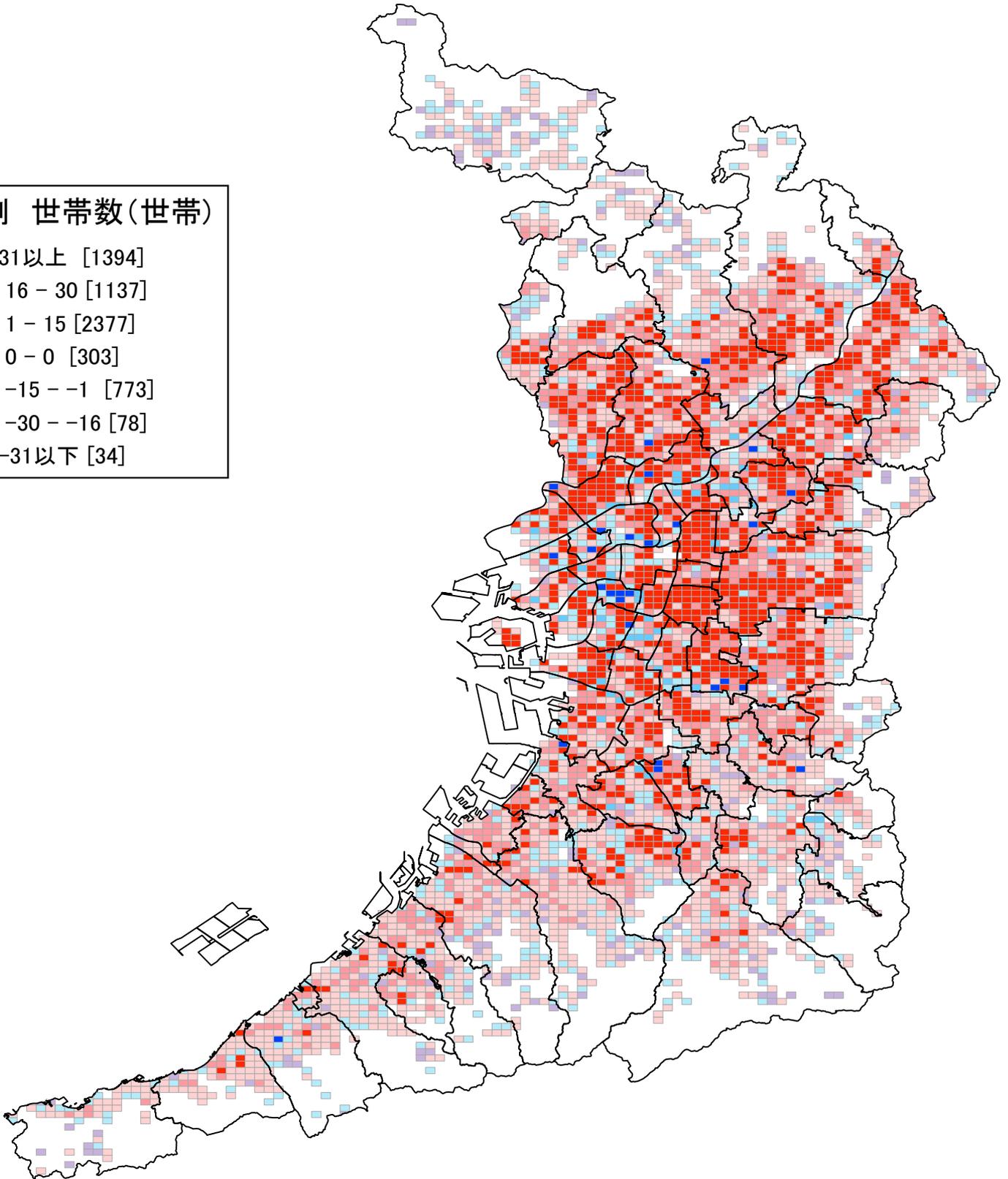
世帯主の年齢が20～29歳の1人世帯数：増減



第68地図 高齢単身世帯数：増減

凡例 世帯数(世帯)

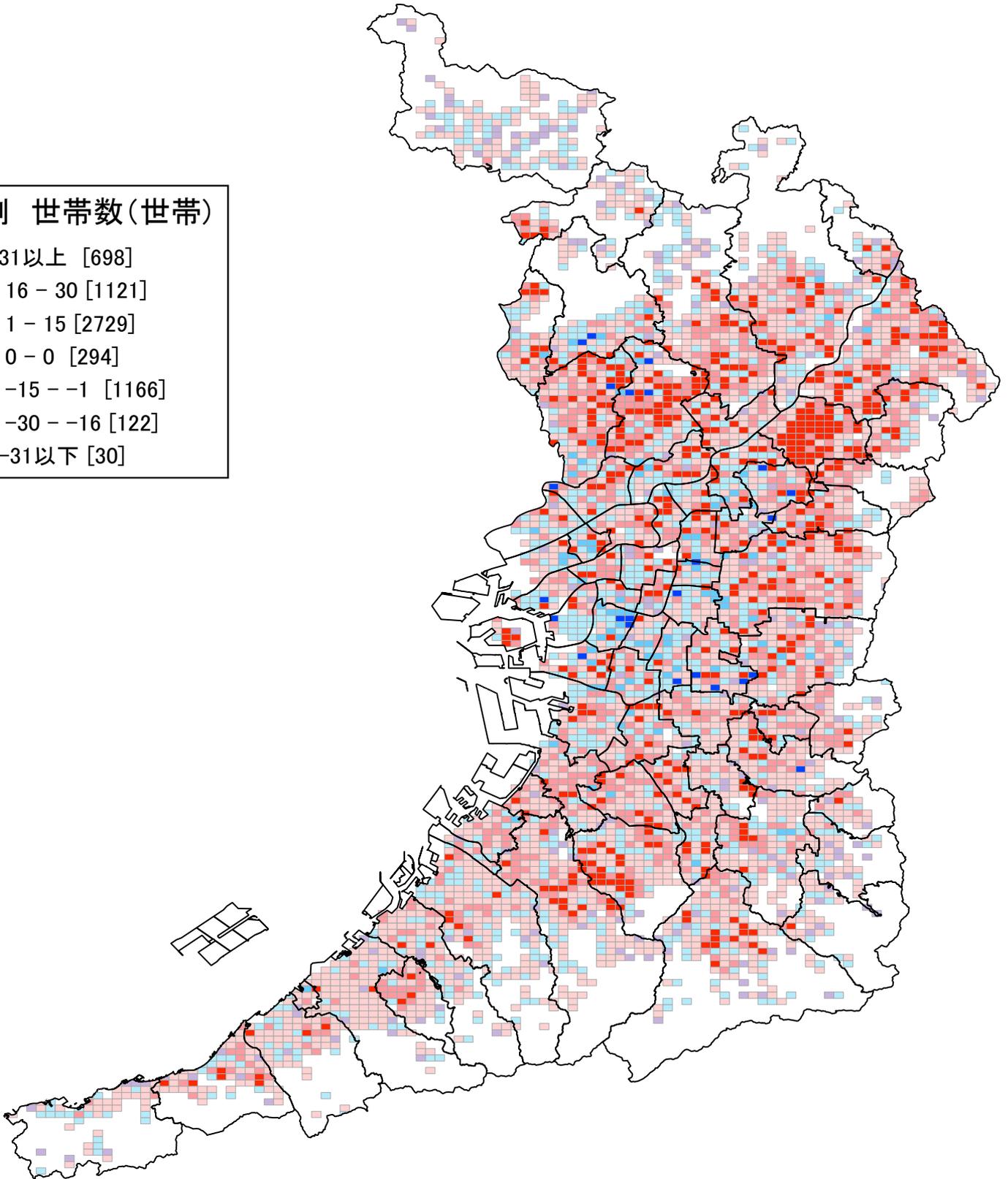
- 31以上 [1394]
- 16 - 30 [1137]
- 1 - 15 [2377]
- 0 - 0 [303]
- 15 - -1 [773]
- 30 - -16 [78]
- 31以下 [34]



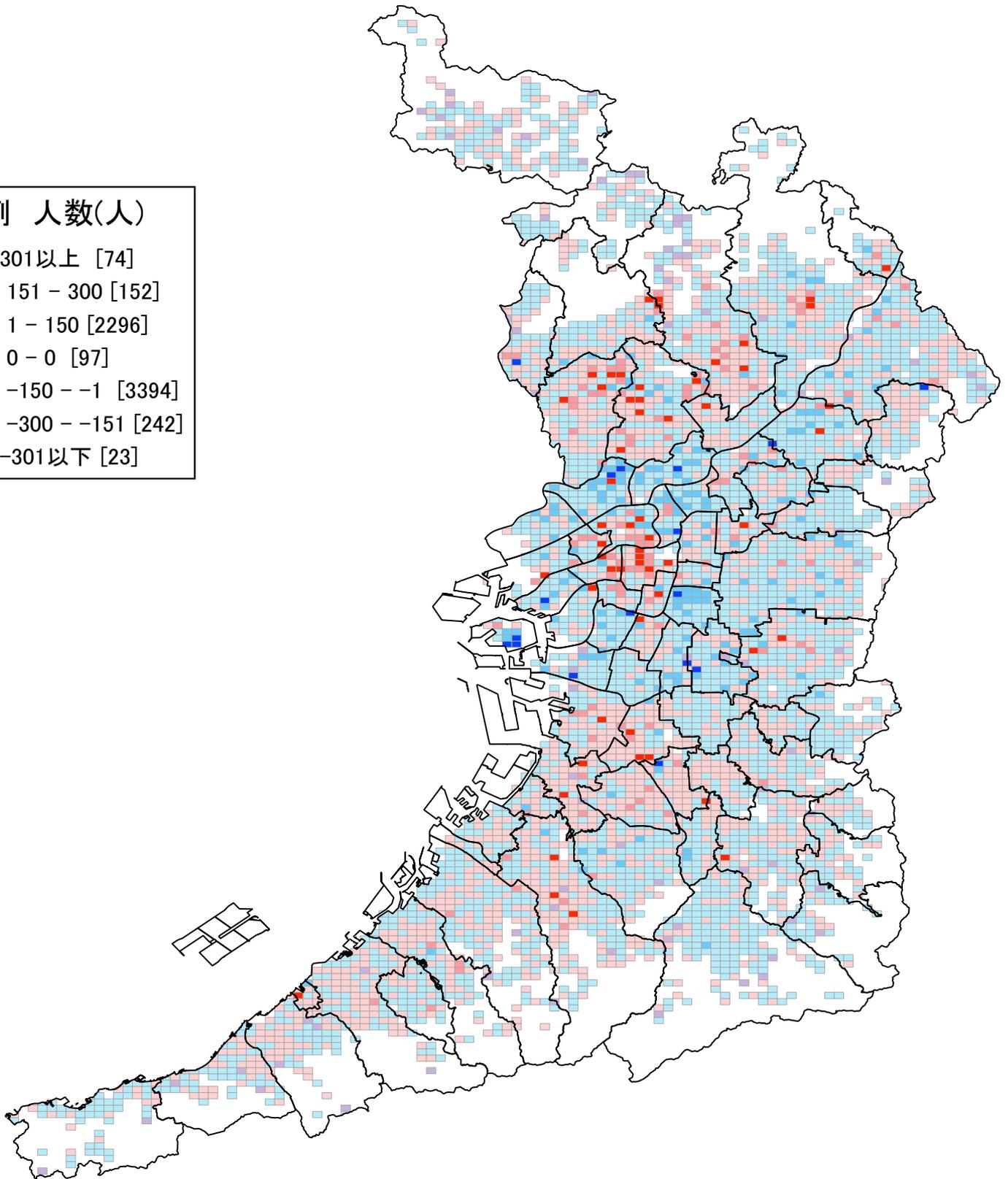
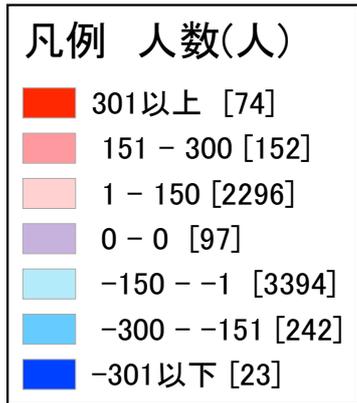
第69地図 高齢夫婦世帯数：増減

凡例 世帯数(世帯)

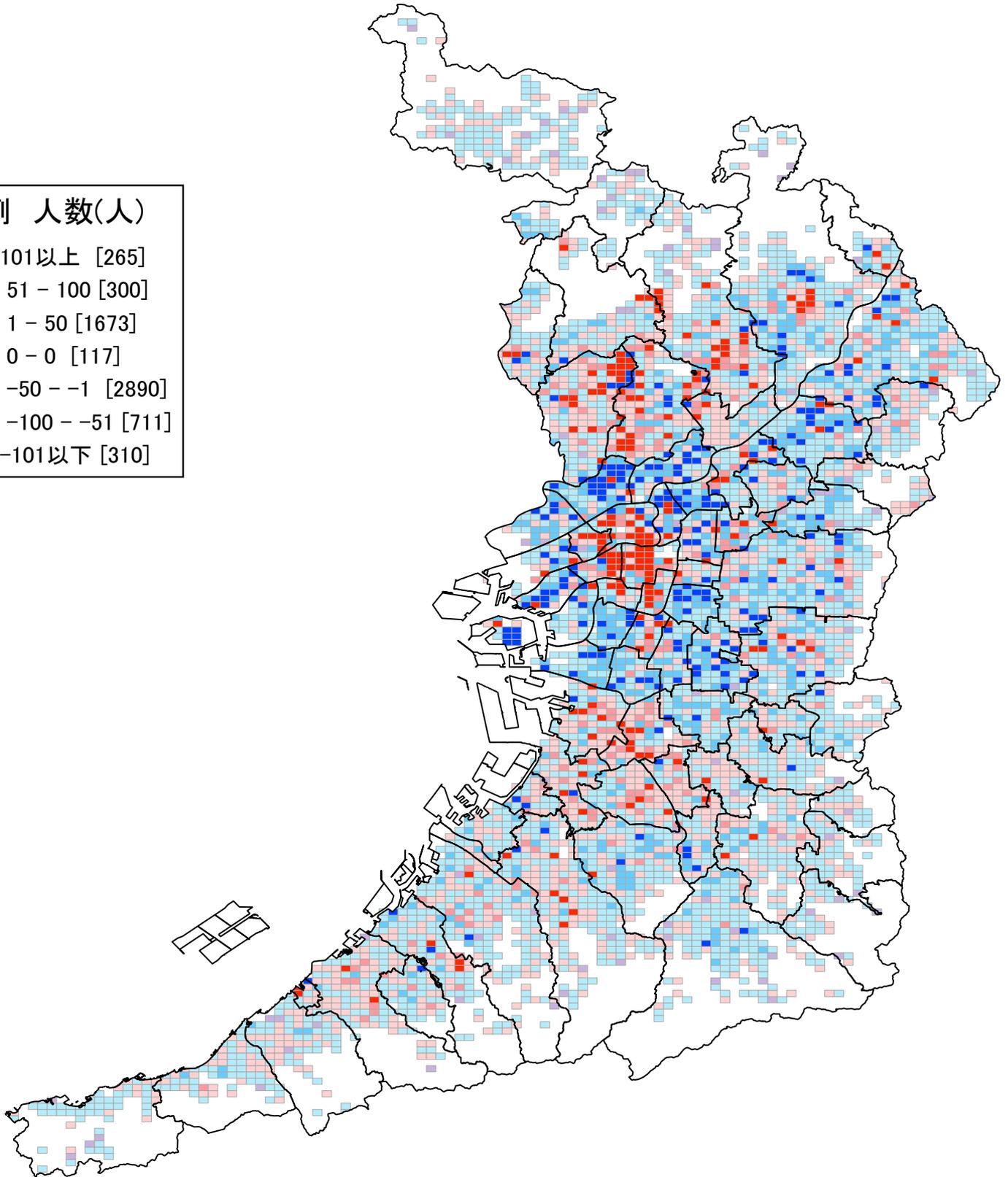
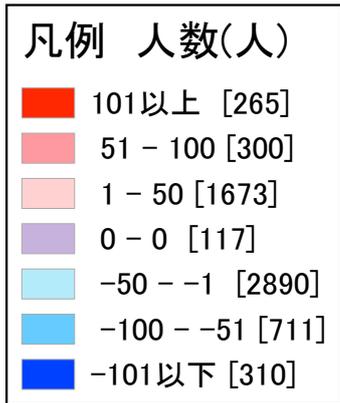
- 31以上 [698]
- 16 - 30 [1121]
- 1 - 15 [2729]
- 0 - 0 [294]
- -15 - -1 [1166]
- -30 - -16 [122]
- -31以下 [30]



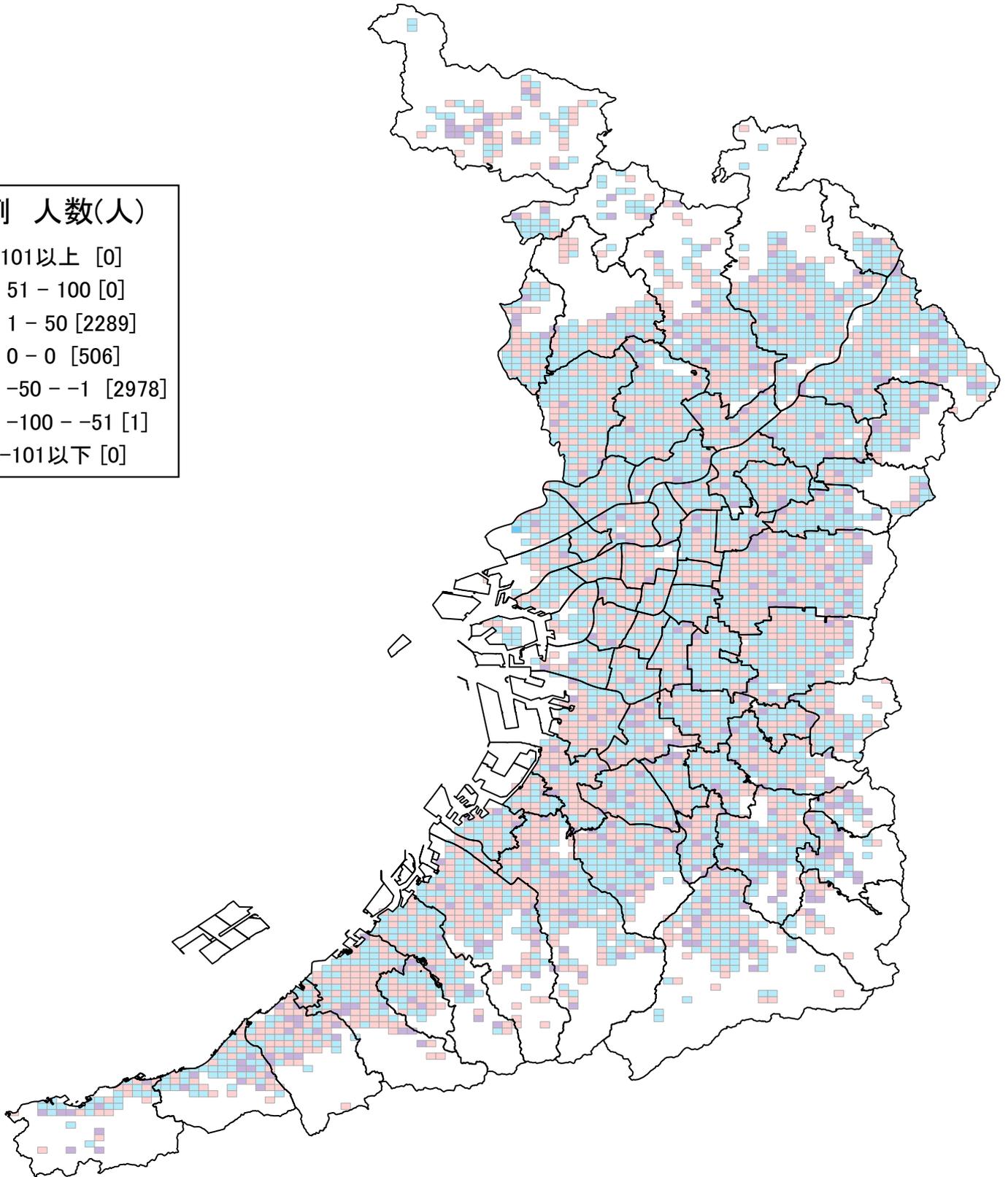
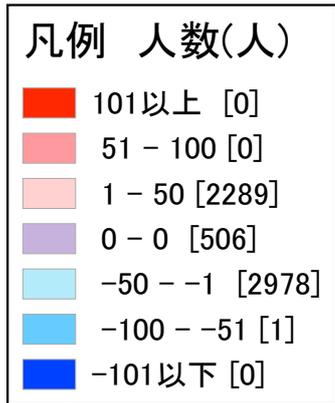
第70地図 雇用者(役員を含む)(15歳以上) : 増減



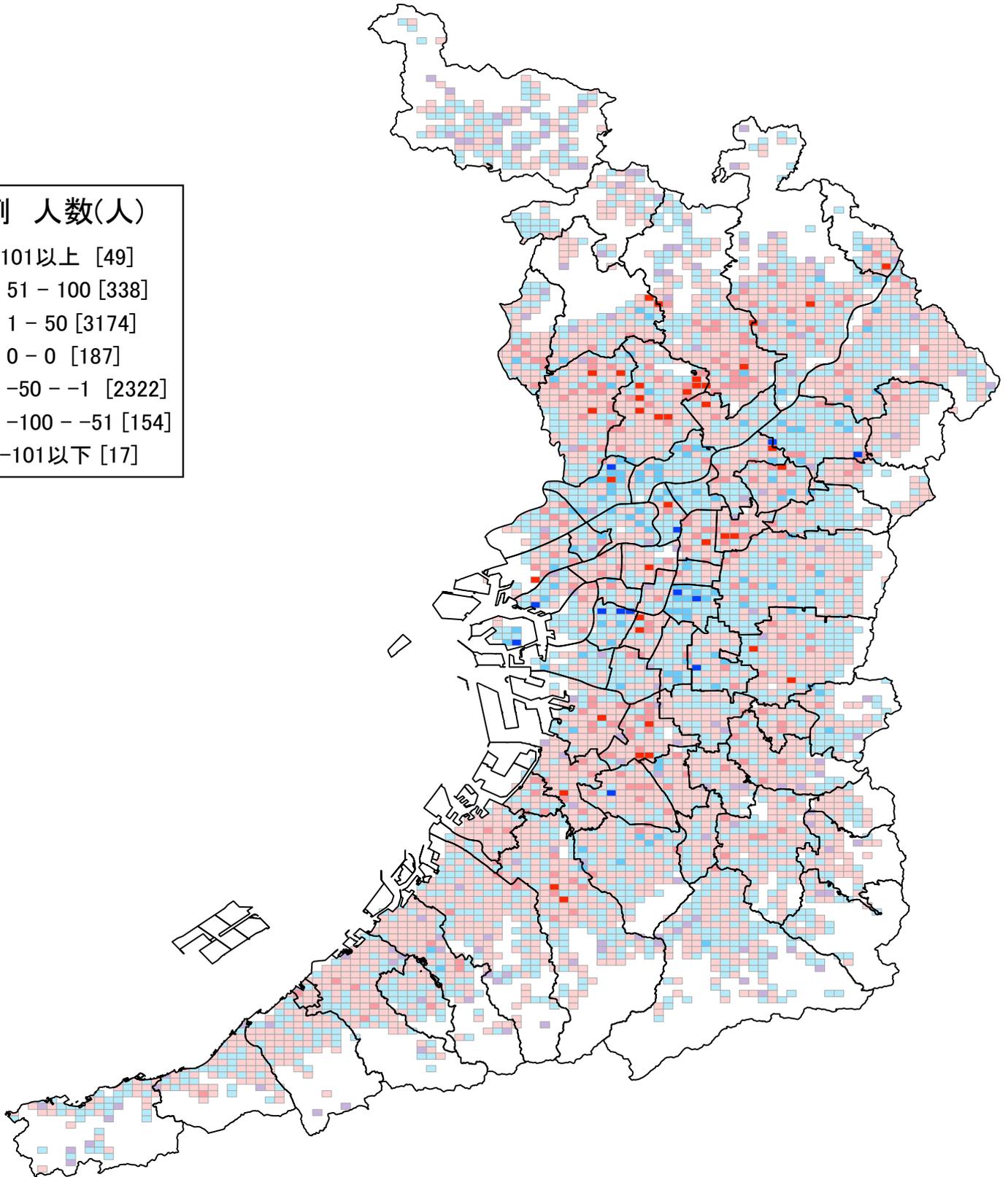
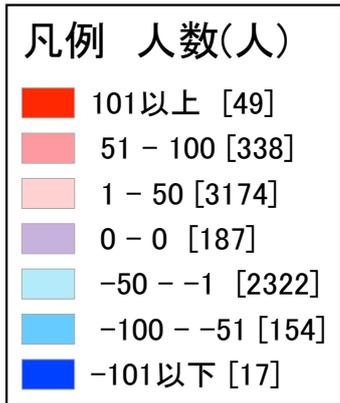
第71地図 正規の職員・従業員(15歳以上) : 増減



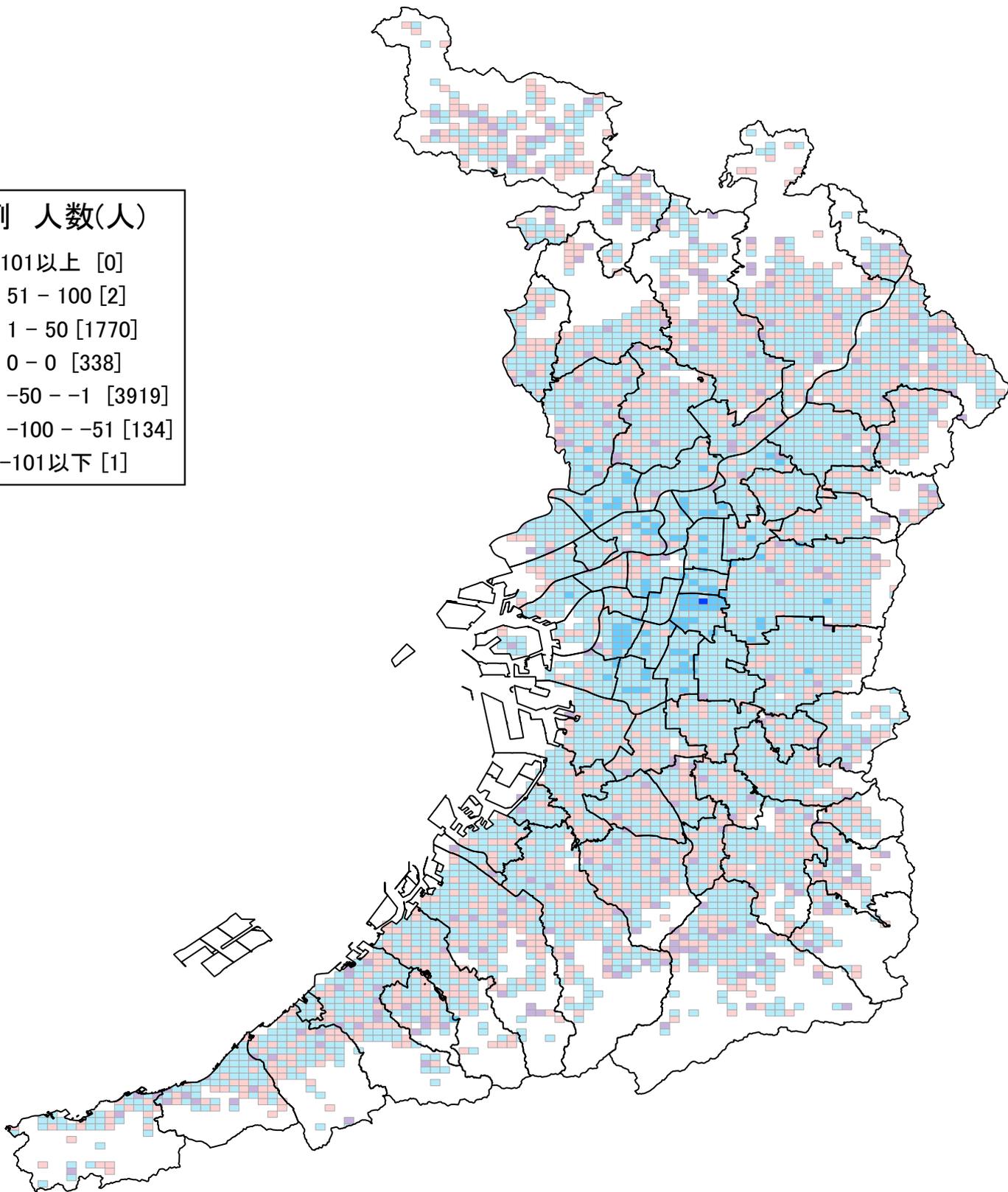
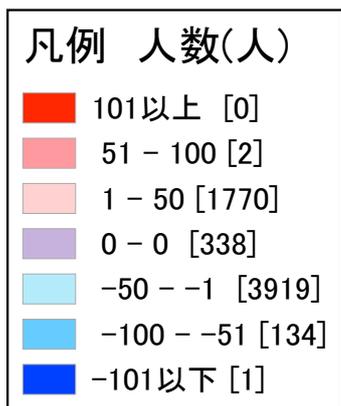
第72地図 労働者派遣事業所の派遣社員(15歳以上):増減



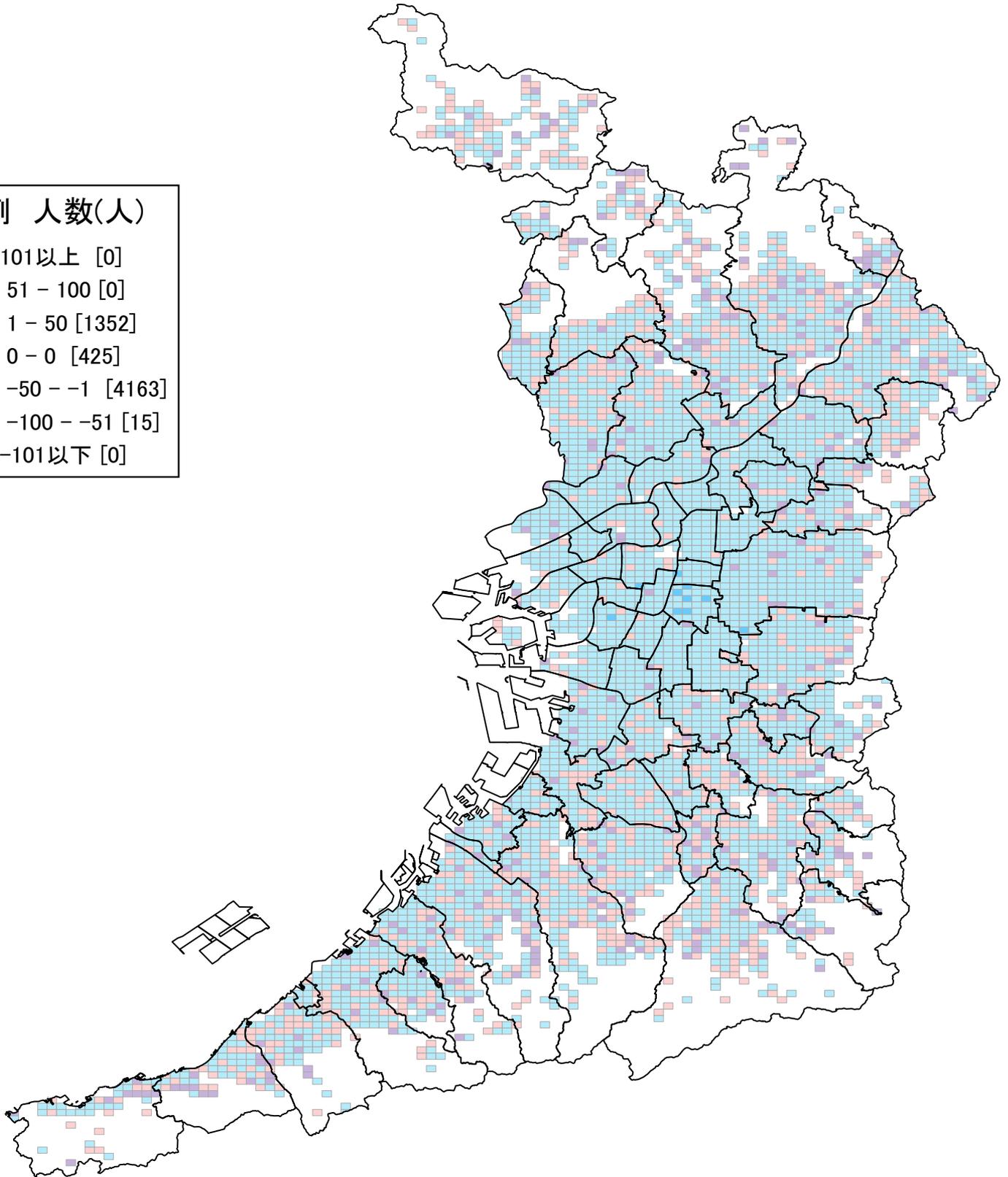
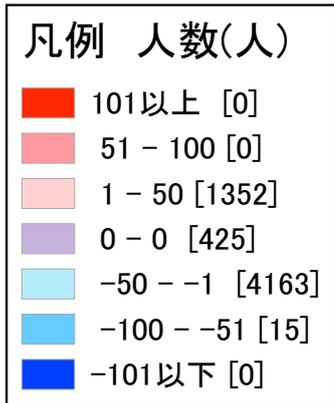
第73地図 パート・アルバイト・その他(15歳以上):増減



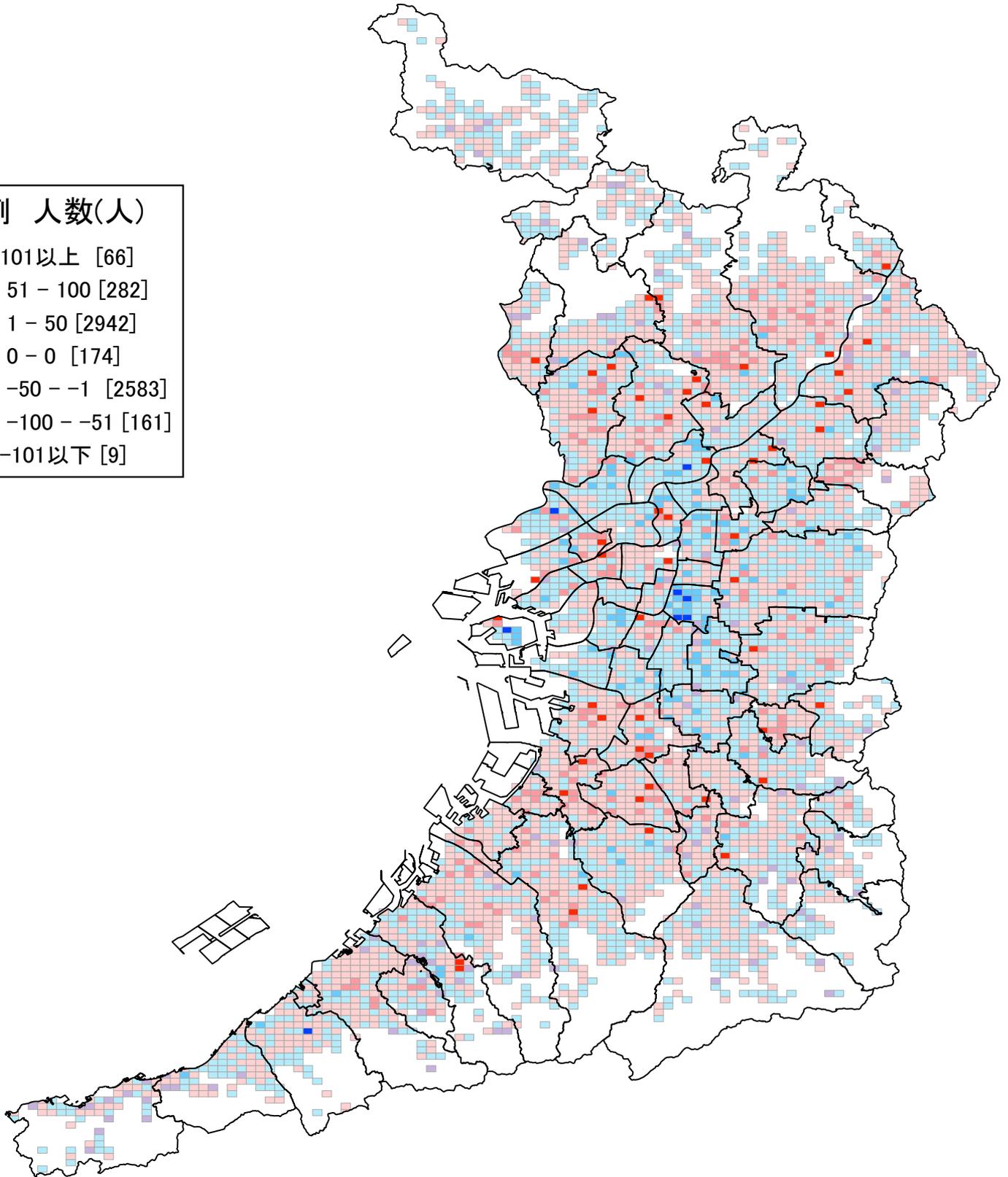
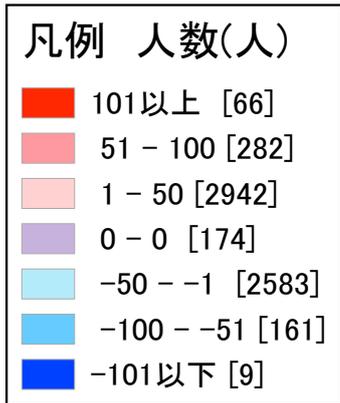
第74地図 自営業主(家庭内職者を含む)(15歳以上):増減



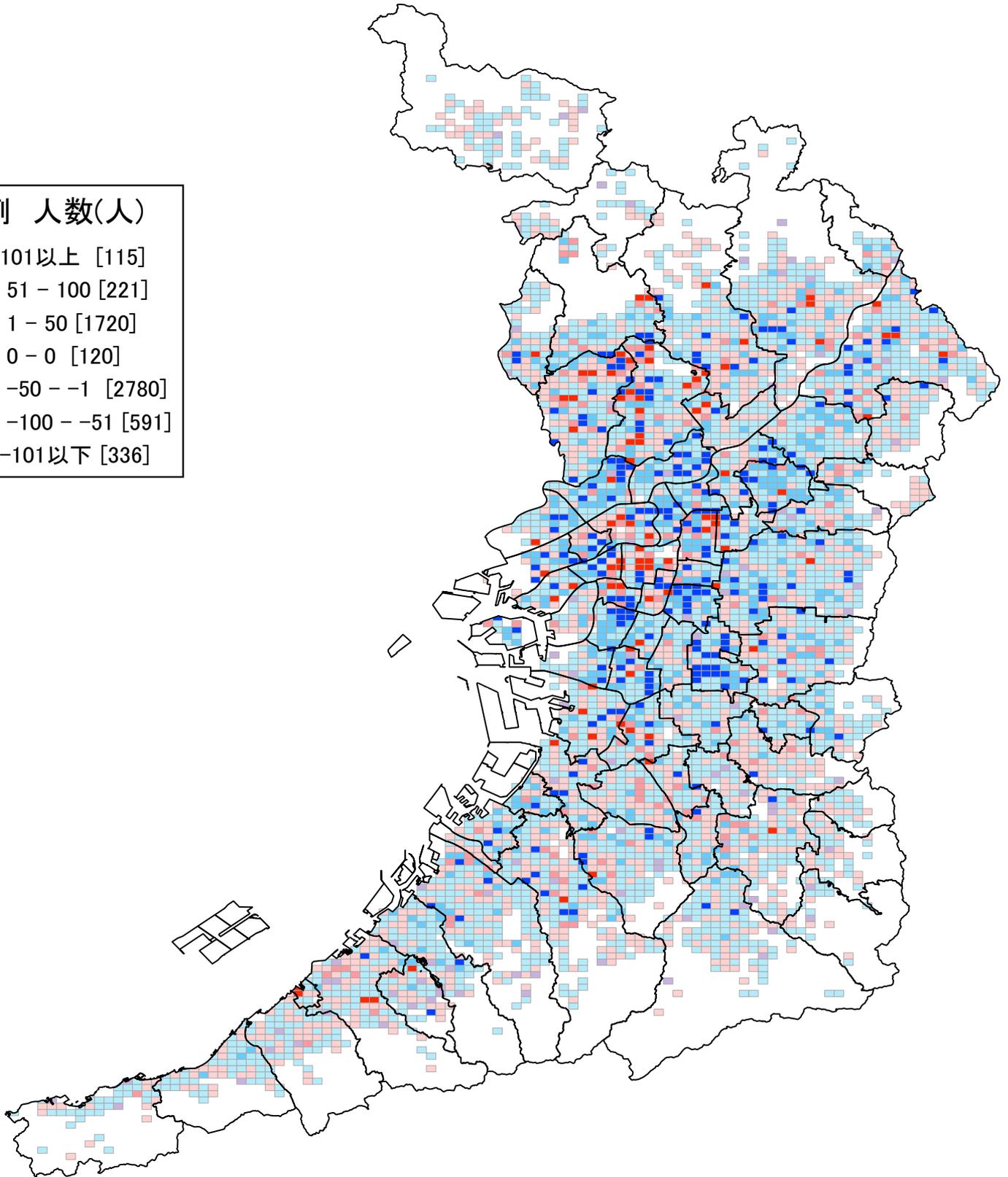
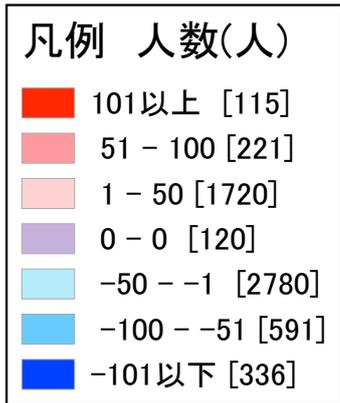
第75地図 家族従業者(15歳以上):増減



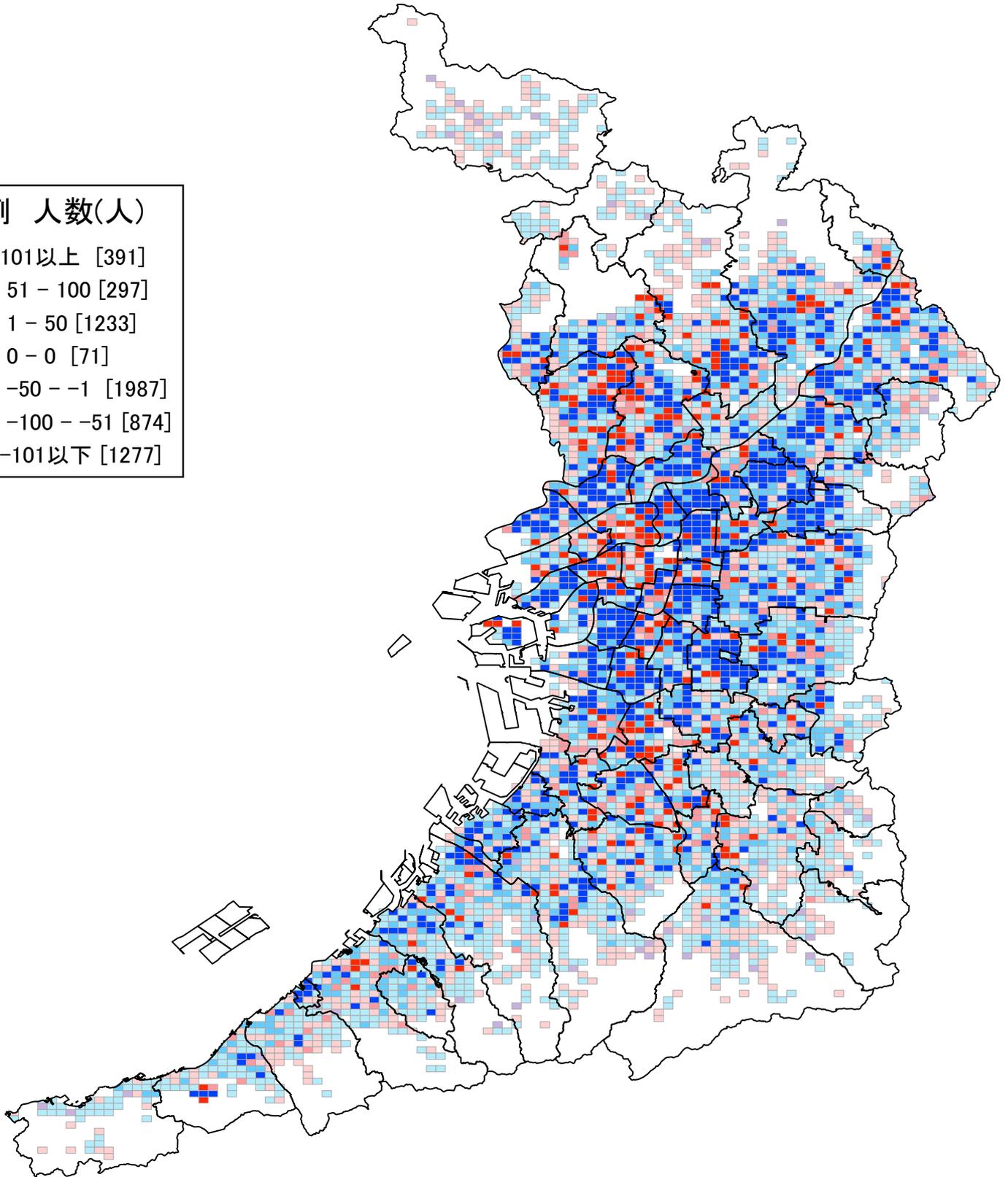
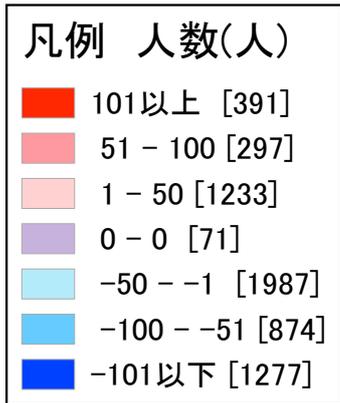
第76地図 居住期間別人口 出生時から:増減



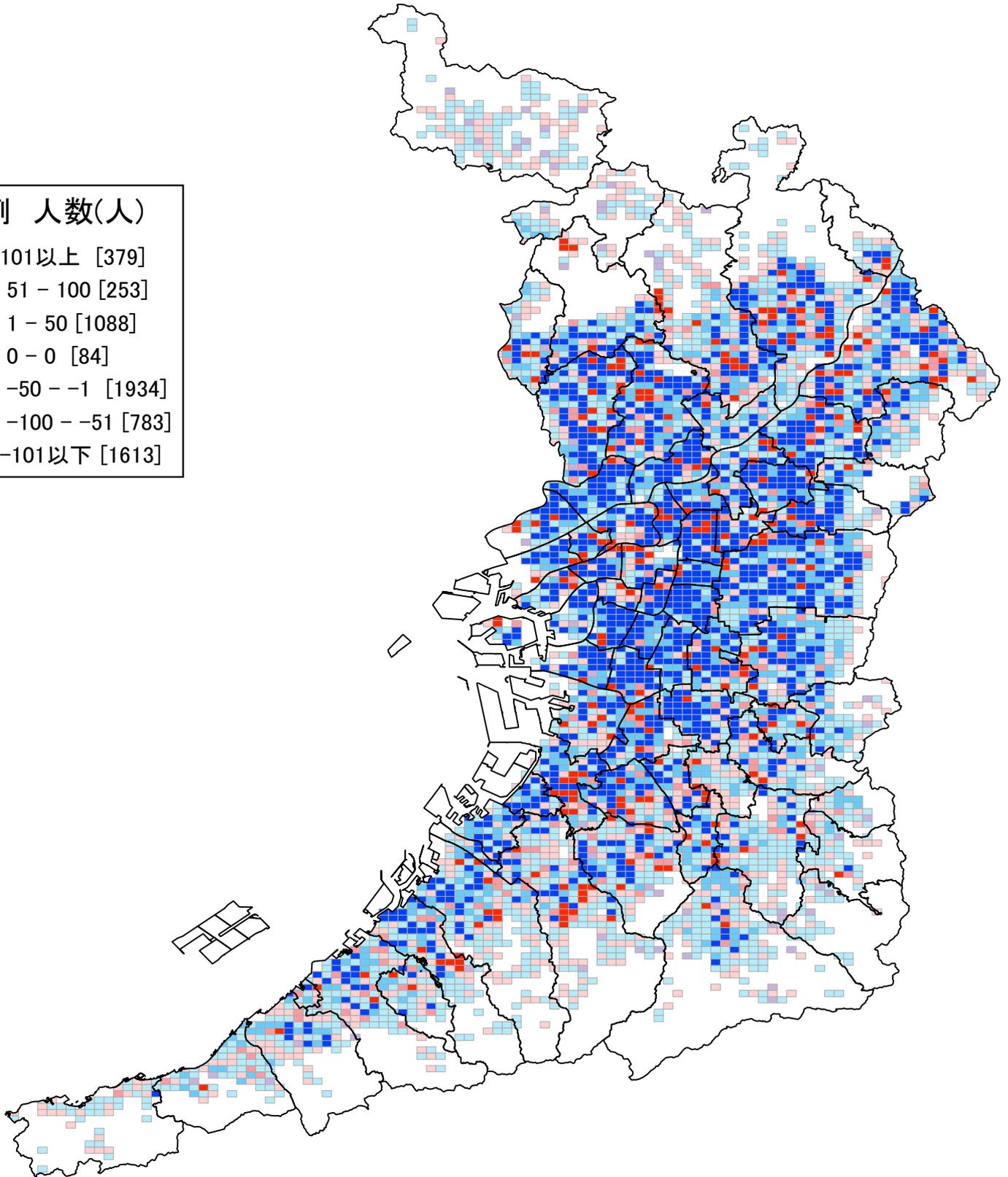
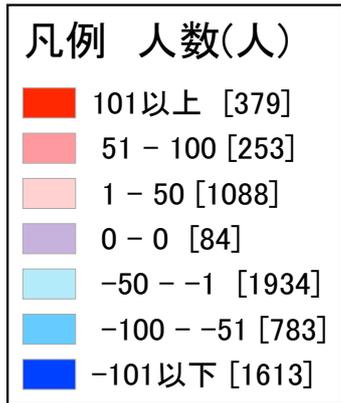
第77地図 居住期間別人口 1年未満:増減



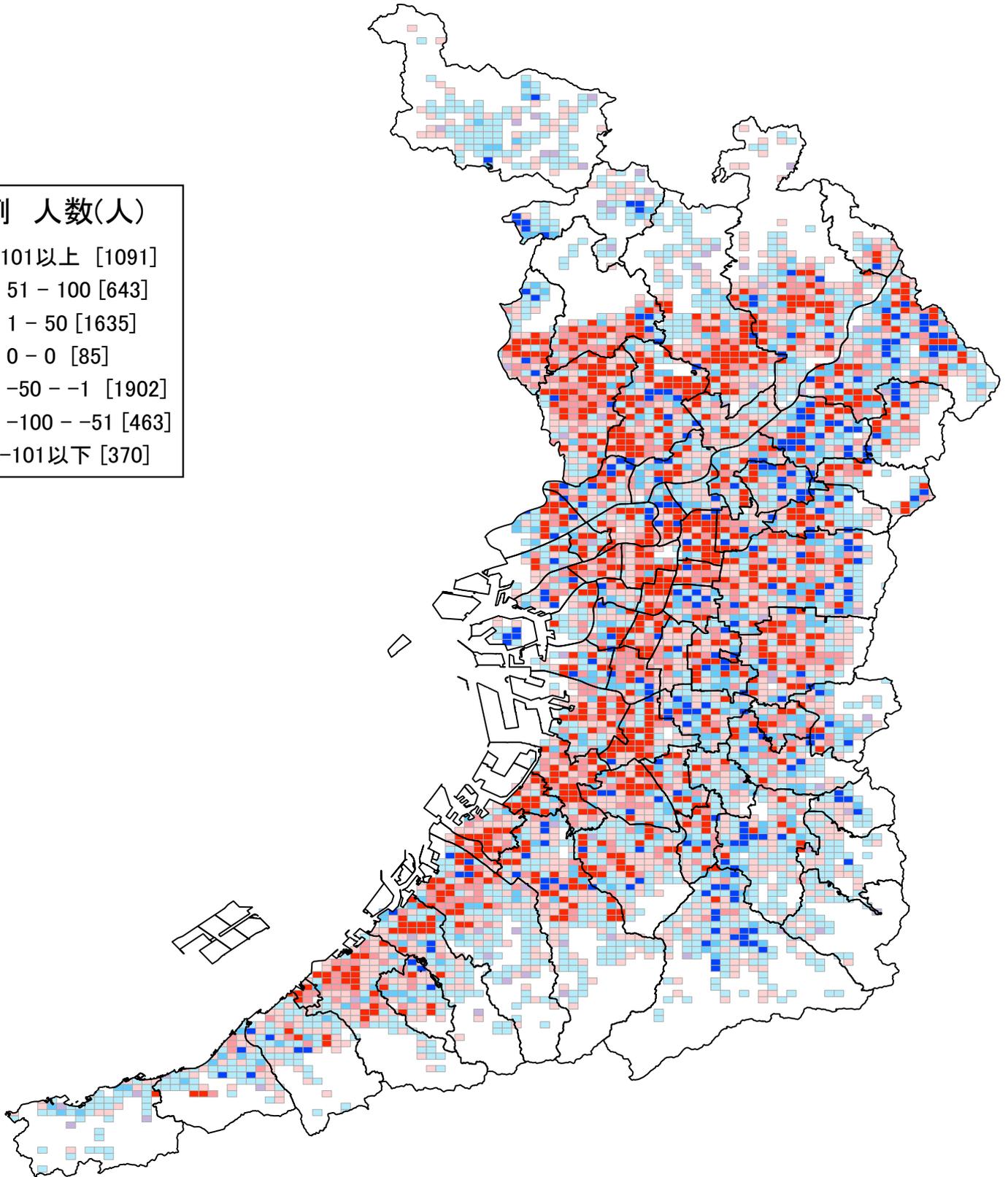
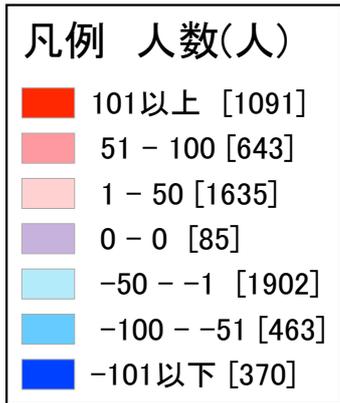
第78地図 居住期間別人口 1～5年未満：増減



第79地図 居住期間別人口 5～10年未満：増減

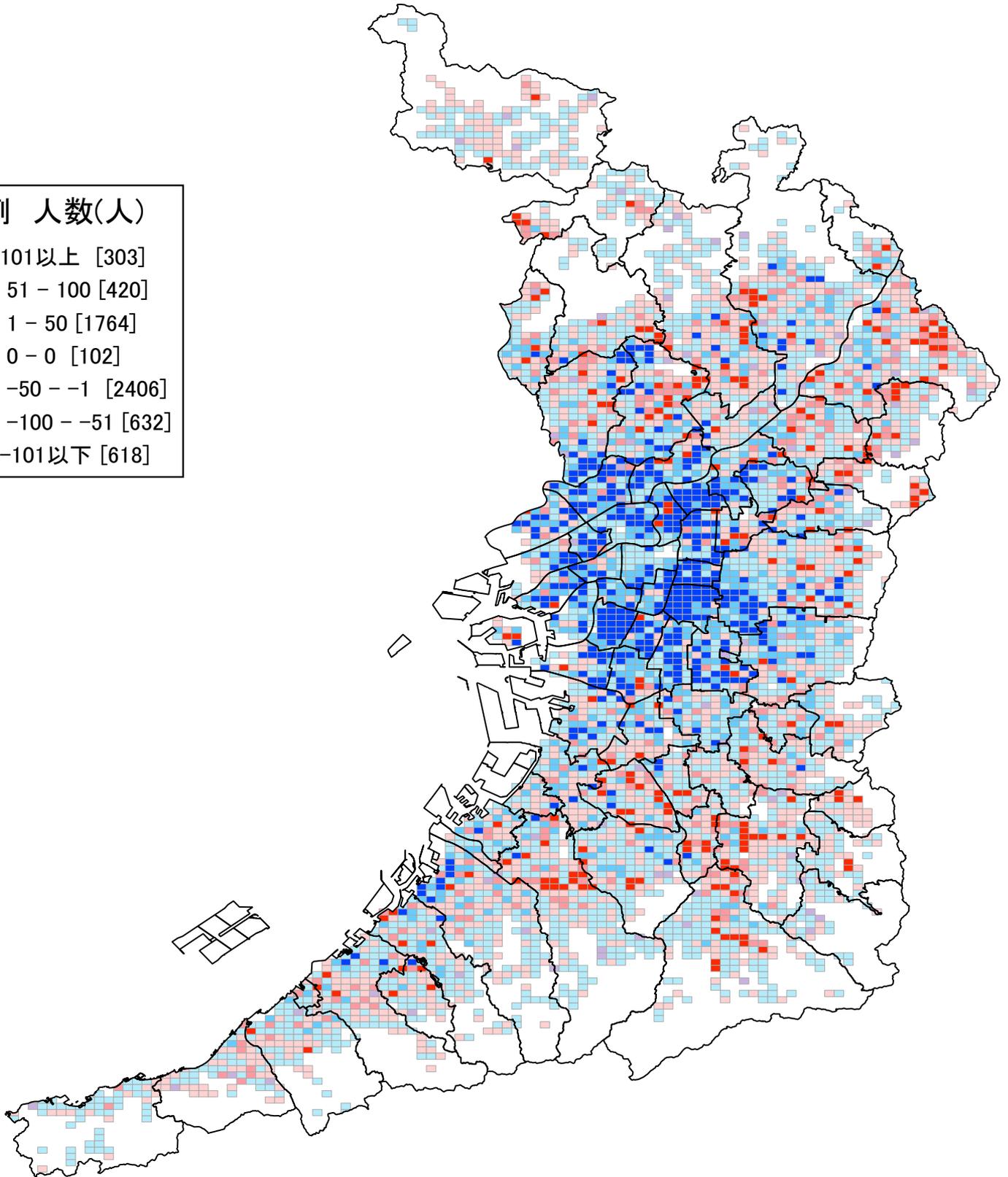
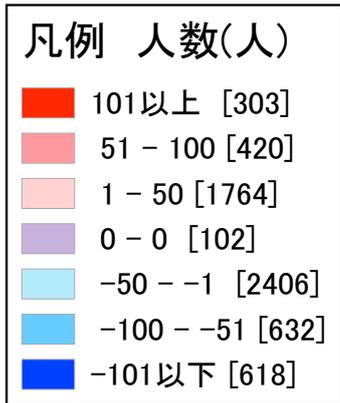


第80地図 居住期間別人口 10～20年未満：増減



上記地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区画データ）」及び総務省統計局「平成27年-世界測地系500mメッシュ境界データ」をもとに、大阪府が編集・加工。

第81地図 居住期間別人口 20年以上：増減



Ⅲ 地域メッシュ統計の仕組み

1. 地域メッシュの区分方法

(1) 標準地域メッシュ及び標準地域メッシュ・コードの体系

昭和48年7月12日行政管理庁告示143号では、「標準地域メッシュ」、「分割地域メッシュ」及び「統合地域メッシュ」の3種類を定め、各地域メッシュの区分方法とメッシュ・コードの表示方法を規定しています。

標準地域メッシュは、図1に示す第1次地域区画を基に区画されます。第1次地域区画は、緯度を40分間隔、経度を1度間隔に区分した区画です。これを縦横に8等分した区画が第2次地域区画、さらにこれを縦横に10等分した区画が標準地域メッシュ（第3次地域区画）となります。

分割地域メッシュは、標準地域メッシュの辺の長さを2分の1、4分の1又は8分の1に等分した区画であり、統合地域メッシュは、標準地域メッシュの辺の長さを2倍、5倍又は10倍した区画です。

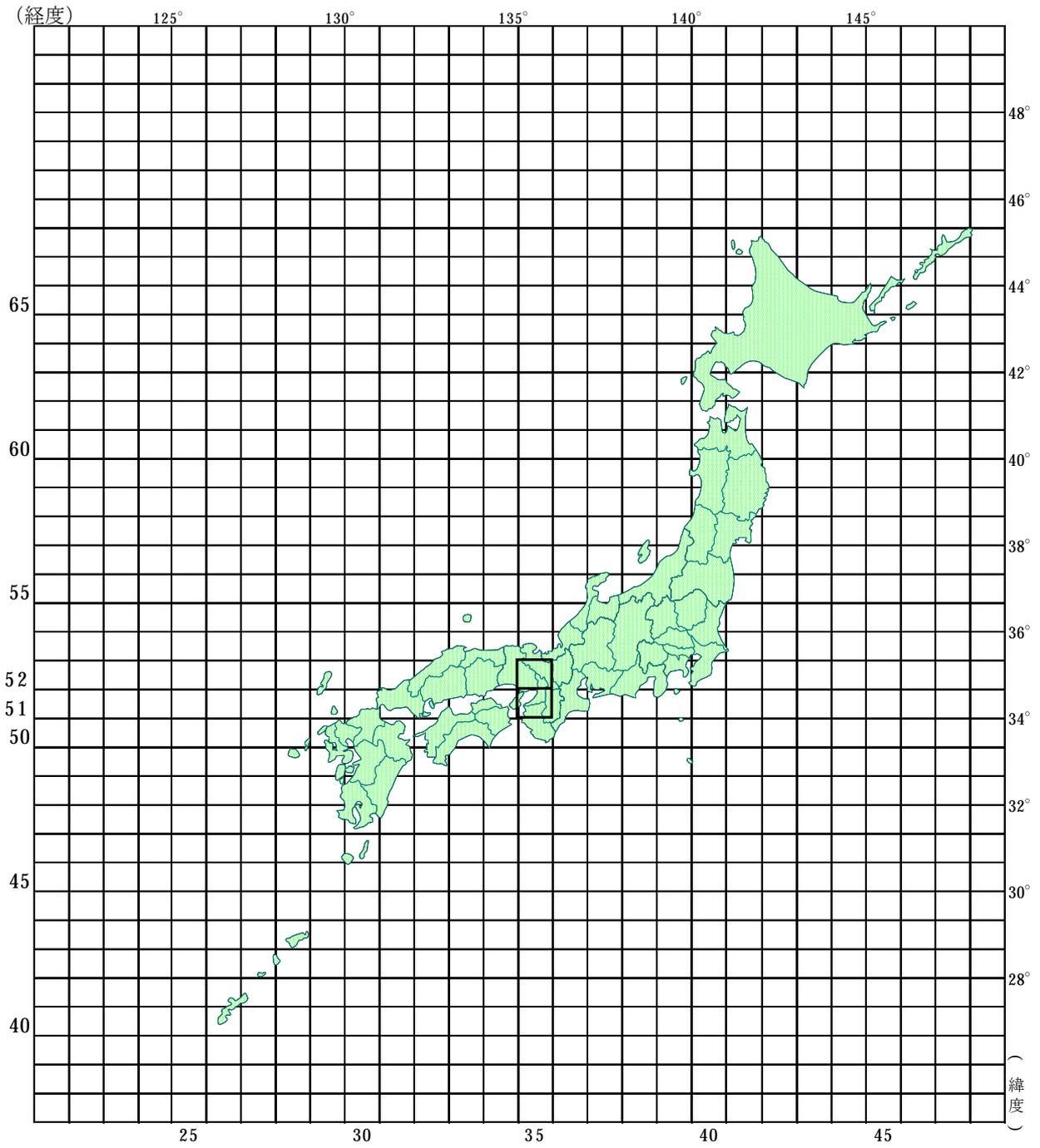
各地域メッシュの体系と地域メッシュ・コードの関係は、表1のとおりです。

表1 標準地域メッシュの体系と地域メッシュ・コードの関係

地 域 区 画	標 準 地 域 メ ッ シ ュ	地域メッシュ・コードの例									
		桁 数									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
第1次地域区画		5	1	3	5						
第2次地域区画	統合地域メッシュ	10倍地域メッシュ	5	1	3	5	2	3			
5倍地域メッシュ		5	1	3	5	2	3	4			
2倍地域メッシュ		5	1	3	5	2	3	6	4	5	
第3次地域区画	標準地域メッシュ	5	1	3	5	2	3	4	3		
	分割地域メッシュ	2分の1地域メッシュ	5	1	3	5	2	3	4	3	1
4分の1地域メッシュ		5	1	3	5	2	3	4	3	1	2
8分の1地域メッシュ		5	1	3	5	2	3	4	3	1	2

※ 「分割地域メッシュ」は9桁目が1～4のいずれか、「2倍地域メッシュ」は9桁目が5のコードになります。

図1 第1次地域区画



大阪府を包含するコードは「5135」及び「5235」です。

(2) 地域メッシュ・コードの付け方

① 基準地域メッシュ

第1次地域区画を縦横8等分して第2次地域区画を区画し、次いで1つの第2次地域区画を縦横10等分して基準地域メッシュ（第3次地域区画）を区画しており、メッシュ・コードもこの体系に沿って付けられています。その関係をまとめると、表2及び表3のようになります。

なお、第1次地域区画の地域メッシュ・コードは4桁からなり、その上2桁は当該区画の南端緯度を1.5倍した値とし、その下2桁は西端経度の下2桁と同じ値として定義されています。

表2 基準地域メッシュの区分方法

区画の種類	区分方法	緯度の 間隔	経度の 間隔	一辺の 長さ	地図との関係
第1次地域区画	全国の地域を偶数緯度及びその間隔(120分)を3等分した緯度における緯線並びに1度ごとの経線とによって分割してできる区域	40分	1度	約80km	20万分の1地勢図(国土地理院発行)の1図葉の区画
第2次地域区画	第1次地域区画を緯線方向及び経線方向に8等分してできる区域	5分	7分30秒	約10km	2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の1図葉の区画
基準地域メッシュ (第3次地域区画)	第2次地域区画を緯線方向及び経線方向に10等分してできる区域	30秒	45秒	約1km	

表3 基準地域メッシュの地域メッシュ・コードの付け方

区画の種類	桁数	地域メッシュ・コードの例	地域メッシュ・コードの付け方	該当区域（網掛け部分）
第1次地域区画	4		南端緯度 × 1.5 (注) [34 × 1.5 = 51] 西端経度の下2桁 [135 ⇒ 35]	
第2次地域区画	6		第1次地域区画の地域メッシュ・コード 第1次地域区画の縦の等分区画に南から0～7の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とします。 第1次地域区画の横の等分区画に西から0～7の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とします。	第1次地域区画 (地域メッシュ・コード 5135)
基準地域メッシュ (第3次地域区画)	8		第2次地域区画の地域メッシュ・コード 第2次地域区画の縦の等分区画に南から0～9の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とします。 第2次地域区画の横の等分区画に西から0～9の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とします。	第2次地域区画 (地域メッシュ・コード 513523)

(注) 第1次地域区画の地域メッシュ・コードの上2桁は、赤道から緯度方向に40分間隔で区分してきた場合の0から始まる一連番号を表しています。この通し番号を算出するのに南端緯度を1.5倍するのは、第1次地域区画が緯度40分ごとに区画されるため、緯度の1度が1.5区画分に相当するためです。

$$[1 \text{ 度} \div 40 \text{ 分} = 60 \text{ 分} \div 40 \text{ 分} = 1.5]$$

② 分割地域メッシュ

分割地域メッシュは、辺の長さが基準地域メッシュの2分の1の地域メッシュ、4分の1の地域メッシュ、8分の1の地域メッシュの3種類が標準地域メッシュとして制定されています。これらの分割地域メッシュの区分方法及び地域メッシュ・コードの付け方は、表4及び表5のとおりです。

表4 分割地域メッシュの区分方法

区画の種類	区分方法	緯度の 間隔	経度の 間隔	一辺の 長さ
2分の1地域 メッシュ	基準地域メッシュ(第3次地域区画)を緯線方向、経線方向に2等分してできる区域	15秒	22.5秒	約500m
4分の1地域 メッシュ	2分の1地域メッシュを緯線方向、経線方向に2等分してできる区域	7.5秒	11.25秒	約250m
8分の1地域 メッシュ	4分の1地域メッシュを緯線方向、経線方向に2等分してできる区域	3.75秒	5.625秒	約125m

※ 特に注釈が無い場合、本書の大阪府地域メッシュ統計は「2分の1地域メッシュ」により作成しています。

表5 分割地域メッシュの地域メッシュ・コードの付け方

区画の種類	桁数	地域メッシュ・コードの例	地域メッシュ・コードの付け方	該当区域（網掛け部分）
2分の1地域メッシュ	9		<p>基準地域メッシュ・コード</p> <p>基準地域メッシュの各辺を2等分して得られる4個の区画に、南西側、南東側、北西側、北東側の順に1～4の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とします。</p>	<p>基準地域メッシュ (地域メッシュ・コード 51352343)</p>
4分の1地域メッシュ	10		<p>2分の1地域メッシュ・コード</p> <p>2分の1地域メッシュの各辺を2等分して得られる4個の区画に、2分の1地域メッシュと同じ順に1～4の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とします。</p>	<p>基準地域メッシュ (地域メッシュ・コード 51352343)</p>
8分の1地域メッシュ	11		<p>4分の1地域メッシュ・コード</p> <p>4分の1地域メッシュの各辺を2等分して得られる4個の区画に、2分の1地域メッシュと同じ順に1～4の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とします。</p>	<p>基準地域メッシュ (地域メッシュ・コード 51352343)</p>

③ 統合地域メッシュ

統合地域メッシュは、辺の長さが基準地域メッシュの2倍の地域メッシュ、5倍の地域メッシュ、10倍の地域メッシュの3種類が標準地域メッシュとして制定されています。これらの統合地域メッシュの区分方法及び地域メッシュ・コードの付け方は、表6及び表7のとおりです。

表6 統合地域メッシュの区分方法

区画の種類	区分方法	緯度の 間隔	経度の 間隔	一辺の 長さ	備考
2倍地域 メッシュ	第2次地域区画を緯線方向、 経線方向にそれぞれ5等分 してできる区域	1分	1分30 秒	約2km	基準地域メッシュを 4個統合した区域
5倍地域 メッシュ	第2次地域区画を緯線方向、 経線方向にそれぞれ2等分 してできる区域	2分30 秒	3分45 秒	約5km	基準地域メッシュを 25個統合した区域
10倍地域 メッシュ	第2次地域区画と同じ区域	5分	7分30 秒	約10km	基準地域メッシュを 100個統合した区域

表7 統合地域メッシュの地域メッシュ・コードの付け方

区画の種類	桁数	地域メッシュ・コードの例	地域メッシュ・コードの付け方	該当区域（網掛け部分）
2倍地域メッシュ	9	<p>5 1 3 5 2 3 6 4 5</p>	<p>第2次地域区画の地域メッシュ・コード</p> <p>第2次地域区画の縦の等分区画に南から0, 2, 4, 6, 8の番号を付け、区画を示す数字とします。</p> <p>第2次地域区画の横の等分区画に対しても西から順番に番号を付けます。</p> <p>必ず「5」を付けます。</p>	<p>第2次地域区画 (地域メッシュ・コード 513523)</p>
5倍地域メッシュ	7	<p>5 1 3 5 2 3 4</p>	<p>第2次地域区画の地域メッシュ・コード</p> <p>第2次地域区画の各辺を2等分して得られる4個の区画に、南西側、南東側、北西側、北東側の順に1～4の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とします。</p>	<p>第2次地域区画 (地域メッシュ・コード 513523)</p>
10倍地域メッシュ	6	<p>5 1 3 5 2 3</p>	<p>第2次地域区画と同じです。</p>	<p>第2次地域区画 (地域メッシュ・コード 513523)</p>

2. 測地基準系について

① 測地基準系とは

地球上の位置を経度・緯度で表すための基準を測地基準系（測地系）といい、地球の形に最も近い回転楕円体で定義されています。地球の形に最も近い扁平な回転楕円体を想定して、経度・緯度の測定に関する測量の基準としています。経線・緯線は、この楕円体の上であり、地図を作るための基準となっています。

② 日本測地系（旧測地系）について

個々の土地の経度・緯度が精度良く、効率的に求められるように、位置の目印になる基準点を全国に多数設置し、測量によってこれらの基準点の経度・緯度を求めています。この基準点の位置を表す経度・緯度の数値を「測地基準点成果」といいます。従来、我が国は、明治時代に5万分の1地形図を作るために決定した回転楕円体（いわゆるベッセル楕円体）を位置の基準としており、測地基準点成果もこの回転楕円体に基づく値が求められ使用されてきました。この従来使用されてきた測地基準系を日本測地系といいます。

日本測地系は明治以来使用されてきましたが、百年ほどの年月を経て地殻変動による測地基準点の移動や、当時の測量技術の制約からくる誤差などにより位置にずれが生じ、場所によっては数mの誤差が出るようになりました。

③ 世界測地系（新測地系）について

電波星を利用したVLBI（数十億光年のかなたにある電波星から届く電波を電波望遠鏡で受信して数千kmもの長距離を数mmの高精度で測る技術）観測や人工衛星観測により現代の科学的知識に基づいて設定された、世界共通に使える測地基準系を世界測地系といいます。

近年はGPS（全地球測位システム）やGIS（地理情報システム）などの新技術の発達により、世界共通のより高精度な基準として利用されるようになってきました。

④ 日本測地系から世界測地系への移行について

平成 14 年（2002 年）4 月 1 日、改正測量法が施行され、日本の測地基準系は日本測地系から世界測地系に移行しました。

日本測地系はあくまで日本周辺だけでしか使えず、長年の間に位置のずれも生じてきました。また、GPS 等の新技術や国際的な流れに対応できなくなる恐れがありました。

そのため、国土地理院では世界測地系に基づいた基準点を日本全国で整備して改めて測地し直し、その成果をもとに世界測地系へ移行することになりました。

⑤ 日本測地系と世界測地系のずれについて

この二つの測地系には、同じ地点でも経緯度表示にわずかな違いがあります。

日本測地系で表されている日本国内のある地点の経緯度を世界測地系で表すと、経度が-の方向へ、緯度が+の方向へ変化します。このずれを距離に換算すると、日本国内においては北西へ約 400～450m 程度となっています。

※詳細な解説は、国土地理院ウェブサイトの「世界測地系移行の概要」のページ

(<http://www.gsi.go.jp/LAW/G2000-g2000.htm>) をご参照ください。

TIPS 住所データに緯度・経度を付与するには？

Q 住所データを持っていますが、これを緯度・経度に変換するにはどうすればよいでしょうか？

A 地域メッシュコードは本章記載のとおり、緯度・経度に基づき作成されています。そのため、保有している住所データが大量な場合には、住所から緯度・経度を確認するのに大変な手間を要します。そこで、ここでは、よく使われている方法を紹介します。

1 国土交通省が提供する「JNS 住所認識システム」を利用する

国土交通省国土計画局が整備・提供している街区レベル位置参照情報を用いて、利用者が保有する住所情報を含む台帳等のデータファイルに対し、位置座標（緯度・経度、平面直角座標）を付与する、アドレスマッチングプログラムです。

（以上、「JNS 住所認識システム」操作説明書（pdf）より抜粋）

リンク http://nlftp.mlit.go.jp/isj/jns_agreement.html

2 国土地理院が提供する「地理院マップシート」を利用する

「地理院マップシート」とは、Microsoft (R) Excel のマクロ機能を利用したファイルです。住所録等の帳票データを「地理院地図」に簡単に展開して「地図上に見える化」することができます。

「地理院マップシート」は上記の他、平面直角座標系、UTM・UTM ポイントの座標値変換も可能です。

また、Exif 画像（座標を持った JPG 画像）の読み込みもできます。

（以上、国土地理院サイトより抜粋）

リンク http://renkei2.gsi.go.jp/renkei/130326mapsh_gijutu/index.html

ただし、地理情報の取得に当たっては、エクセルシート上でインターネットを介したデータのやり取りが発生しますので、非公開情報を含むデータを変換する場合等、このサービスの利用が適さない場合があります。

3 東京大学が提供する「アドレスマッチングサービス」を利用する

住所・地名を含む CSV 形式データにアドレスマッチング処理を行い、緯度経度または公共測量座標系の座標値を追加するために利用します。

なお、このサービスは、インターネットを介するデータのやり取りを伴います。そのため、非公開情報を含むデータを変換する場合等、このサービスの利用が適さない場合があります。

（以上、当該サイト

<http://newspat.csis.u-tokyo.ac.jp/geocode/modules/addmatch/index.php>より抜粋）

リンク <http://newspat.csis.u-tokyo.ac.jp/geocode/>

QGISについて

■ QGISとは

オープンソースにより開発されているフリーのGIS（Geographic Information System：地理情報システム）ソフトです。地域メッシュ統計データの読み込み、加工及び地域メッシュ統計地図の作図ができるとともに、データの演算、地図の重ね合わせ等の高度な処理も比較的容易に操作できます。

ソフトウェアは <http://qgis.org/ja/site/> からダウンロードが可能です。

■ QGIS活用のために

○国土数値情報 ダウンロードサービス（国土交通省）

国土交通省国土政策局国土情報課では、都道府県・市町村の地形や鉄道路線図等の情報を、GISソフトで利用可能な形に整備された「国土数値情報」の提供を行っています。

提供されたデータをGISソフトで読み込むことにより、様々な地図を描画することができます。

上記サービスのページ内には、国土数値情報のダウンロード方法を含めたQGISの操作マニュアルが掲載されています。

(<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/other/manual.pdf>)



大阪府

総務部 統計課 平成31年3月公表

<http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/top/index.html>

本書についての質問・照会等は、下記までご連絡ください。

大阪府総務部統計課情報企画グループ

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16

電話：06-6210-9195

FAX：06-6614-6921

メールアドレス：tokei@sbox.pref.osaka.lg.jp